

令和7年度

同仁

社会福祉法人 同仁会

事業概要



臨海学園分園型小規模グループケア施設「オハナ」

はじめに

令和6年度は臨海学園の分園型小規模グループケア施設の新築工事が完了し、施設の地域分散化が実現しました。同時に、内原和敬寮においても既存の小規模ユニット棟の建物を分園型施設と一時保護専用施設へ用途変更するための整備を行いました。また、つくば香風寮においては分園型小規模グループケア施設を建設するための用地を取得し、地域分散化への準備を進めました。皆様のご理解ご協力に改めて感謝申し上げます。

令和7年度は茨城県において策定した「茨城県こども計画」の初年度となります。この計画には、子ども・子育て支援の計画や社会的養育推進計画も含まれており、本会の事業に大きく関わっているものです。この計画が子どもに関する施策や取組を一体的に展開するために策定されたことを理解し、社会的養護関連の施設では、施設の地域分散化や多機能化をさらに進めます。分園型の施設を開始し、新たに一時保護専用施設を開設します。つくば香風寮においては、分園型小規模グループケア施設の建設を予定しております。フォスタリング事業も今後開設予定の里親支援センターへの移行を本格的に検討します。石岡市に保有している土地の活用を考えております。通所施設では、同仁東保育園においては高萩市が令和8年度から実施を予定している「誰でも通園制度」の開始に向けた検討を行います。くれよんクラブ高萩においては、新たに居宅訪問型児童発達支援事業を開始します。

このように国や県の動向を見据えながら、事業を展開していく所存です。

同仁会の主人公は子どもです。未来ある子どもたちのために働けることは素晴らしいことだと思います。一人ひとりが「生まれてきてよかった」と思える社会にしていくなために何ができるのか、これからも探究していきたいと思っております。

今後とも、どうぞこの同仁会の活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

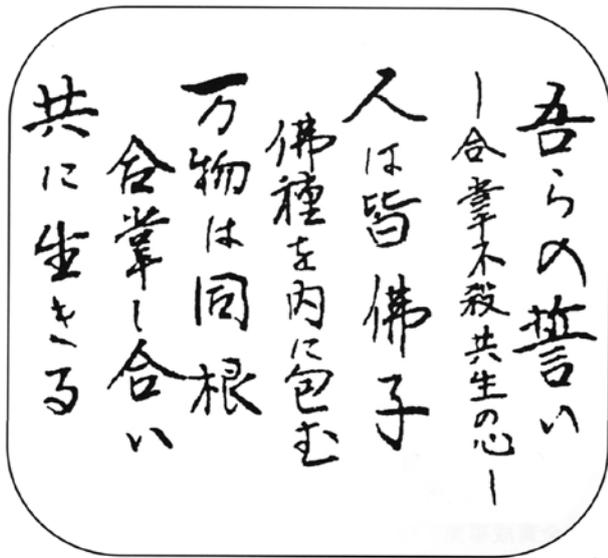
令和 7年 6月19日

理事長 塩澤 幸一

目 次

はじめに

綱領・年間目標・経営基本方針	1
1 施設の概要	8
2 法人の沿革	10
3 令和7年度経営計画	14
4 役員、評議員及び施設長等	14
5 組織及び職員の配置	15
6 法人の運営	17
7 部門別運営計画及び令和7年度の状況	31
1. 同仁会児童家庭支援センター	31
2. 児童家庭支援センター あいびー	36
3. 発達障害者支援センター COLORSつくば	39
4. 同仁会地域子育て支援センター	41
5. 保育所型認定こども園 同仁東保育園	46
6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ	51
7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩	54
8. 児童養護施設 臨海学園	57
9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム	64
10. 児童養護施設 内原和敬寮	71
11. 児童養護施設 つくば香風寮	79
12. 乳児院 同仁会乳児院	87
13. 乳児院 さくらの森乳児院	95
14. 児童心理治療施設 内原深敬寮	103
8 令和7年度収支予算書及び令和6年度決算の状況	110



創設者理事長 遠藤 光静 書

綱 領

『合掌深敬の心』

三つの誓い

布	施	(与	える	悦	び	を	学	べ)
持	戒	(己	の	誓	い	を	持	て)
智	慧	(豊	かな	精	神	を	培	え)

大自然は“共生”の大原則のもと、それ自体の摂理と自浄作用により全体のバランスを保ち生存維持の営みを続けている。

人間も自然の一部として、この生の営みの埒外ではない。この事は自然保護や環境保全が新しい現代の人間課題として登場してきた現実に照らしても自明である。

“釈迦牟尼”－仏陀の教示する不殺生の戒は、現代的にはこの共生の原理に当るものである。また所謂、共存や生命尊重も以上の事を踏まえたうえでの論理に立つものである。とりわけ、生命尊重は何人も仏性（己を高めたい願望）を内蔵する故に尊く、また人間の仏教的生きる使命は、その内なる能力開発（仏性開顕）にあると訓されている。福祉が人間の幸福課題を希う実践であろうとする限り、その人間課題の深い部位で、仏陀の覚り得たものと密に弧を接する群類にあると言える。

本会はこのような基本理念に立ち、福祉の実践を目指すものである。関係者一同、この共通理解に立ち職分を自覚し、異体同心にその担い手として社会福祉の一隅を照らそう。

一年間目標

四月 合掌聞法 — 最高の聞き耳を持つ —

話を聞くのに一番大切な事は、関心のある心のベースがある事が物事をよく聞き取る基である。聞法の「法」とは仏教哲学の教える規範、「人はいかに生くべきか」の教を指す。本当は、この事が「生きる」と言う生命を持続している限り第一の関心事である筈だ。

この心構えで話を聞けば、何事も自分の生きる糧とならないものはなく、有り難い事である。限りある人生の中で、見聞き得た事が勉強となるなら、全て合掌感謝とやらなくてはならない。私も子供に法を聞く者である。

五月 持戒和合 — きまりを守る —

客体的な戒としては法律があるが、ここで言う「戒」は主体的戒を指します。客体的集団規制の掟以前の人の生き態に係る、自分が自分に課する戒の事です。速度を高くすればする程、それに対応する制禦が働かない事には実用に役立たない。人間も地位・立場に相応する自己制禦のブレーキが必要である。それを生涯の戒とする人は、立派な人生と言える。和合は実は内なる盲目の自己と自己制禦の葛藤の上に支えられる至宝である。

六月 生命尊重 — 全ての物の生命を大切にす —

宇宙は一体・全体が連鎖集合の生命体、人間を頂点とする生命体の連鎖生滅、弱肉強食の上に生命が維持されている。

殊に人間の生命は、宇宙の最高の生命顕現として、覚者—仏性—たる可能性を持つ故に尊厳である。それ故、全生命系の支配と同時に護り育てる責任がある。全てをその本来のいのちの如く、完全に自己実現できるよう祈らねばならない。

七月 布施奉仕 — 社会に喜ばれる —

グローバルな生態系の中で、生物は相互に食い合う連鎖関係で生きて居ります。人間だけが食われる連鎖から解放され、色々の生命体を食って生きて居ります。意識して与える事のできるのは人間のみです。その事を踏まえての奉仕の心です。大乘仏教の布施行は、意識して他に与え、みかえりを求めない修行です。

「財 施」 無償の金品施与の行です。心がければ誰でもできます。それでも「あんなにしてやったのに」と愚痴るもの、求めない事は至難の技です。

「法 施」 人間の生き態、ものの道理を教えてあげる、心の糧を与えられる人は幸せです。

「無畏施」 危難や生死の関頭に立って安祥として対処できる悟道を与える事、凡人のできない事です。身体で、口で、意で常に心掛ける事が大切です。

八月 自利利他 — 相手の立場を考える —

仏教は物の道理を教える理論を持って居ります。「因縁」と言う言葉がそれです。よく「袖ふれ合うも多生の縁」等と言います。物事は全て因が先ず有って、それが縁にふれ果が生じ、その果がまた第二因となって、縁にふれ第二果を生む、連鎖して無尽の相関関係の世界を展開します。

人と人の結び付きも無尽世界そのものです。その中で本能的に生きる限り、誰もが自利を追求するのは当然です。

だが人間相互の係りは、自利が利他になる様な積算が成立しない限り、個と個は結ばれる事はありません。自利とは利他によって与えられたものです。この事を踏まえて、自利を得る「受け皿」をつくる事が先決です。

「利他行」 他^{りたぎょう}の為にお役に立つ心掛けは、社会生活の基本です。利他行なくして得たものは、本当の自分のものでなく、一時預りのようなものです。

九月 報恩感謝 — 有難うと心から言える —

マスコミ情報^{うず}の渦、騒忙^{そうぼう}の日々の中では、自己凝視^{ぎょうし}とは縁遠いものとなりました。今日只今、此処^{こんにちただいま}に存生^{ぞんじょう}する自己を凝視^{ぎょうし}することを仏教^{きび}は厳しく教えて居ります。親ありて、師ありて、友人ありて、郷土故国ありて、親、師、衆生^{しゅうじょう}、国土^{しおん}の四恩を掲げて居ります。

人間だけができる自己^{めぐ}を環る凝視^{ぬく}の深い温もりと、ほのぼのとした感謝^{じょうねん}の情念です。生命のルーツ、育ての親、学習し得た師友先輩、自然の山河、国土風俗等、どれを取っても自分を養い^{はぐく}育^いんでくれた大自然の営み^{いとな}です。一つ一つの反省点検を経て、無償^{むしょうきょうじゅ}享受^{せよ}の施与を受けて居る事にハッと気付いたものです。四恩を感じ取れる人は、この施与^{また}に応え、亦、感謝「ありがとう」の言葉の素直に言える、内懐^{うちぶところ}の深く豊かな人です。そんな人に育て、なりたいものです。

十月 同事協力 — 心こもる協力 —

お互いに同じ空の下、同じ時代を共受共有して「今ここにある」と言う己の存在を考えてみた事がないだろうか。当り前の事を、永遠の時、無限の空間の位相^{いそう}で考えてみる。そう言う位相^{うす}に己を打ち据えて探求する。同事とはその様な哲学する姿勢である。そこでは大きな価値転換、つまり偶然、当り前の事が必然なものとなり、私と他者との出会いが運命的必然として再生してくる。

同事協力とは、だからそんな深い思索^{しさく}の底で縁^{ほんしょう}の本性に^し気づき、心から協力する生き方である。思い付きや、一寸^{ちよつと}した縁での協力もあるが、親兄弟、夫婦、恩師上司、親友同僚等、その関係には浅深^{せんしん}があるが、「袖ふれ合うも多生の縁」とやら、路傍^{ろぼう}のものとして過ぎ去って行くのではなく、心の永遠の相の窓に映し、心の中にどのように慈^{いつく}しみ育てるか、豊かな人生^{きず}を築^{かぎ}く鍵でもあると言えよう。

十一月 精進努力 — 己の成長を愛せ —

秋もたけなわ、自然は秋の果実をみのらせ、「食欲の秋」とも言われる。“精進料理”と言われ魚介類を使用しない仏教の調理がある。心身を調和して養い、求道修行の目的^{べつ}を果すに好都合な料理の意味である。

人も自然の一部として、その自然環境に育つ食物によって生き、生かされている。「身土不二」と言う東洋思想がその事を物語っている。肉体は環境自然に依^よって養われて居り、だとすれば大地と肉体とは大きく連続して居ると思惟^しする発想である。

霊長類^{れいちよう}としての人の生きて居る目的は、自然の調和^{じゆんのう}に順応して、地上に平和の世界を実現する事である。その為の生命、その生命維持の為の「食」である限り、徒らに肉体生理上の糞として排出する丈ではない。それは身を養い、そのエネルギーを社会に活性化する事である。精進努力とはその様な深い意味をもつものである。

十二月 忍辱持久 — 苦しい事に耐える —

受刑者が、「刑務所を出る」ことを「沙婆^{しゃば}に出る」と言う。シャバとは梵語で、「忍土^{ぼんご}」と訳す。人間の生きるこの世は、苦しい事^{いや}や嫌な事に耐えて生きる世界であると言う大前提が、仏教には先ずあることを考えて見る事である。物質文

明の恩恵に浴し、その中にどっぷりと埋没した現代は、エゴだけが露出し、耐える事を忘れかけた時代とも言えるかも知れない。

その様な時代だからこそ、肉体の鍛練の凡ゆるスポーツが大切なのと同時に、意図的な自己耐性の涵養が心がけられるべきである。仏教の忍辱持久の徳目は、人が生きる姿を、耐えてゆく事と捉えた大前提に立って、凡ゆる苦しい事に立ち向かって生きる生き態を教えて居るものとして意味深いものと思う。

自己の耐性は誰も手伝ってくれないもの、自分で開発するしかない徳目である。

一月 和顔愛語 — 心に慈愛をたたえ、相手の為になる言葉かけをする —

「愛語」とは、その言葉が、その人の人生の転機となる、亦は生涯の生活の指針となる様な言葉。だから常に心の奥深く、他者を慈愛する心がなくては生まれない一語である。従って愛語を発する時は自然に、慈しみをたたえた和顔であるので「和顔愛語」と言う。

悟りを得た後の仏陀の言葉は、衆生慈愍の言葉を謂うもの、全てが和顔愛語である。愛憎、悲喜、怨恩等々現実の姿を、仏智見と言う絶対慈悲の境位で把える世界である。親の児に示す、無条件の慈愛、犠牲、奉仕、言葉かけ、どれ一つ取っても、人間の持つ靈性、仏性の一分顕現である。

愛語は、にたにた笑いからは出ない。時には仁王の様な叱怒も伴う。心底は和顔なのである。無償の慈愛なしには一語もない世界だ。

二月 禪定寂靜 — 心を無の状態に静坐し、常に根源的発想を養うこと —

人間開発を心身共に最高に開発活性化し、地上楽土を建てる事が仏教の目的である。仏陀の切り開いた内証の世界は、禪定と言う静坐の姿勢から得た地上最高の精神世界である。

独生独死、独去独来と言われる自己の「己れ」とは何者かを見据えて見る事は大切な事である。情報時代と言われる、余りにも多種多様な情報に包まれ、時に情報選択すら放棄し慌しく返す日々の多い今日この頃、心掛けねばならない事である。心の大掃除、点検、自己回復の手段である。人は半神半獣、靈肉二重層の世界を生きる、欲望と言う名の馬車に乗る生きものである。

臍下丹田呼吸は坐禅の初歩、そして奥儀である。自信溢れる福祉実践者は、丹田を養生する事から始まる。一呼吸置いてする心掛けである。

三月 智慧希望 — 困難を乗り越えてゆく人生智を持ち、祈りと希望を捨てるな —

人の生活する現実、は、相対の世界である。苦楽、愛憎、悲喜は、相互に裏腹である。この相即相対の原理に立って、苦に居て、楽の日の近い事を、愛の日々が、憎の時にならない様、発想出来る人間訓練が望まれる。

智慧とは、知識とは異なる流動的な生の流れの真っ只中で行なわれる人格的総合判断である。

多難の人生、毎日が決断の日々であるが、決断に戸惑う暗黒の日もないとは言えまい。そんな時は、動かずじっと希望を捨てず、祈る事である。祈りは、危機に臨んで最高のエネルギーを分与してくれる。祈り、希望しない処には何も生まれて来ないからである。

仏語の智慧とはもっと高次元のものだが、我々も常にこの人生を切り開いてゆく智慧を養いたいものである。

誓 願

綱領及び年間目標は、創始者初代理事長遠藤光静氏が描いた熱き思いである。

私たちは、永遠の課題としてこの基本理念を尊重し、誠心努力することを誓願する。

理 念

綱領「合掌深敬の心」を基本理念とする。

合掌深敬とは「感謝して深く敬う」との言葉であるが、狭義では人間尊重や個性尊重を意味している。しかし、課題として捉えるには漠然としている。故に、これを「人権を守る」と定義し、以下のとおり解釈する。

- ① あなたのことを知っています
- ② あなたに関心があります
- ③ あなたを必要としています

これらを具現化するために、次のとおり実践する。これらが、私たちのめざす「自立支援」の基本です。

- (1) 「あなたのことを知っています」とは、その基本は名前を知っているということです。必ず名前を呼ぶようにします。
- (2) 「あなたに関心があります」とは、人間関係を示唆し、その基本はあいさつすることにあります。常に明るくあいさつすることを心掛けます。
- (3) 「あなたを必要としています」とは、「ありがとう」と言葉でいえることです。私たちは福祉を志し、奉仕やボランティアのこころを強く持っているため、常々「ありがとう」と言われる立場にあります。しかし、福祉の専門職としては、私たちが「ありがとう」と言える環境を造ることが求められています。子ども達の行事の参加や常々のお手伝いの中で「ありがとう」と言える場面を沢山造っていきます。

法人の求める職員像

職員は常に自律の心を持ち、他人の為に働く喜びを忘れず、物事に柔軟に対応できることを基本とする。

職員は常に理想を描き、その実現のため他人と協調し、積極的に行動するように努める。

職員は常に法人理念及び年間目標を理解し、正しい判断ができるように研鑽に努める。

- 人事規程第9条
 - 1 人格見識に優れていること
 - 2 常に精進努力を心がけること
 - 3 法人の綱領及び年間目標を理解し、実践できること
 - 4 他と協調し又は共同して業務の推進を図れること
 - 5 情報の収集と分析ができること
 - 6 将来を先見し目標達成のため努力できること
 - 7 安全への配慮と適切な対応ができること

経営基本方針

社会福祉法人同仁会は、主に児童福祉に関する事業を実施することを宣言し、法人の経営及び事業の実施にあたっては、次の事項を遵守してまいります。

1 人権の尊重

- (1) 法人綱領及び理念の理解と実践に努める。
- (2) 利用者（以下「児童」という。）の権利を尊重したサービスの提供、発展に努める。
- (3) 児童や家族からの苦情、相談に対して誠意を持って対応するとともに、第三者委員制度の活用などにより、適切な是正、改善に努める。
- (4) 児童や家族のプライバシーや個人情報の保護に努める。
- (5) 人権の尊重や個人の尊厳への配慮意識を高める研修を定期的実施する。

2 サービスの質の向上

- (1) 児童の個性や特性に応じ、児童自身が自主的、主体的に活動できるように支援する。
- (2) 家庭との連携及び相互理解を図りながら、早期に家庭復帰ができるように家庭環境の整備に努める。
- (3) 施設ごとにサービス提供方針、業務手順や必要なマニュアルを策定し、職員に浸透させる。
- (4) 施設ごとにリスクマネージャーを置くとともに、共通理解を図るためリスクマネージャー会議を定期的開催する。
- (5) 第三者評価の受審により、客観的な視点でサービスの質をチェックする。
- (6) 学校教育との連携協力体制を構築し、一体とした支援に努める。

3 地域との連携協力

- (1) ボランティアの受入を積極的に行い、住民参加による福祉の実践に努める。
- (2) 地域の関係機関、団体とのネットワークの構築に主体的に関わり、福祉ニーズを抱える住民への適切な支援の基点となるように努める。
- (3) 地域の再生又は活性化に向け、町おこしや雇用の創出に積極的に関わるとともに、人の集う場の提供等に努める。

4 コンプライアンス（法令及び法人倫理遵守）の徹底

- (1) 法令及び法人倫理の遵守の徹底に向けた管理体制や規定を整備し、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営に努める。
- (2) コンプライアンスの適切な理解と啓発に努める。

5 説明責任の徹底

- (1) 法人事業や財務に関する情報を積極的に公開し、透明性の高い経営を実現する。
- (2) サービス提供に関する適切な記録と保管を行う。
- (3) 児童との信頼関係の構築及び地域とのコミュニケーションに努める。

6 関係業者との適正な契約関係の構築

- (1) 関係業者との公正、透明かつ自由な取引に努めるとともに、適正な契約関係の構築を行う。
- (2) 反社会的勢力や団体に対する対応マニュアルを策定する。

7 行政との連携・協力の促進

- (1) 行政との連携及び協働により、地域の課題への積極的な対応に努める。
- (2) 行政との透明性の高い関係を構築する。

8 人材育成、適切な人事・労務管理の実践

- (1) 人材育成に関する方針を明確にし、研修体系の整備等、人間性の向上や必要な能力開発に努める。
- (2) 職員の自己研鑽を支援する。
- (3) 職員の自己実現に配慮し、多様な人材が個々の能力を発揮できる職場づくりに努める。
- (4) 労働関係法令の遵守と適切な労務管理を実施するとともに、適正な人事制度を構築する。また、高齢者、障害者の働く場の確保に努める。
- (5) 安全で健康的な職場環境を確保し、快適な働く場の実現に努める。
- (6) 福祉職員養成における実習及び教員養成課程における介護等実習を積極的に受入、質の高い人材育成に資する。

9 公共的・公益的取組の推進

- (1) 地域の児童福祉ニーズを幅広くかつ迅速に把握するように努め、先駆的、開拓性のある事業経営を実践する。
- (2) 地域において児童の支援を要する者に対して、既存制度の枠組みにとらわれずに支援の実施に努める。

10 組織統治の確立

- (1) 経営に対する適切なチェック・牽制機能の強化を意図した組織作りに努める。
- (2) 外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを行う。
- (3) 公益通報者保護法に基づく相談・通報窓口を整備する。

11 財政基盤の安定化

- (1) 業務分掌及び職務権限を明確にし、適正な会計処理が行える体制を整備する。
- (2) 施設の長及び会計担当職員は、会計処理に必要な知識の習得に努める。
- (3) 法人の経営状況及び財務状況をホームページや広報誌等により積極的に公表し、透明性の高い財務管理に努める。
- (4) 施設整備など長期的計画に基づき、積立等の資金管理を実施する。
- (5) 職員全員のコスト意識の醸成を図る。

12 経営責任の明確化

- (1) 事件事故が発生した場合は、理事長又は施設の長が率先して対応に当たり、原因の究明、被害の拡大の防止、再発防止策の明確化等、責任ある対応に努める。
- (2) 理事長又は施設の長は、事実関係や再発防止策を公表するなど、迅速な説明責任を果たす。
- (3) 施設の長は、日常的にリスクマネジメント及び危機管理の具体的な取組を行う。

1 施設の概要 (同仁会ホームページ : <http://www.doujinkai.or.jp/>)

1) 同仁会子どもセンター

所在地 〒318-0011 茨城県高萩市肥前町 1-80
敷地 3,449.93 m²
建物 鉄骨造 4階建 (一部地下1階) 3,160.15 m²

児童養護施設 臨海学園 (定員 30名)

TEL 0293-22-2357 FAX 0293-23-3224 E-mail rinkai@doujinkai.or.jp

施設長 塩澤 幸一

乳児院 同仁会乳児院 (定員 20名)

TEL 0293-23-6251 FAX 0293-23-3278 E-mail baby@doujinkai.or.jp

施設長 谷 由紀子

同仁会児童家庭支援センター

TEL 0293-22-2471 FAX 0293-22-0337 E-mail kodomo@doujinkai.or.jp

TEL 0293-22-0318 (相談専用電話)

センター長 芳賀 英友 (兼務)

法人事務局

TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260 E-mail mail@doujinkai.or.jp

事務長 塩澤 幸一 (兼務)

2) 臨海学園小規模グループケア施設 オハナ (定員 6名) ※臨海学園定員30名に含まれる

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町3-60-2
敷地 320.07 m²
建物 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 155.32 m²
TEL 0293-24-8771 FAX 0293-24-8772

3) 認定こども園 同仁東保育園 (定員 135名)

所在地 〒318-0013 茨城県高萩市高浜町 2-35
敷地 1,944.88 m² (内借地 906.01 m²)
建物 鉄骨・木造コンクリート屋根スレートかわらぶき陸屋根2階建 993.36m²
TEL 0293-23-6121 FAX 0293-23-2413 E-mail higashi@doujinkai.or.jp
施設長 佐藤 ゆかり

4) ゆうゆう館

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-144
敷地 506.36 m²
建物 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根2階建 399.74 m²

放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ (定員 40名)

TEL 0293-23-7643 FAX 0293-20-5103 E-mail club@doujinkai.or.jp

子育て支援拠点事業 同仁会地域子育て支援センター

TEL 0293-20-5559 FAX 0293-20-5103 E-mail kosodate@doujinkai.or.jp

館長 伊藤 ミサ子

5) 児童養護施設 同仁会子どもホーム (定員 25名)

所在地 〒318-0024 茨城県高萩市秋山 712-1
敷地 1,736.04 m² (借地)
建物 本館：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 514.61 m²
ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 165.41 m²

TEL 0293-23-3254 FAX 0293-20-5188 E-mail home@doujinkai.or.jp

施設長 芳賀 英友

6) 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩 (定員 10名)

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-46

敷地 538.93 m²

建物 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 111.79 m²

TEL 0293-44-7301 FAX 0293-44-7302 E-mail kureyon@doujinkai.or.jp

責任者 伊藤 ミサ子 (兼務)

7) 内原同仁会子どもセンター

所在地 〒319-0325 茨城県水戸市小林町 1186-84

敷地 14,125.26 m²

建物 和敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1205.10 m²

小規模ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 345.43 m²

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 302.67 m²

深敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1,751.91 m²

学校棟：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 739.18 m²

児童家庭支援センター：鉄骨造2階建 323.06m²

児童養護施設 内原和敬寮 (定員30名)

一時保護専用施設 和の家 (定員4名)

TEL 029-212-5054 FAX 029-239-3083 E-mail wakei@doujinkai.or.jp

施設長 西野宮 由紀

児童心理治療施設 内原深敬寮 (定員入所35名・通所10名)

TEL 029-212-5053 FAX 029-239-3082 E-mail uchihara@doujinkai.or.jp

施設長 渡邊 孝幸

内原同仁会事務局

TEL 029-257-5501 FAX 029-259-6688

児童家庭支援センター あいびー

TEL 029-291-3770 FAX 029-291-3772

センター長 西野宮 由紀 (兼務)

8) つくば同仁会子どもセンター

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 802-1

敷地 9,101.00 m²

建物 つくば香風寮本館：鉄骨造陸屋根2階建 1,074.92 m²

さくらの森乳児院本館：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 497.29 m²

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 323.30 m²

COLORS棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 159.35 m²

児童養護施設 つくば香風寮 (定員30名)

TEL 029-875-3451 FAX 029-875-3460 E-mail tukuba@doujinkai.or.jp

施設長 江原 勝久

乳児院 さくらの森乳児院 (定員20名)

TEL 029-875-3452 FAX 029-875-3460 E-mail sakura@doujinkai.or.jp

施設長 小林 亮一

発達障害者支援センター COLORSつくば

TEL 029-875-3485 FAX 029-875-3486 E-mail colors@doujinkai.or.jp

センター長 江原 勝久 (兼務)

2 法人の沿革

設立発起人 遠藤光静
大高新一郎
今川三九郎
鈴木藤雄
滝宗作

年月	種別	概要
昭和25年 4月	(同仁会)	創立者 遠藤光静氏、自坊にて里子3名を養育
10月	(同仁会乳児院)	日立市助川町2-15を市より無料貸与 恩賜財団同胞援護会日立支会「日立乳児預かり所」認可 定員9名(10月7日)
昭和27年 1月	(臨海学園)	建設中の施設建物焼失、焼失時竣工率80%(1月12日)
6月	(臨海学園)	秋山小学校廃材にて竣工、「高萩臨海学園」認可 定員40名(6月24日)
昭和28年 4月	(同仁会乳児院)	保育棟増築(共同募金会・日立市補助)
昭和30年 4月	(臨海学園)	定員50名に増員
昭和32年 3月	(同仁会乳児院)	恩賜財団同胞援護会日立支会解散、私立日立乳児院となる
昭和37年 11月	(同仁会)	社会福祉法人設立認可、「高萩臨海学園」と称す
11月	(同仁会)	遠藤光静氏、初代理事長に就任
昭和38年 3月	(臨海学園)	児童小舎寮新築(お年玉付年賀はがき寄付金補助事業)
4月	(臨海学園)	御下賜金拝受
8月	(臨海学園)	調理室改築
昭和39年 4月	(同仁会乳児院)	御下賜金拝受
7月	(臨海学園)	臨海学園本館全面改築(日本自転車振興会補助事業)
昭和41年 11月	同仁会	法人名称変更「同仁会」と改称
昭和42年 4月	臨海学園	「臨海学園」と改称
4月	(同仁会乳児院)	創設者院長 立花 寿氏 物故 社会福祉法人同仁会帰属
9月	同仁東保育園	建物竣工、臨時開園(日本自転車振興会補助事業)
10月	(同仁会乳児院)	施設増築、「日立乳児院」認可、定員13名
昭和43年 4月	同仁東保育園	「同仁東保育園」認可、定員60名
昭和44年 4月	同仁東保育園	定員70名に増員
昭和45年 4月	同仁東保育園	定員90名に増員
昭和51年 2月	(同仁会乳児院)	高萩市に施設建物竣工及び移転(日本船舶振興会補助事業・2月5日)
4月	同仁会乳児院	「同仁会乳児院」と改称、定員24名
昭和53年 12月	臨海学園	児童ホール新築(日本自転車振興会補助事業)
昭和54年 12月	臨海学園	調理棟改築(日本馬主協会補助事業)
昭和56年 4月	同仁東保育園	乳幼児室増築、0才児保育開始
11月	同仁会	施設設立30周年記念祝賀会開催

年 月	種 別	概 要
昭和62年 12月	同仁東保育園	幼児室及び遊戯室の増改築（日本自転車振興会補助事業）、障害児保育開始
平成4年 4月	同仁会	施設設立40周年記念
平成6年 5月	同仁会	創設者理事長 遠藤光静氏 逝去
6月	同仁会	遠藤光洋氏 第二代理事長就任
平成7年 4月	同仁会乳児院	定員30名に増員
平成9年 4月	同仁会	法人事務局、高萩市有明町に移転（ゆうゆうクラブ2F）
4月	同仁東保育園	延長保育開始（午後8時まで）
4月	ゆうゆうクラブ	放課後児童健全育成事業「ゆうゆうクラブ」開設、定員40名
平成11年 12月	臨海学園	臨海学園全面改築「同仁会子どもセンター」竣工（国・県補助事業）
平成12年 1月	臨海学園	定員70名に増員
4月	臨海学園	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
4月	同仁会乳児院	同仁会子どもセンターに移転合築、定員35名に増員
4月	同仁会乳児院	「同仁会子育て支援センター」の付置
平成13年 4月	臨海学園	定員80名に増員
4月	同仁会乳児院	定員40名に増員
4月	同仁東保育園	一時保育開始
4月	同仁会子どもホーム	児童養護施設「同仁会子どもホーム」設置認可、定員26名（旧乳児院跡地）
平成14年 5月	同仁会	評議員会設置
5月	同仁会乳児院	乳児室増築のための確認申請完了（事業の実施は延期）
10月	同仁東保育園	保育園舎増改築（高萩市補助事業）
平成15年 2月	同仁会	施設設立50周年記念祝賀会開催
3月	同仁会	児童情報管理システム導入（臨海学園・子どもホーム）
3月	同仁会乳児院	乳児室内部改装工事実施
3月	同仁東保育園	保育園舎増改築工事完了
4月	同仁会乳児院	同仁会子育て支援センターの廃止
4月	同仁東保育園	「同仁会地域子育て支援センター」の付置
7月	内原深敬寮	情緒障害児短期治療施設「内原深敬寮」設置認可 計法定員30名（通所10名・入所20名）
7月	内原和敬寮	児童養護施設「内原和敬寮」設置認可、定員30名
平成16年 3月	同仁会	法人事務局、高萩市肥前町に移転（同仁会子どもセンター内）
3月	同仁東保育園	同仁会地域子育て支援センター、ゆうゆうクラブ2Fに移転
4月	臨海学園	ユニットケア推進のため小規模改修
4月	同仁東保育園	定員120名に増員
4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所10名・入所30名）
4月	内原和敬寮	定員40名に増員
4月	内原同仁会	第二期内原同仁会大規模改修工事（国・県補助）
平成17年 3月	内原和敬寮	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
4月	臨海学園	定員70名に減員
4月	内原深敬寮	計法定員35名（通所5名・入所30名）
7月	内原同仁会	従たる事務所設置
10月	同仁東保育園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
10月	同仁会子どもホーム	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
平成18年 11月	臨海学園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）

年 月	種 別	概 要
平成19年 4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所5名・入所35名）
平成20年 3月	同仁会	法人中長期経営計画策定
平成21年 4月	同仁会	地域子育て支援拠点事業独立
4月	同仁会	一時預かり保育事業独立
平成23年 4月	臨海学園	定員40名に減員
4月	同仁会乳児院	定員20名に減員
4月	同仁会子どもホーム	ユニット棟竣工・開設
4月	つくば香風寮	児童養護施設「つくば香風寮」開所、定員30名
4月	さくらの森乳児院	乳児院「さくらの森乳児院」開所、定員20名
4月	同仁会	一時預かり保育事業を保育園に統合
平成24年 5月	内原深敬寮	施設建物改築のため体育館解体撤去
平成25年 3月	内原深敬寮	内原深敬寮全面改築・竣工（国・県補助事業） 旧深敬寮建物解体撤去
4月	内原深敬寮	高校生の措置受入開始
平成26年 2月	内原和敬寮	内原和敬寮全面改築・竣工（国・県補助事業）
3月	内原和敬寮	旧和敬寮建物解体撤去
4月	臨海学園	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	定員42名に増員
平成27年 4月	臨海学園	定員29名に減員
4月	内原和敬寮	定員40名に減員
平成28年 4月	同仁会子どもホーム	定員25名に減員
平成29年 4月	臨海学園	定員30名に増員
5月	同仁東保育園	園舎（乳児棟）改築・竣工（自主財源）
11月	内原和敬寮	児童養護施設退所者等アフターケア事業を茨城県から受託
平成30年 3月	同仁会	第二期法人中長期経営計画策定
4月	同仁会子どもホーム	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
平成31年 1月	COLORSつくば	発達障害者支援センター事業を茨城県から受託
平成31年 3月	くれよんクラブ高萩	くれよんクラブ高萩事業所新築・竣工（高萩市補助事業）
4月	くれよんクラブ高萩	障害児通所支援事業「くれよんクラブ高萩」開所・定員10名
令和元年 6月	同仁会	塩澤幸一 第三代理事長就任
11月	内原和敬寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	つくば香風寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	COLORSつくば	COLORSつくば事業所新築・竣工（自主財源）
12月	内原深敬寮	内原深敬寮学校棟全面改築・竣工（自主財源）
令和2年 6月	内原和敬寮	「同仁会児童家庭支援センター あいびー」の付置
令和4年 2月	さくらの森・あいびー	里親訪問等支援事業を茨城県から受託
3月	同仁会子どもホーム	ユニット棟増築
4月	同仁東保育園	保育所型認定こども園に移行 定員135名に増員
4月	香風・さくら・あいびー	フォスタリング事業を茨城県から受託（他法人と共同受託）
4月	くれよんクラブ高萩	保育所等訪問支援事業開始

年 月	種 別	概 要
	6月	同仁会
		同仁会子どもセンター大規模修繕工事完了 (臨海学園・同仁会乳児院のオールユニット化) (国・県補助事業)
令和6年	2月	さくらの森乳児院
		さくらの森乳児院増改築工事完了 (オールユニット化) (国・県補助事業)
	4月	あいびー
		社会的養護自立支援拠点事業を茨城県から受託 (旧アフターケア事業)
令和7年	3月	臨海学園
		分園型小規模グループケア施設新築工事完了 (国・県補助事業)
	4月	臨海学園
		分園型小規模グループケア施設「オハナ」開設 (定員6名)
	4月	内原和敬寮
		定員30名に減員
	4月	内原和敬寮
		分園型小規模グループケア施設「青空」開設 (定員6名)
	4月	内原和敬寮
		一時保護専用施設「和の家」開設 (定員4名)
	4月	くれよんクラブ高萩
		居宅訪問型児童発達支援事業開始

3 令和7年度経営計画

今年度は、新たな社会的養育推進計画の下、社会的養護関連施設の小規模化、地域分散化、多機能化に向けた事業展開を考えていく一年になります。その中でも、茨城県の動向を確認しながら里親支援センターの開設に向けた検討を本格的に進めます。また、通所施設においては、それぞれの環境の変化に伴い、新しい制度や事業への取り組みを研究、実践していくこととしています。施設の整備については、昨年の臨海学園に引き続き、つくば香風寮分園型小規模グループケア施設の建設を計画しています。

引き続き、重要な課題である福祉人材の確保や処遇の改善、離職率の改善に取り組むとともに、法令遵守を一層強化し、人権に配慮した安全で安定した組織運営に努めます。

様々な課題はありますが、令和7年度は以下の事項について計画をいたします。

1 事業の方向

- (1) 策定した第二期中期経営計画の後期計画に基づいた経営
- (2) 社会的養育推進計画に沿った事業の推進（地域分散化・一時保護専用施設）
- (3) つくば香風寮分園型小規模グループケア施設整備工事の着工
- (4) くれよんクラブ高萩における居宅訪問型児童発達支援事業の開始
- (5) 通所施設（保育園・ゆうゆう館・くれよん）各事業の連携強化
- (6) 保有地の在り方の検討（里親支援センター開設の検討）

2 組織の強化

- (1) 専門家（弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の活用
- (2) リスクマネジメント及び危機管理の強化
- (3) BCP（事業継続計画）の運用

3 人材の確保・育成・定着

- (1) 人材確保に向けた取り組みの強化
- (2) 人権擁護・虐待防止に対する法人研修の継続実施
- (3) 人事考課制度の継続実施

4 財政基盤の強化

- (1) 予算管理の徹底による財務管理の強化
- (2) 各種加算の確保などによる収入増と無駄の排除による経費削減

4 役員、評議員及び施設長等

(イ) 役員（任期：令和7年6月19日～令和8年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

理事長	塩澤 幸一	理事	草間 吉夫
理事	遠藤 雅明	理事	西野宮 由紀
理事	江原 勝久	理事	今橋 優子
監事	大部 忠則（財務）	監事	大平 敏明（運営）

(ロ) 評議員（任期：令和7年6月19日～令和10年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

大橋 正男	渡邊 操
大高 達也	鈴木 教予
安藤 みゆき	北條 吉延
川口 啓予	

(ハ) 評議員選任・解任委員会（任期：令和7年6月19日～令和10年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

監事代表	大平 敏明	外部委員	宮田 哲郎
事務局	高島 早苗	外部委員	三國 省治

(ニ) 常任役員

理事長	塩澤 幸一	高萩地区入所代表経営役員
代表経営役員	佐藤 ゆかり	高萩地区通所支援施設代表経営役員
〃	西野宮 由紀	内原地区施設代表経営役員
〃	江原 勝久	つくば地区施設代表経営役員
理事	草間 吉夫	学識経験者

(ホ) 施設経営役員

1) 高萩地区入所施設経営役員

参事 塩澤 幸一

副参事 谷 由紀子

副参事 芳賀 英友

参事 補 野田 潤一郎

2) 高萩地区在宅支援施設経営役員

副参事 佐藤 ゆかり

主 査 伊藤 ミサ子

副参事 芳賀 英友

3) 内原地区施設経営役員

参事 西野宮 由紀

副参事 渡邊 孝幸

参事 補 篠原 貴

参事 補 飯村 謙司

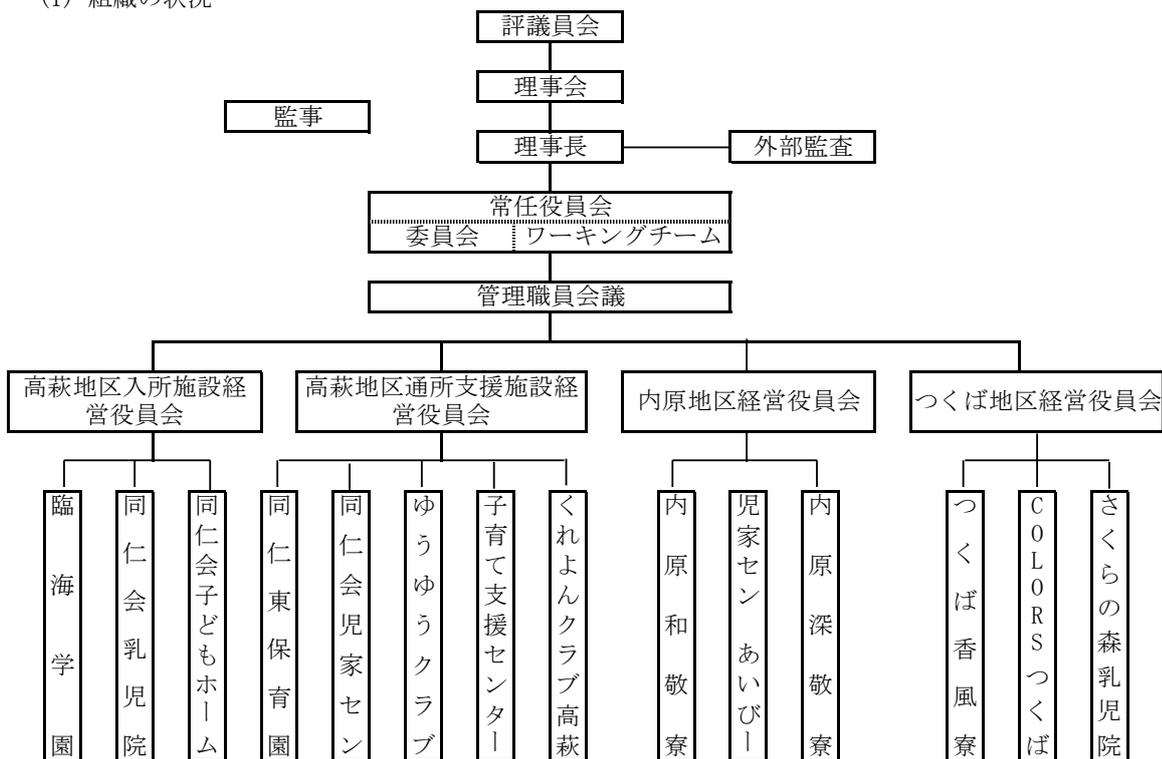
4) つくば地区施設経営役員

参事 江原 勝久

副参事 小林 亮一

5 組織及び職員の配置

(1) 組織の状況



(2) 職員の状況

令和7年4月1日現在

施設名	施設長	副施設長	児童指導員	保育士	看護師	児発管責任者	心理療法士	家庭支援専門	里親支援専門	相談員 フォスタ	厚生員 支援員	調理員 等	栄養士	事務員	合計
本部事務局														2	2
臨海学園	1	1	6	17			1	2	1			2	1	1	33
同仁会乳児院	1			22	4		1	1	2			5	1	1	38
同仁東保育園	1			28	2							6	1	3	41
ゆうゆう館	1			2							2				5
同仁会児家セン	(1)						5			5				1	11
同仁会子どもホーム	1		6	11			1	1	2			1	1	1	25
くれよんクラブ高萩	(1)		1	7		1									9
内原和敬寮	1	1	10	17			1	3	1			3	1	1	39
児家セン あいびー	(1)						1			8					9
内原深敬寮	1	1	16	2	1		5	2				6	1	1	36
つくば香風寮	1		15	12			2	2	2			1	2	1	38
COLORSつくば	(1)									4					4
さくらの森乳児院	1		4	17	5		1	1	2	6		3	2	1	43
合計	9	3	58	135	12	1	18	12	10	23	2	27	10	13	333

注) 1 非常勤職員を含む。産休育休中の職員を含む。 2 医師、嘱託医は除く。 3 ()は、兼務職員を示す。

(3) 職員の職層

令和7年4月1日現在

施設名		参事	副参事	参事補	主査	副主査	企画員	企画 研修員	研修員	非常勤	合計
本部事務局	男性									1	1
	女性					1					1
	計					1				1	2
臨海学園	男性	1		1	1		2	1	3		9
	女性						3	3	17	1	24
	計	1		1	1		5	4	20	1	33
同仁会乳児院	男性										0
	女性		1			2	5	1	27	2	38
	計		1			2	5	1	27	2	38
同仁東保育園	男性						1	1			2
	女性		2			2	2	4	21	8	39
	計		2			2	3	5	21	8	41
ゆうゆう館	男性								1		1
	女性				1			1		2	4
	計				1			1	1	2	5
同仁会児童家庭支援センター	男性						1		2		3
	女性							1	7		8
	計						1	1	9		11
同仁会子どもホーム	男性		1			2	1	1		1	6
	女性					1	1	3	14		19
	計		1			3	2	4	14	1	25
くれよんクラブ高萩	男性										0
	女性						1	1	4	3	9
	計						1	1	4	3	9
内原和敬寮	男性			1			1	4	1		7
	女性	1				1	2	3	20	5	32
	計	1		1		1	3	7	21	5	39
児家セン あいびー	男性								2		2
	女性						1	2	3	1	7
	計						1	2	5	1	9
内原深敬寮	男性		1	1			4	5	4		15
	女性						1	5	14	1	21
	計		1	1			5	10	18	1	36
つくば香風寮	男性	1			1		1	1	5		9
	女性						4	6	18	1	29
	計	1			1		5	7	23	1	38
COLORSつくば	男性						1	1			2
	女性							1	1		2
	計						1	2	1		4
さくらの森乳児院	男性		1		1			1			3
	女性						4	8	26	2	40
	計		1		1		4	9	26	2	43
合計	男性	2	3	3	3	2	12	15	18	2	60
	女性	1	3	0	1	7	24	39	172	26	273
	計	3	6	3	4	9	36	54	190	28	333

6 法人の運営

1) 評議員会

＜令和7年度事業計画＞

第75回評議員会《令和7年6月19日予定》

- 第1号議案 令和6年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和6年度決算報告(案)について
- 第3号議案 理事及び監事の選任について
- 第4号議案 定款変更について

第76回評議員会《令和7年11月28日予定》

- 第1号議案 令和7年度第1回補正予算(案)について

第77回評議員会《令和8年3月26日予定》

- 第1号議案 令和7年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和8年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和8年度当初予算(案)について

2) 評議員選任・解任委員会

＜令和7年度事業計画＞

《令和7年6月19日開催予定》

3) 理事会

＜令和7年度事業計画＞

第267回理事会《令和7年5月27日》

- 第1号報告 令和6年度第三者評価結果並びに自己評価の結果について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和6年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和6年度決算報告(案)について
- 第3号議案 定款変更について
- 第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 第5号議案 評議員候補者の推薦について
- 第6号議案 理事・監事候補者の推薦について
- 第7号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について
- 第8号議案 評議員選任・解任委員会の開催について

第268回理事会《令和7年6月19日予定》

- 第1号議案 理事長の選定について
- 第2号議案 つくば香風寮分園型小規模グループケア施設新築工事に係る入札参加者の選定方針について

第269回理事会《日付未定》

- 第1号議案 つくば香風寮分園型小規模グループケア施設新築工事に係る工事請負契約の締結について

第270回理事会《令和7年11月11日予定》

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和7年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

＜令和6年度事業報告＞

第72回評議員会《令和6年6月13日》

- 第1号議案 令和5年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和5年度決算報告(案)について

第73回評議員会《令和6年11月22日》

- 第1号議案 令和6年度第1回補正予算(案)について

第74回評議員会《令和7年3月27日》

- 第1号議案 令和6年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和7年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和7年度当初予算(案)について

＜令和6年度事業報告＞

(開催なし)

＜令和6年度事業報告＞

第262回理事会《令和6年5月28日》

- 第1号報告 令和5年度第三者評価結果並びに自己評価の結果について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和5年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和5年度決算報告(案)について
- 第3号議案 諸規則の一部改正について
- 第4号議案 つくば香風寮隣地の土地購入について
- 第5号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

第263回理事会《令和6年8月2日》

- 第1号議案 臨海学園分園型小規模グループケア施設新築工事に係る請負業者の選定方針について

第264回理事会《令和6年9月20日》

- 第1号議案 臨海学園分園型小規模グループケア施設新築工事に係る工事請負契約の締結について

第265回理事会《令和6年11月12日》

- 第1号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和6年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 諸規則等の一部改正について
- 第3号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

第266回理事会《令和7年3月12日》

- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
- 第2号報告 諸規程の一部改正について
- 第1号議案 令和6年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和7年度経営・運営計画(案)について

- 第271回理事会《令和8年3月12日予定》
- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
 - 第1号議案 令和7年度最終補正予算(案)について
 - 第2号議案 令和8年度経営・運営計画(案)について
 - 第3号議案 令和8年度当初予算(案)について
 - 第4号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

- 第3号議案 令和7年度当初予算(案)について
- 第4号議案 諸規則の一部改正について
- 第5号議案 幹部職員の人事について
- 第6号議案 評議員会の開催日時及び審議事項について

4) 監事会

＜令和7年度事業計画＞
《令和7年5月開催予定》

＜令和6年度事業報告＞
《令和6年5月15日開催》

5) サービス向上委員会(苦情解決委員会)

(地区ごとに設置：苦情解決責任者・苦情受付担当・第三者委員2名)

法人の職員・児童及びその父兄、利用者等からの意見提案を広く集め、対応にあたる。

(1) 高萩地区

受付件数3件

ゆうゆうクラブ(保護者からの苦情)

利用している児童の保護者から、児童間での暴力及び職員の対応についての苦情(対応)

・施設長と保護者の個別面談。謝罪及び施設内での今後の改善策について話し合う。

同仁会児童家庭支援センター(保護者からの苦情)

センターの対応が遅いこと、また相談の意図が伝わっていなかったことについての苦情(対応)

・施設長から保護者へ連絡。謝罪と状況説明をする。

臨海学園(職員からの苦情)

特定職員の休暇取得について、不公平があるとの苦情(対応)

・副施設長と主任とで検討後、休暇取得について不公平とならないよう改善策を実施し、今後の対応を勤務表作成者等へ周知する。

(2) 内原地区

受付件数4件

内原深敬寮(保護者からの苦情) 1件

児童の保護者から、施設からの連絡の不備があるという苦情(対応)

・職員と保護者、児童相談所とで情報をさらに丁寧に共有していくことで対応した。

内原和敬寮(地域の方からの苦情) 1件

敷地内の出入りについてと職員の対応についての苦情(対応)

・申出人に謝罪し和解した。職員間で情報を共有した。

内原深敬寮(職員からの苦情) 2件

職員の言動について、職員間の情報共有などについての苦情(対応)

・申し出があった職員に個別で話を聞き、会議で注意を促していく等、施設で対応していく。

(3) つくば地区

受付件数0件

6) 法人運営・連絡会議等

(1) 定期開催会議等

イ) 常任役員会

年1回(理事長、理事)

ロ) 施設経営役員会

原則毎月(施設を4グループに分けて設置)

ハ) 管理職員会議

年6回 奇数月開催

ニ) 家庭支援会議

原則隔月(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、児童家庭支援センター相談員等)

ホ) リスクマネージャー会議

法人会議年6回(隔月)

ヘ) 栄養士会議

年2回

ト) 心理職会議

年4回

(2) 随時開催会議等

イ) 処遇システム管理者会議

年6回

ロ) 事務職員会議

その他

7) 法人委員会の事業

＜令和7年度事業計画＞

研修委員会（委員11名）

委員会 …… 12回予定
講演会 …… 2回予定
研究発表会 … 1回予定

※内容は未定

情報公開委員会（委員10名）

委員会 … 9回予定
広報誌発行 … 2回
第59号 令和7年8月 発行予定
第60号 令和8年1月 発行予定

8) 法人職員研修

＜令和7年度事業計画＞

イ) 新規採用職員研修：参加職員26名

- 第1回 期日 令和7年4月1日、2日
会場 同仁会子どもセンター
内原同仁会子どもセンター
内容
「同仁会の理念について」 塩澤理事長
「創業者 遠藤光静師」 草間吉夫（理事）
「福祉職員の生活と職場のマナー」 西野宮施設長
「児童の権利擁護について」 飯村副施設長
「就業規則、給与規則について」 野原よう子
「先輩からのアドバイス」 石川瑞稀・白土みなみ
- 第2回 期日 令和7年10月3日予定
会場 つくば同仁会子どもセンター
内容
「講話」 小林施設長
「リスクマネジメントについて」 西野主任
「先輩からのアドバイス」 芳賀水麗・比屋根陽
「3分間スピーチ」 参加職員発表
- 第3回 期日 令和8年2月6日予定
会場 同仁会子どもセンター
内容
「自己管理とメンタルヘルス」 安藤みゆき（評議員）
「子どもの病気と対応について」 鈴木紀子
「先輩からのアドバイス」 遠山拓美・生井杏奈
「3分間スピーチ」 参加職員発表

＜令和6年度事業報告＞

研修委員会（委員11名）

委員会 …… 7回
講演会 …… 2回
研究発表会 … 1回

○講演会

- 第1回 令和6年6月28日
テーマ 「同仁会の歩みと今後の展望について」
—施設の多機能化や地域とのかかわりについて—
講師 同仁会理事長 塩澤 幸一
会場 各施設（WEB配信・視聴）
- 第2回 令和6年11月8日
テーマ 「お金の使い方について」
講師 マニユライフ・ファイナンシャル
アドバイザーズ(株) 浦上 伸一 様
会場 各施設（WEB配信・視聴）

○研究発表会

- 期日 令和7年2月5日
テーマ 「保育所等訪問支援の在り方とは」
—インクルーシブ保育・教育を目指す支援
くれよんクラブ高萩
会場 各施設（WEB配信・視聴）

情報公開委員会（委員9名）

委員会 …… 9回
広報誌発行 … 2回
第57号 令和6年8月 発行部数 1,300部
第58号 令和7年1月 発行部数 1,300部

＜令和6年度事業報告＞

イ) 新規採用職員研修：参加職員38名

- 第1回 期日 令和6年4月1日、2日
会場 同仁会子どもセンター
内原同仁会子どもセンター
内容
「同仁会の理念について」 塩澤理事長
「組織、就業規則、給与規則について」 遠藤雅明
「福祉職員の生活とマナー」 西野宮施設長
「児童の権利擁護について」 渡邊施設長
「施設内虐待防止への取り組み」 芳賀施設長
「先輩からのアドバイス」 荒木真志・杉山奈央
宍戸知樹
- 第2回 期日 令和6年10月4日
会場 つくば同仁会子どもセンター
内容
「講話」 小林施設長
「リスクマネジメントについて」 佐々木主任
「先輩からのアドバイス」 樫村紫苑・大野秀子
「3分間スピーチ」 参加職員発表
- 第3回 期日 令和7年2月2日
会場 同仁会子どもセンター
内容
「自己管理とメンタルヘルス」 加藤弘樹
「子どもの病気と対応について」 鈴木紀子
「先輩からのアドバイス」 海老沢暁子・山本茉由希
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員36名
期日 令和6年5月16日
会場 同仁会子どもセンター
「講話」 佐藤施設長
「リスクマネジメントについて」 野田副施設長
「食育」 海老澤暁子
「先輩からのアドバイス」 鈴木みとの・下山田奈央子

ハ) 新任副グループ長及び新任企画研修員研修
期日 令和7年12月12日
会場 つくば同仁会子どもセンター
「副グループ長・企画研修員に求めること」 江原施設長
「予算や会計など事務について」 西澤碧美
「同仁会が目指す未来について」 塩澤理事長
「主任からのアドバイス」 佐々木主任・増子主任
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ニ) 5年次職員研修 : 参加予定職員17名
期日 令和7年9月12日
会場 内原同仁会子どもセンター
内容
「講話」 篠原副施設長
「講話」 渡邊施設長
「主任からのアドバイス」 中嶋主任・佐々木主任
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修
期日 令和7年6月13日 : 参加職員17名
会場 同仁会子どもセンター
内容
「講話」 塩澤理事長
「講話」 (未定)
「3分間スピーチ」 参加職員発表

9) 県主管課等実地検査の状況 ＜令和7年度事業計画＞

茨城県一般検査
令和7年9月予定
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室

10) 職員の採用及び退職の状況 ＜令和7年度事業計画＞

○採用面接選考会
(第1次選考会) 令和7年6月～7月予定
(第2次選考会) 令和7年9月～10月予定

ロ) 3年次職員研修 : 参加職員23名
期日 令和6年5月17日
会場 同仁会子どもセンター
「講話」 今橋施設長
「リスクマネジメントについて」 荘司主任
「先輩からのアドバイス」 奈良奈月・田村菜摘
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ハ) 新任副グループ長・新任企画研修員研修
期日 令和6年12月13日 : 参加職員10名
会場 つくば同仁会子どもセンター
「副グループ長・企画研修員に求めること」 江原施設長
「予算管理について」 西澤碧美
「同仁会が目指す未来について」 塩澤理事長
「主任からのアドバイス」 西野主任・増子主任
「3分間スピーチ」 参加職員発表

ニ) 5年次職員研修 : 参加職員19名
期日 令和5年9月13日
会場 同仁会子どもセンター
内容
「講話」 野田副施設長
「3分間スピーチ」 参加職員発表
「主任からのアドバイス」 根本主任・小野瀬主任
「講話」 谷施設長

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修 : 参加職員15名
期日 令和6年6月14日
会場 同仁会子どもセンター
内容
「講話」 塩澤理事長
「講話」 安藤みゆき(評議員)
「3分間スピーチ」 参加職員発表

＜令和6年度事業報告＞

茨城県一般検査
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室
令和6年9月5日, 10日, 12日, 17日
(1) 実地検査
臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム
同仁会児童家庭支援センター・内原和敬寮・内原深敬寮
児童家庭支援センターあいびー・つくば香風寮・さくらの森乳児院
(2) 書面検査
同仁東保育園
・是正又は改善を要する事項
＜内原和敬寮・内原深敬寮・児童家庭支援センターあいびー＞
・消火訓練は少なくとも毎月1回は実施すること。

＜令和6年度事業報告＞

○採用選考会
面接選考会
令和6年6月19日・6月29日・10月3日・10月12日(第1次募集)
応募者総数 18名 採用内定者数 12名
(辞退1名)
令和6年10月15日から(第2次募集・随時募集)
応募者数 8名 採用内定者数 4名
○採用の状況(正規職員)
・令和6年 7月 1日付 1名 ・令和6年 8月 1日付 1名
・令和7年 2月 1日付 1名 ・令和7年 3月 1日付 1名

○退職の状況(正規職員)

- ・令和6年 6月18日付 1名
- ・令和6年 7月31日付 1名
- ・令和6年12月19日付 1名
- ・令和7年 3月31日付 6名
- ・令和6年 6月30日付 2名
- ・令和6年 7月 6日付 1名
- ・令和6年12月20日付 1名

11) 令和6年度職員福利厚生状況

1. 退職共済制度への加入(独立行政法人福祉医療機構及び茨城県民間施設退職共済会)

令和6年度実績

加入者数	304名		
加入掛金	独立行政法人福祉医療機構	14,196,000円	
	茨城県民間施設退職共済会	10,884,190円	

2. 茨城県社会福祉施設職員互助会加入

加入者数	304名
加入掛金	2,097,600円(同額を職員も負担)

3. 職員表彰

・茨城県知事

谷 由紀子 根本 陽 高根澤 武 小野 裕子 下山田奈央子

・茨城県社会福祉協議会

関根 愛 澤野 元秀 越野 智絵

・全国児童養護施設協議会

小野瀬 大 佐々木郁代 西野 勇二

・高萩市社会福祉協議会

池田 美咲 赤塚 大輔 野崎 一太

・法人内表彰(R7.4.1)

勤続35年…1名 30年…4名 20年…1名 15年…5名 10年…7名 5年…17名

4. 職員親睦会厚生委託事業

1. 高萩

1. 会員数/会費 148名/1,777,000円(月額1,000円)

2. 決算

収入	5,822,152円	支出	5,280,926円
会費収入	1,777,000円	福利厚生事業	1,484,618円
補助金収入	3,359,083円	職員研修事業	515,367円
雑収入	61,573円	グループ別事業	1,323,000円
繰越金収入	624,496円	慶弔費	272,438円
		事務費	5,500円
		退会金積立	148,000円
		卒園者等支援事業費積立	1,400,000円
		予備費	132,003円

次年度繰越金 541,226円

3. 事業

- ・親睦会総会 2024年5月 参加139名
- ・福利厚生事業
 - 春の懇親会 令和6年6月19日 秋の懇親会 令和6年11月6日 役職員懇親会 令和7年1月16日
- ・研修・サークル活動事業
 - 親睦会研修
 - ・ヨガ教室 (18名)
 - ・キャンプ飯 (22名)
 - ・寄せ植え教室 (22名)
 - サークル活動
 - ・サークルCafé一休(36名) / 偏愛♡集団(7名) / グルメ&アウトドアサークル(25名)
 - ・外で遊部(8名) / PICAサークル(12名) / スポーツサークル(8名)
 - ・B級グルメと映画サークル(15名) / ランチサークル(6名) / 同仁会トレンド部(9名)
 - ・手芸サークル(12名)
 - ・慶弔(結婚3名 出産5名 退会5名 家族弔意19名 傷病見舞0名)
 - ・役員会 年12回開催
 - ・卒園者等支援事業 4名(1,000,000円)

4. 令和7年度事業計画

- ・ 令和7年度親睦会総会 令和7年5月
- ・ 新入会員歓迎事業 6月
- ・ 役職員懇親会 1月
- ・ 親睦会研修
- ・ サークル活動事業
- ・ グループ別事業
- ・ 職員の慶弔
- ・ 卒園者等支援事業
- ・ 役員会（毎月開催）

2. 内原

1. 会員数／会費 81名／962,000円（月額1,000円）

2. 決算

収入	2,562,937円	支出	1,851,208円
会費収入	962,000円	歓迎会	349,085円
補助金収入	927,802円	新年懇親会	469,118円
雑収入	5,372円	年度末懇親会	307,180円
繰越金収入	667,763円	研修に関する事業	161,947円
		忘年会	180,000円
		その他（慶弔費・退会積立金等）	383,878円
次年度繰越金	711,729円		

3. 事業

- ・ 令和6年度親睦会総会 令和6年4月24日
- ・ サークル活動
 - ・ 子育て中の食育を考える会（6名）／ラポール形成の会（10名）
 - ・ カフェサークル（10名）／もぐもぐの会（7名）まんぶくたいよう（9名）
- ・ 歓迎会 令和6年5月22日 参加人数 43名
- ・ 忘年会（和敬寮・あいびー） 令和6年12月19日 参加人数 25名
- ・ 忘年会（深敬寮） 令和6年12月11日 参加人数 17名
- ・ 新年懇親会 令和7年1月22日 参加人数 47名
- ・ 年度末反省会 令和7年3月19日 参加人数 43名
- ・ 役員会 8回
- ・ 慶弔（出産1名 香典9名 傷病見舞金2名 退会餞別金8名）

4. 令和7年度事業計画

- ・ 令和7年親睦会総会 令和7年4月23日
- ・ 春期懇親会・職員歓迎会 未定
- ・ 新年会（日時未定） ・ 忘年会（日時未定） ・ 年度末反省会（日時未定）
- ・ 親睦を深める事業（日時未定） ・ 研修に関する事業（日時未定） ・ 役員会（年8回予定）

3. つくば

1. 会員数／会費 78名／928,000円（月額1,000円）

2. 決算

収入	2,229,771円	支出	1,564,462円
会費収入	928,000円	年度初めの懇親会（歓迎会）	280,400円
補助金収入	780,000円	暑気払い	246,910円
雑収入	191円	新年懇親会	247,660円
繰越金収入	521,580円	忘年会	282,491円
		年度末懇親会（送別会）	258,100円
		その他（慶弔費）	50,000円
		役員慰労	105,000円
		年度途中退会者への送別品	14,901円
		消耗品	0円
		退会金積立	79,000円
次年度繰越金	665,309円		

3. 事業

- ・ 親睦会総会 令和6年4月26日 地域交流スペース
- ・ 年度初めの懇親会（歓迎会） 令和6年5月17日 参加者54名 漁火
- ・ 暑気払い 令和6年8月9日 参加者45名 BBQ DAYS トリエクオつくば
- ・ 忘年会 令和6年12月20日 さくらの森乳児院38名 地域交流スペース
- 令和6年12月23日 つくば香風寮21名 鳥貴族

・新年会懇親会	令和6年12月27日	COLORSつくば6名	フランス食堂
	令和7年1月17日	さくらの森乳児院15名	鳥吉
	令和7年1月24日	つくば香風寮23名	一年中おでん屋はなび
・年度末懇親会（送別会）	令和7年2月14日	COLORSつくば6名	牛久シャトーレストラン
・役員会	令和7年3月14日	参加者46名	やきとり 小松っちゃん
・慶弔（結婚2名 傷病見舞1名 家族弔慰5名 退会餞別金3名）	年7回開催		

4. 令和7年度事業計画

・令和7年度親睦会総会	令和7年4月24日
・年度初めの懇親会（歓迎会）	令和7年5月16日
・暑気払い	日時未定
・忘年会	日時未定
・新年懇親会	日時未定
・年度末懇親会	日時未定
・研修事業	内容検討中
・役員会（年6回）	

12) 令和6年度寄付受託の状況

現金

・法人本部

大橋 正男 様	30,000 円		霊友会 様	500,000 円
今川 恭子 様	50,000 円		日立ブーケライオンズクラブ 様	600,000 円
大谷 節子 様	20,000 円		(株) やまとセレモニー 様	100,000 円
今橋 優子 様	100,000 円		いぶき会 様	70,000 円

・臨海学園

高萩市社会福祉協議会 様	150,000 円		セブン-イレブン・ジャパン 様	40,000 円
株式会社アンテックス 様	100,000 円		川口啓予 様	30,000 円
茨城県建築士会 様	100,000 円		沼田武志 様	10,000 円
日本児童養護施設財団 様	60,000 円		東会 様	10,000 円

・同仁会乳児院

(匿名) 様	50,000 円		高萩市歳末助け合い募金 様	85,000 円
高野重美 様	30,000 円		セブンイレブン・ジャパン 様	40,000 円

・同仁東保育園

2023年度卒園児保護者 様	2,631 円		のぞみそろばん 様	5,000 円
2024年度卒園児保護者 様	50,000 円			

・くれよんクラブ高萩

高萩市社会福祉協議会 様	70,000 円			
--------------	----------	--	--	--

・同仁会子どもホーム

(非公表)	200,000 円		(株)アンテックス 様	100,000 円
清水あつ子 様	50,000 円		一般社団法人篠原欣子記念財団 様	25,000 円

・内原和敬寮

匿名 様	5,000 円		一般社団法人日本児童養護施設財団 様	50,000 円
天台宗 人権擁護委員会 様	10,000 円		茨城県信用組合従業員組合 様	58,000 円
			セブンイレブンジャパン 様	40,000 円

・児童家庭支援センターあいびー

(株) 第一生命保険水戸支社 様	90,800 円			
------------------	----------	--	--	--

・つくば香風寮

匿名 様	5,000 円		セブンイレブンジャパン 様	40,000 円
伊藤 麻夫 様	50,000 円		匿名 様	50,000 円
徳力建設工業 様	200,000 円		西野 玲子 様	5,000 円
匿名 様	50,000 円		久保田 絵理子 様	30,000 円
島田 照夫 様	5,000 円		日本児童養護施設財団 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円		匿名 様	50,000 円

・さくらの森乳児院

伊藤 麻夫 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円
赤川 朱美 様	10,000 円
島田 照夫 様	5,000 円
匿名 様	50,000 円
小林 祐子 様	20,000 円

セブンイレブンジャパン 様	40,000 円
田口 正則 様	10,000 円
遠藤 恵美子 様	10,000 円
匿名 様	50,000 円
西野 玲子	5,000 円
匿名 様	50,000 円

物 品

・臨海学園

高萩市社会福祉協議会 様	米
北茨城市社会福祉協議会 様	米
日興建設(株) 様	菓子
トヨタレンタリース 様	菓子
菊地青果店 様	果物
毎日新聞東京社会事業団 様	玩具
イガラシ綜業 様	文具雑貨、ケーキ
フィリップモリスジャパン 様	ケーキ
寿食品株式会社 様	食品
24時間テレビチャリティ委員会 様、やす子 様	
	図書券、食事券、テレビ
全国シャンメリー協同組合 様	飲料
コープ食品株式会社 様	食品
(株)Daska&Desiree 様	チョコレート
桃屋株式会社 様	食品
(株)チュチュアンナ 様	衣類
カープフードドライブ 様	食品
コストコホールセールジャパン 様	食品、文具雑貨
ファーストリテイリング 様	衣類
日本缶詰びん詰レトルト職員協会 様	食品
東洋水産	食品
エム・シーシー食品株式会社 様	食品
株式会社サンヨー堂 様	食品
アサヒ飲料株式会社 様	飲料
株式会社明治屋 様	青果
高木商店株式会社 様	食品
三育フーズ株式会社 様	食品
丸善食品工業株式会社 様	食品
キュービー株式会社 様	食品
株式会社アーデン 様	食品

トカールフットボール協会 様	サッカーボール
日本出版販売株式会社 様	書籍
東海大学 小林理 様	書籍
リスカ株式会社 様	菓子
としのぶさん家の粉 様	たこ焼き粉
日本鏡餅協会 様	鏡餅
希南商事 様	米
JA常陸高萩地区女性部 様	米
JAIFA茨城県協会 様	時計
ほっともっと 様	DVD
大橋正男 様	青果
川口啓子 様	菓子
鹿野光春 様	飲料品
松本英美 様	飲料品
内田太一 様	飲料
木村直人 様	米、文具、雑貨
岡野けい子 様	菓子
内藤彰信 様	食品
後藤奈菜 様	菓子
ひまわり 様	菓子、文具、日用品
大橋亜由美 様	飲料
畠山和夫 様	菓子
作間 様	青果
柴田 様	青果
奥原弘 様	菓子
緑川栄 様	飲料
仲田洋子 様	果物
小山 様	菓子・玩具
前島宏一郎 様	飲料
前島沙友里 様	スポーツ用品

・同仁会乳児院

Amazon 乳児院支援プログラムに協力くださった方々	
天賀谷 様	シリコンエプロン、リック他
影狼隊 様	メリーズ紙パンツ
森川 様	折り紙、スタンプセット
谷津 様	定期便粉ミルク
馬場崎 様	ベビー服、ブックギフト他
鈴木 様	こども用傘
ミッキー君の親戚 様	アンパンマン玩具
匿名 様	マスカラ
中村 様	クレヨン
秀谷 様	アンパンマンぬいぐるみ
天野 様	アンパンマンプリチイビーンズ他
今井 様	ブラレール
(株)愛テックファーム 様	おままごとキッチン
m・m 様	ブラレール蒸気機関車
クラタニ 様	ブラレール特急ひたち
久城 様	学研ブロックきほん
アンパンマン 様	アンパンマンおでかけセット
林田 様	寝かしつけぬいぐるみ
下野 様	魚釣りゲーム他

Amazon 乳児院支援プログラムに協力くださった方々	
松山 様	アンパンマンソファベッド
背黒 様	ショベルカー
榊原 様	シール、スタンプセット
立原 様	おでかけリック
匿名 様	トミカはたらく車他
北斗 様	おむつ入れポーチ他
匿名 様	マルカ工事車両セット
山田 博元 様	クリスマスプレゼント
佐藤 珠美 様	菓子
門司 一徹 様	カード他
明治ホールディングス(株) 様	積み木、粉ミルク
NTT印刷(株) 様	絵本
篠原 欣子記念財団 様	菓子
川澄 恵子 様	甚平
横浜幸銀信用組合 様	絵本
(株)ジェイ・ストーム様	七五三祝い
鈴木 幸夫 様	絵画
高萩地区交通安全協会 様	米
公益社団法人 母子保健推進会議 様	おしりふき

アンパンマン 様	ベビージャンパー
竹田 様	働く車セット
匿名 様	ハンドスピナー
匿名 様	ピカチュウお絵描きボード他
土井 様	かえるカード
chiffon人魚の涙 様	メルちゃんのベビーカー他
笹本 様	アンパンマンよくばりビジーカー
竹内 様	SDカード他
匿名 様	ふうせん、シール
牛尾 様	シリコンエプロン
匿名 様	ベビージム
匿名 様	スタイセット
匿名 様	ベンツの車
石山 様	アンパンマン柔らかカボール
高野 様	アンパンマン折り紙、シール
佐々木 様	クリスマスシール
上條 様	スタイ、恐竜シール
匿名 様	スピルアゲイン
藤枝 様	メリーズ紙パンツ
ひろせ 様	追いかけてピカチュウ他
匿名 様	アンパンマンシール他
匿名 様	SDカード
北山 様	へんしんジム、パズル
喜んでくれるかな 様	知育マット他
神志名 様	アンパンマンタオル、スタイ
h.atsumi 様	はらぺこあおむしスタイ
藤戸 様	アンパンマン積み木他

東海DOS 様	お菓子
朝日グループ食品(株) 様	離乳食
佐藤 夏美 様	絵本
宮澤 修 様	りんご
櫻村 まい様、歩 様	玩具
伯田 友加 様	玩具
守屋 直美 様	衣類
鈴木 栄子 様	ティッシュ
芳賀 洋子 様	たけのこ
菊池青果店 様	メロン
希南商事 様	米
加藤 弘樹 様	三輪車
才丸 唯 様	ベビーカー
佐藤 香緒利 様	タオル
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード
いばらきコープ 様	紙おむつ、粉ミルク
NPO法人グルーン 様	お節料理
田中 紀江 様	洋服
井樋 様	洋服

tsumugu sewing room の皆様	手作り用品
伊藤 美晴 様	(ベビー服、スタイ、食食用エプロン)
佐藤 美華 様	木村 千紘 様
奥留 潮美 様	小金澤 美和 様
川手 奈津子 様	渡辺 由紀子 様
松井 様	

・同仁東保育園

菊池青果店 様	果物
Itレボリューション 様	コーヒー
鈴木商店 様	ワイン
筑波銀行高萩支店 様	飲み物
たかはぎ認定こども園 様	飲み物
川崎 様	菓子
目崎 様	菓子
滝沢 様	飲み物
中村 様	手作り玩具
稲川 様	菓子
菅原 様	洗剤
長谷川 様	菓子
後藤 様	飲み物
柳田 様	おんぶひも
小川 様	靴
石塚 様	靴
長谷川 様	靴
今橋 様	三輪車

のぞみそろばん 様	菓子
金成観光 様	菓子
超禅 様	菓子・飲み物
渡辺(中郷保育園) 様	飲み物
沼田農園 様	野菜
今橋 様	経口保水液・菓子
竹林 様	果物
小林 様	飲み物
柴田 様	菓子
小池 様	菓子
平尾 様	菓子
大和田 様	絵本・野菜
千葉 様	菓子
高木 様	おんぶひも
阿部 様	靴
大高 様	靴
神永 様	靴

・ゆうゆうクラブ

橋本 様	菓子・スポーツドリンク
白土 様	菓子・ボードゲーム
春日 様	菓子
志賀 様	菓子

勝村 様	菓子
原 様	菓子
滑川 様	菓子
山本 様	菓子

・同仁会地域子育て支援センター

皆川 様	玩具
長谷部 様	菓子
蛭田 様	玩具
田中 様	玩具

生井 様	玩具
佐藤 様	菓子
長谷川 様	玩具・菓子
鈴木 様	玩具

・同仁会児童家庭支援センター

生頭 清美 様	衣類
阿部 悠 様	マスク、巾着

北茨城市社会福祉協議会 様	玩具、日用品等
---------------	---------

・くれよんクラブ高萩

高塩 様	菓子・本
善方 様	菓子
渡邊 様	菓子
飯泉 様	菓子
木村 様	菓子
長谷川 様	菓子

生田 様	菓子
小山 様	菓子
鈴木 様	菓子・玩具
菊池 様	菓子
小川 様	菓子
田中 様	果物

・同仁会子どもホーム

青木 聡美 様	野菜
あんのうん 様	漫画
五十嵐広美 様	食品
井戸川照士 様	菓子
石川 恭規 様	チョコレート
一澤ユアナス 様	米
植野 美夏 様	菓子
大高恵美子 様	電池
大谷 節子 様	菓子
大塚 典雄 様	食品、食器
小野崎慶喜 様	野菜
小野瀬秀子 様	りんご
小野寺広恭 様	花火
神永 好夫 様	野菜
久保田将彦 様	菓子
小林 慶人 様	菓子
小林 幸雄 様	菓子
小松 肇 様	食品
小山 様	菓子、玩具、家電
坂本 昭治 様	菓子
坂本 美幸 様	菓子
佐川 様	野菜
佐藤 勇希 様	菓子
椎根 律子 様	菓子
荘司 恒夫 様	食品
鈴木 一行 様	野菜
高瀬 謙一 様	すいか、野菜
土田 順一 様	花火
内藤 彰信 様	食品
中村有美子 様	菓子
二階堂芳江 様	果物
芳賀 酉次 様	野菜
原橋 智子 様	ポストカード、便箋、シール
藤田 水緒 様	野菜
本間 ゆみ 様	肥料
松本 永遠 様	食品、漫画
宮本 真理 様	絵本
門司 一徹 様	風鈴、漫画
守屋 直美 様	風鈴、Xmasカード
八木 政一 様	干しいも
若林 初枝 様	果物
匿名でのご寄付の皆様	食品

アニバーサリースタジオANGE 様	七五三撮影
茨城県退職公務員連盟高萩支部 様	タオル
茨城コープ 様	菓子、観戦招待
株式会社 茨城ロボッツエンターテイメント 様	バスケット観戦招待
大部林業製材所 様	菓子
OCTAVO株式会社 様	マスク
北方そばの会 様	生そば
餃子の雪松 様	餃子
キッチンやさい畑 様	菓子
NPO法人グッドライフ 様	絵本
GROOVE X 株式会社 様	生そば
餃子の雪松 様	餃子
一般財団法人ぐるーん佐藤香緒利 様	おせち料理
NPO法人子ども食堂れん 様	食品
NPO法人里山文化ネットワーク 様	蛸鑑賞、お守り製作
サンエックス株式会社 様	ぬいぐるみ
JA常陸高萩地区女性部高萩支部 様	もち米
JA常陸農業協同組合 様	米
自習ノート事務局 様	ノート
公益財団法人資生堂子ども財団 様	セミナー招待
全国シャンメリー共同組合 様	シャンメリー
一般社団法人情熱クラブ 様	イベント招待
太平産業株式会社 様	イベント招待
DASKA&DESIREE 様	チョコレート
株式会社チュチュアンナ 様	靴下
東海村社会福祉協議会 様	衣類
東京ガスネットワーク株式会社 様	キッズニア招待
株式会社ドミノピザ・ジャパン 様	ピザ
公益財団法人24時間テレビチャリティ委員会 様	グルメ券、図書カード、PC、タブレット
公益財団法人日本びん詰り食品協会 様	食品
日本鏡餅組合 様	鏡餅
公益財団法人日本漢字能力検定協会 様	問題集
日本出版販売株式会社 様	書籍
日本赤十字社アマチュア無線奉仕団 様	炊き出し
日本生命保険相互会社 様	キッズニア招待
一般社団法人日本レコード協会 様	CD
株式会社パイロット 様	文具
フードバンク茨城 様	食品
不二家高萩イオン店 様	日用品、菓子
プレミアム・ラフット日本事務局文屋 様	書籍
株式会社フレーバル館 様	絵本
ほっともっと 様	DVD
株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック 様	サッカー観戦招待
株式会社千成屋 様	写真撮影
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 様	玩具
株式会社ゆうちょ銀行 様	カレンダー
株式会社ユニクロ 様	衣類
リスカ株式会社 様	菓子
笑家・富永茂樹 様	菓子

◎Amazon欲しいものリストから

青木 様	玩具
加藤 様	玩具、学用品
鈴木 様	玩具
武田 様	玩具
あわてんぼうのサンタ様	玩具、学用品
くらげ 様	玩具
サロメイト 様	玩具
偽サンタ 様	玩具
匿名でのご寄付の皆様	玩具、衣類、学用品 置時計、ハンカチ

・内原和敬寮

水戸ホーリーホック様 試合観戦・交流
 茨城乳配(株)様 クリスマスプレゼント
 ゆうちょ銀行様 カレンダー
 バイクサンタ様 玩具、雑貨等
 フードバンク様 食品
 日本教文社様 書籍
 地域の学校様 ボール
 いばらきコープ生活協同組合様 試合観戦
 (株)チュチュエーナ様 靴下
 としのぶさんちの粉様 食品
 日本鏡餅組合理事長様 鏡餅
 (株)フレーベル館 書籍
 鹿野光春様 食品
 日本出版販売株式会社様 書籍
 朴明俊・朝子様 食品
 楢崎 ひろ子様 食品
 (株)リスカ様 食品
 読売巨人軍ファン事業部様 試合観戦
 文屋様 書籍
 千成屋様 写真撮影
 茨城県グローブシップ株式会社様 観劇
 篠原光様 食品
 NPO法人ハッピーリレーいろいろ様 食品
 水戸さくらロータリークラブ様 乗馬体験・バーベQ
 NPO法人グッドライフ様 書籍

全国シャンメリー協同組合様 食品
 コストコひたちなか店様 おもちゃ、菓子等
 ほっともっと様 DVD
 岩田 寛様 食品
 ローソン水戸内原店様 食品
 J A I F A 様 時計
 茨城県サッカー協会 試合観戦
 ダスカ&デジリー様 食品
 茨城県共同募金会様 クリスマスプレゼント
 ドミノピザ水戸見川店様 食品
 茨城ロボッツ様 試合観戦
 公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団様 玩具・スポーツ用品
 川井様 食品
 餃子の王将水戸桜通り店様 食品
 トラットリア ロカール様 食品
 野原様 食品
 (公財)日本漢字能力検定協会様 教材
 (株)フレーベル様 書籍
 額賀様 食品
 篠原欣子財団様 食品
 鹿島臨海ロータリークラブ様 ランドセル
 谷口敬昭様 お祭り招待
 東海DOSE様 食品
 情熱クラブ様 催し物招待

・児童家庭支援センターあいびー

NPO法人ハッピーリレーいろいろ様 食品

フードバンク様 食品

・内原深敬寮

石橋様 野菜
 佐竹様 メロン
 間宮様 野菜
 万城様 野菜
 楢沢様 梨

茂木様 さつまいも
 (株)笠間ソフトメン橋本屋様 生ラーメン
 (株)リスカ様 食品
 工藤様 野菜
 フードバンク様 食品

・つくば同仁会子どもセンター (つくば香風寮、さくらの森乳児院)

(有)ハート企画 吉倉 尚希様 お菓子
 株式会社 I T O 様 餃子
 東海DOS 様 お菓子
 古山 和一様 お米・タオル・ポインセチア

横田 文雄様 お菓子
 飯田ぶどう園様 ぶどう
 つくば市社会福祉協会様 タオル

・つくば香風寮

サンエックス株式会社様 ぬいぐるみ
 茨城グローブシップ株式会社様 ミュージカルチケット
 リスカ株式会社様 お菓子
 つくばアウルライオンズクラブ様 果物狩招待・クリスマスケーキ
 えるふ農園様 野菜
 株式会社フレーベル館様 書籍
 全国シャンメリー協同組合様 シャンメリー
 ほっともっと様 DVD
 日本鏡餅組合理事長 樋口 元剛様 鏡餅
 幸あれ様 お菓子
 公益財団法人報知社会福祉事業団様 プロ野球観戦招待
 毎日新聞東京社会事業団様 玩具・ボール・DVD他
 JAIFA 茨城県協会様 時計
 株式会社 吉野家様 牛丼
 公益財団法人 那須記念財団様 文房具
 一般社団法人 日本レコード協会様 CD
 株式会社 ユニクロ様 衣類

阿部 万里子様 調理雑貨
 ドミノ・ピザ様 ピザ
 D a s k a & D e s i r e e 様 お菓子
 大川 聡巳様 日用品・食品
 吉川 美優様 日用品・玩具他
 しみず整形外科リハビリクリニック様 ランドセル
 コストコホールセールジャパン つくば倉庫店様 食品・ランタン・日用品
 相澤晴夫様 飯塚康弘様 市原裕一郎様 井上誠様
 大和田米吉様 岸田小夜子様 五頭弘登様 桜井勝様
 関頭広晃様 瀬戸口進様 中崎裕市様 中根祐一様
 中山健二様 新村直志様 沼尻正則様 長谷川久夫様
 松本哲夫様 山崎智弘様 山田正美様 大里義徳様
 鈴木浩様 関俊介様 高野章様 中村和夫様 渡部耕治様
 日本出版販売株式会社様 自転車
 書籍
 ◎Amazon欲しいものリストから
 めぐたん様 おしりふき
 てすてつど様 日用品・電気シェーバー

つくばフォレストクラブ 様	野菜
日本缶詰びん詰めレトルト食品協会 様	食品
24時間テレビチャリティー委員会 様	テレビ
佐久間 響子 様	玩具・日用品
高橋 宏明 様	自転車他
永田 繁彦 様	花火
稲葉 恵子 様	自転車他
島田 照夫 様	梨
ヴァンシケル トム 様	アイス
細村 忠男 様	お米

名無し 様	書籍
沖縄の主婦 様	日焼け止め
KM 様	書籍
S 様	おしりふき
しろくま 様	日用品
K 様	書籍・日用品
あわてんぼうのサンタ 様	クリスマスプレゼント他
サンタ 様	デジタルカメラ
匿名でのご寄付の皆様	書籍・日用品・学用品・衣類
ドライヤー・アイロン・玩具・クリスマスプレゼント	

・さくらの森乳児院

明治ホールディング株式会社 様	ミルク・玩具
下妻ボランティア子育て応援「バトンの会」 様	衣類・おもちゃ
カスミユニオン 様	加湿空気清浄機
カープスフードドライブ 様	食品
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード
横浜幸銀信用組合 様	絵本
ピープル株式会社 様	玩具
tsumugu sewing room 様	ベビーリュック
内海産業株式会社 様	食品
Sola International School 様	玩具
斉藤 久恵 様	靴・食品
古川 竜・スミ子 様	玩具
荒川 ルーデス 様	衣類・日用品
石田 謙一 様	お米

植田 美佐子 様	衣類・玩具
藤枝 由紀 様	アルバム・日用品
染谷 節子 様	衣類
小林 祥子 様	紙おむつ・粉ミルク他
小林 祐子 様	帽子・靴・本他
◎Amazon乳児院支援プログラムにご協力くださった方々	
草野 真美 様	炊飯器・玩具・ベビー枕・洗剤
ミタリ 様	フェルアルバム
T・Y 様	食事前エプロン・フェルアルバム
サンタ 様	玩具
おばさん実習生 様	パズル
匿名でのご寄付の皆様	玩具・乗用玩具・食事前エプロン
絵本・電動鼻水吸引器・衣類・寝具	
哺乳びん除菌乾燥機・ペーパータオルケース	
充電器・のぼり台・靴 (サイズ多数)	

13) 令和6年度ボランティア活動受入の状況

・臨海学園

・散髪	小貫結宇多 様
・散髪	桑名沙友里 様
・レクリエーション	関暁夫 様・情熱クラブ一般社団法人 様
・人形芝居観劇	おてらおやつクラブ 山添真寛 様 長松寺 中村純裕 様

・同仁会乳児院

・エプロンシアター	北島 陽子 様 伊東 香里 様
・抱っこボランティア	佐藤香緒利 様 阿久津美香 様

・同仁東保育園

・エプロンシアター	北島 陽子 様 伊東 香里 様
・パネルシアター	レインボーおはなしの会 様

・ゆうゆうクラブ

・お話し会グループ	5名様
・遊びのボランティア	専門学校生2名様

・同仁会地域子育て支援センター

・子育て支援事業サポーター	主婦 6名様
・エプロンシアター	主婦 1名様

・同仁会子どもホーム

・散髪	鹿志村 薫 様
・裁縫 (手提げ袋等の作成)	唐沢みちこ 様
・生活支援	小川 佳南 様 横倉 沙樹 様
	山藤 勉 様
・そば打ち	北方そばの会 様
・ホテル学習会	NPO法人里山文化ネットワーク 様

・くれよんクラブ高萩

・遊びのボランティア	茨城大学学生1名様
------------	-----------

- ・内原和敬寮
 - ・空手教室 社会人 2名様
 - ・調理 社会人 1名様
 - ・遊び・余暇 医療法人社団職員

- ・つくば香風寮
 - ・タケノコ掘り体験 中根 祐一 様、相澤 晴夫 様
 - ・いちご狩り・ブルーベリー狩り体験 アウルライオンズクラブ 様
 - ・とんQご招待 とんQ 様
 - ・ジャガイモ掘り体験 中根 祐一 様、つくば市農業委員会 様
 - ・駄菓子屋さんごっこ Panacea 渡辺 真理子他 様
 - ・サッカー教室 トカールフットボール協会 様
 - ・除草作業 つくば市更生保護女性会 様
 - ・余暇支援 社会人 2名様

- ・さくらの森乳児院
 - ・畑づくり つくば市更生保護女性会 様 地域の方 4名様
 - ・花の植え替え チャレンジ茨城 様
 - ・散髪 美容師 1名様
 - ・ふれあい 主婦 16名様 社会人 4名様

14) 令和6年度保育実習等受入の状況

・臨海学園

保育（入所施設）

茨城女子短期大学 6名 (10日間)	筑波研究学園専門学校 4名 (10日間)
茨城キリスト教大学 4名 (12日間)	常磐短期大学 6名 (10日間)
つくば国際短期大学 2名 (10日間)	リリー子ども&スポーツ専門学校 2名 (12日間)

・同仁会乳児院

保育（入所施設）

リリー子ども&スポーツ専門学校 4名 (12日間)	常磐短期大学 6名 (10日間)
茨城女子短期大学 4名 (10日間)	筑波研究学園専門学校 2名 (10日間)
茨城キリスト教大学 4名 (12日間)	つくば国際短期大学 2名 (10日間)
流通経済大学 2名 (12日間)	

・同仁東保育園

保育（通所施設）

常磐短期大学 2名 (10日間)	リリー子ども&スポーツ専門学校 1名 (12日間)
いわき短期大学 1名 (10日間)	

・同仁会児童家庭支援センター

臨床心理実習

茨城キリスト教大学 1名 (4日間)	子ども家庭ソーシャルワーカー資格認定見学実習
社会福祉援助技術現場実習	社会人 2名 (1日間)
茨城キリスト教大学 2名 (8日間)	

・同仁会子どもホーム

保育（入所施設）

茨城キリスト教大学 1名 (12日間)
常磐短期大学 2名 (10日間)

・内原和敬寮

保育（入所施設）・社会福祉援助技術現場実習等

リリー子ども&スポーツ専門学校 2名 (12日間)	茨城キリスト教大学 1名 (24日間)
茨城女子短期大学 4名 (10日間)	茨城キリスト教大学 1名 (12日間)
常磐短期大学 6名 (10日間)	常磐大 1名 (14日間)
茨城キリスト教大学 1名 (8日間)	
つくば国際短期大学 1名 (11日間)	
筑波研究学園専門学校 1名 (11日間)	
東京経営短期大学 1名 (10日間)	

・内原深敬寮

保育(入所施設)

常磐短期大学 2名(10日間)

茨城女子短期大学 2名(12日間)

臨床心理実習

茨城大学大学院 3名(5日間)

常磐大学大学院 3名(5日間)

茨城キリスト教大学大学院 2名(5日間)

茨城キリスト教大学 12名(1日間)

・つくば香風寮

保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等

茨城キリスト教大学 3名(12日間)

流通経済大学 2名(12日間)

茨城女子短期大学 2名(10日間)

つくば国際短期大学 2名(10日間)

常磐短期大学 4名(10日間)

臨床心理実習

茨城大学大学院 2名(5日間)

筑波研究学園専門学校 6名(10日間)

リリーこども&スポーツ専門学校 2名(12日間)

東京未来大学 1名(10日間)

東京YMCA保育専門学校 1名(12日間)

聖徳大学 1名(24日間)

・さくらの森乳児院

保育(入所施設)・コミュニティヘルス実習

つくば国際短期大学 1名(10日間)

筑波研究学園専門学校 4名(10日間)

東京こども専門学校 1名(10日間)

聖徳大学短期大学部 1名(11日間)

社会医学実習

筑波大学医学専門学群 7名(1日間)

東京未来大学福祉保健専門学校 1名(10日間)

大東文化大学 1名(10日間)

つくば国際大学医療保健学部 12名(3日間)

7 部門別運営計画及び令和7年度の状況

1. 同仁会児童家庭支援センター

1) 令和7年度運営計画

SNS相談を含む多様な相談援助を行う中で、児童家庭支援センターの活動もさらに認知が深まり、アウトリーチ事業に対してのニーズの高まりを感じています。特に、乳幼児家庭への訪問相談への協力を、市町村から要望する声も多く、より一層の早期支援へと向かっている地域の子ども家庭支援の方向性は、現場レベルにも浸透してきています。

加えて、他の機関からの人事育成に対するニーズも高く、これまでのカンファレンスへの派遣に留まらず、職員向けのプログラム実施などに対する要望も入るようになりました。

こうした状況から令和7年度には乳幼児家庭への支援展開の模索や、自主企画による研修等の自主事業の実施や計画してきた虐待防止プログラムなどの実施などを実現し、それらを通して、在宅指導委託の受託推進を図って参ります。

1 福祉サービスの向上

- (1) 物資のアウトリーチ支援活動の乳幼児家庭への展開
- (2) 独自プログラムと研修サービスの実施
- (3) 本体施設との連携による指導委託の積極的推進
- (4) フォスタリング事業への協力

2 組織体制の強化

- (1) アウトリーチ活動による支援体制の強化
- (2) 新規事業実施体制の整備
- (3) 本体施設との連携強化
- (4) フォスタリング事業へのバックアップ体制整備
- (5) 全国児童家庭支援センター協議会への協力

3 人材育成

- (1) 初任者育成の強化
- (2) プログラムと研修の講師の育成
- (3) 本体施設や機関連携の調整職員の育成
- (4) 外部専門研修の計画的参加

4 適正財源の確保

- (1) 児童相談所指導委託の受託推進
- (2) 市町村要保護児童対策地域協議会における家庭支援の拡大
- (3) 市町村事業の受託と新たな事業の開拓
- (4) 自主事業による収入確保

2) 事業の概況

令和6年度の児童家庭支援センターは、地元高萩市を中心に、養護、児童虐待ケースへの支援を展開して着実な実績を上げました。特に、要保護児童対策地域協議会における中心的な支援機関として機能したケースも少なくなく、高萩市においては延べ7ケースにおいて、「主たる支援機関」として支援を続けてきました。これらは児童家庭支援センターに対して国が求める“児童相談所の補完機能”に正しく合致する活動と言えます。

しかしその一方で、児童相談所からの指導委託については延べ5ケースしか達成できていません。国は、昨年8月に児童家庭支援センター等への指導委託の積極的活用を進める局長通知を発出。今後はこの点についてさらに積極的な運用を強く望むところです。

相談援助の展開において、これまで続けてきた物資のアウトリーチ支援「すとっく」のニーズにも変化が現れ、特に乳幼児家庭へのアウトリーチ支援を求める声が目立ちます。今後は若年出産などの特定妊婦へのアウトリーチ支援が求められていきそうです。

そのほか、高萩市内および日立市で運営されるファミリーホームへの支援や、日立児童相談所管内における里親支援、里親認定前研修等への協力など、フォスタリング事業への参画や市内保育所、学童保育への職員派遣によるコンサルテーションなど、多様な活動を展開してきました。事業計画において強化項目として掲げた「新たな連携機関の拡充と新事業検討」については、学童保育を運営する企業との連携が強化され、有償による研修企画の実施に向けて検討が進んでいます。

3) 令和6年度実績

1 福祉サービスの向上

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	22	29	24	39	29	18	13	21	19	10	21	25	270
来所相談	14	5	15	15	7	8	16	11	13	8	11	6	129
訪問相談	54	37	27	28	36	36	32	37	45	42	41	22	437
心理療法等	10	21	11	9	6	7	11	15	12	11	16	22	151
メール相談	3	1	3	0	2	7	3	10	9	4	4	1	47
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延べ件数	103	93	80	91	80	76	75	94	98	75	93	76	1,034

◎相談・指導内容の種別延件数

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計	
				性格 行動	不登校	適正	しつけ					
586	216	179	65	24	147	17	1	1	0	0	14	1,034

・茨城県児童緊急対応事業の受託：延べ6498件（無言、間違い、その他問い合わせ含む）

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	しつけ	DV	その他	合計
				性格 行動	不登校	適正	いじめ					
1146	899	10	51	48	182	7	0	2	31	0	1352	2,829

緊急時対応件数

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	しつけ	DV	その他	合計
				性格 行動	不登校	適正	いじめ					
300	241	0	4	16			13			0	350	683

・SNS相談実績

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計	
				性格 行動	不登校	適正	しつけ					
290	163	17	8	2	77	11	4	25	4	0	26	464

(1) 物資のアウトリーチ活動による困窮家庭支援の充実

・アウトリーチ事業実施家庭 16家庭

4月：食品、日用品	10家庭	10月：食品、日用品	11家庭
5月：食品、日用品	7家庭	11月：食品、日用品	8家庭
6月：食品、日用品	10家庭	12月：食品、日用品	14家庭
7月：食品、日用品	10家庭	1月：食品、日用品	12家庭
8月：食品、日用品	8家庭	2月：食品、日用品	11家庭
9月：食品、日用品	8家庭	3月：食品、日用品	10家庭

※12月、3月：「はっぴいべる」様へ発注の洋菓子 子ども食堂「れん」利用140家庭へ

(2) 虐待予防プログラムの試行

虐待防止プログラムは、アウトリーチ支援を含むサービスと、ペアレントトレーニングやアンガーマネジメントなどのトレーニングプログラム、相談援助支援などを組み合わせたものです。既に該当する支援を行っているケースもありますが、今後は児童相談との連携の中で実施していくのが理想です。

(3) 本体施設との連携による指導委託の積極的推進

・本体施設（同仁会子どもホーム）との連携による児童相談所からの指導委託

日立児童相談所：1ケース：延べ35回
土浦児童相談所：2ケース（新規1）：延べ62回

○ 要保護児童対策地域協議会対象ケースへの支援

高萩市	522件（実件数 32件）	日立市	116件（実件数 3件）
北茨城市	185件（実件数 22件）	その他の地域	0件（実件数 0件）

・会議への参加

高萩市		北茨城市	
個別支援会議	0回	個別支援会議	0回
実務者会議	1回	実務者会議	11回
進行管理会議	7回	進行管理会議	0回
代表者会議	1回	代表者会議	0回

(4) フォスタリング事業への協力

日立児童相談所管内でのフォスタリング活動を中心に、里親制度等普及促進やリクルート事業、研修・トレーニング事業などに協力。養育里親・養子縁組里親基礎研修では「地域における子育て支援サービス」の講義を担当しています。また、里子に対するセラピーを8年間実施したケースがありました。3月で終結に至りました。

県北地区のファミリーホームに対する支援にも携わり、令和7年度はより活発な支援を計画しています。

2 組織体制の強化

(1) アウトリーチ活動による支援体制の構造化

ニーズが高まる物資のアウトリーチ支援「すとつく」。担当者へ負担も偏重しやすい中で、物資の管理などについて組織的な理解を進め、チェック体制や準備進捗状況の把握を進めました。そのことにより、支援の実践とそのための準備など、管理体制が組織的に構造化されることになり、全体で実践が支えられる仕組みとなりました。

(2) 虐待予防プログラム実施体制の確立

既述の通り、当プログラムはすでに実施されているものも含めたサービスやトレーニングの組み合わせです。そのため、このプログラムの全体の流れの理解の他、ここに含れる各メニューの再確認を実施して、改めて理解の標準化を図りましたが、初任者も多いため継続して理解を深めたいところです。

(3) 本体施設との連携強化

本体施設に入所する児童について、複雑な背景を背負うケースの心理療法を児童家庭支援センターで担当しています。これらのケースは児童相談所からの通所指導委託として認められ、収入増にも繋がりました。

また、施設における性教育会議に児童家庭支援センターの心理士が参加し、専門的知見の共有や新たな学びを共有しています。

これらを通して様々な連携、交流が生まれて活性化しています。研修交流については後述する別項にまとめます。

(4) 新たな連携機関の拡充と新事業検討

市内の公立学童保育の運営を受託している株式会社アンフィニ様から人材育成プログラムの実施要望をいただいております。打ち合わせを行いながら実施を目指してきました。

また、社会的養育推進計画においても児童家庭支援センターの設置や指導委託の推進が謳われる状況から、県内の児童家庭支援センター間の連携強化を図るべく、茨城県児童家庭支援センター連絡協議会を開催。県内4センターと新たに児童家庭支援センターの設立を計画する法人様との参加で、今後の茨城県との連携のあり方や通所指導委託の受託状況、事務手続きの確認などの情報交換や意見交換を行いました。今後は実務者間の連携も含めて活動を継続していく計画です。

3 人材育成

(1) 初任者育成の強化

グループリーダーが進捗面談を実施することにより、初任者の業務進捗や状態の把握について先輩職員などからも状況を聴取できる機会が増え、初任者の状態がより具体的に把握できるようになりました。これらの状況は運営会議によって幹部職員にも把握されるため、効果的な助言を検討できたことに加え、指導助言にあたるリーダー職員を支える一助ともなりそうです。また、初任者の現状把握だけでなく、初任者からの相談等の機会の増加にも繋がることから、今後も継続して実施していくことでさらなる強化が図れそうです。

(2) 虐待予防プログラムの組織的理解の促進

当プログラムの実施に向け理解の標準化に取り組みましたのは、既述の通りです。その実施によって、改めてプログラムの全体像や、個々の支援メニューについて理解が促進されましたが、実施にあたっての児童相談所との連携など修得すべきコミュニケーションスキルなどもあり、その進め方の理解や連携の在り方などを現場全体で理解を深めなければなりません。特に児童家庭支援センター勤務のキャリアの浅い初任者等については、本体施設とも連携しながら経験を積んで、今後も取り組みを継続します。

(3) 本体施設との研修等交流の強化

本体施設である同仁会子どもホームとの相互交流を通して、研修連携をしました。本体施設への職員派遣としては、施設内研修での性教育と他施設への視察研修に職員が参加。小美玉市の児童家庭支援センターともいき様、幅広い障がい者支援サービスを展開する社会福祉法人ユアアイ村様への訪問に同行して学びを深めました。また、研修講師派遣として双方の施設内研修に職員を派遣。児童家庭支援センターの施設内研修では本体施設の家庭支援専門相談員が、家族支援について実体験を織り交ぜながらそのコツと留意点について講義。逆に本体施設の施設内研修においては、児童家庭支援センターの心理士が児童の障害理解について講義し、それぞれ学びを深めました。

(4) フォスタリングチェンジプログラム等の外部研修の計画的参加

フォスタリングチェンジプログラムは、国も推奨する主に里親をターゲットにしたプログラムで、令和6年度は2名の職員が指定の研修を受講し、ファシリテーター資格を取得しました。今年度も引き続き他の職員が参加する予定です。

ファミリーソーシャルワークやアセスメント、全国児童家庭支援センター協議会が企画する実務者研修など、実践者向けの専門研修に加え、接遇マナーや文書の書き方など一般研修の参加について、全職員の個別研修計画をもとに参加しています。

4 適正財源の確保

(1) 児童相談所指導委託の受託推進

◎児童相談所からの委託による指導

＜ 対応延べ数 ＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	7	5	8	6	7	8	16	10	7	14	14	114

＜ 指導内容の種別 (実人数) ＞

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
				性格 行動	不登校	適正	しつけ				
2	2	0	2	0	1	0	0	0	0	0	5

日立児童相談所 1件 中央児童相談所 2件 土浦児童相談所 2件

(2) 市町村要保護児童対策地域協議会における家庭支援の拡大

◎市町村要保護児童対策地域協議会からの委託による指導

＜ 対応延べ数 ＞

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
38	38	45	25	48	60	50	40	68	60	48	56	576

＜ 指導内容の種別 (実人数) ＞

養護 虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
				性格 行動	不登校	適正	しつけ				
11	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	13

高萩市 7件 日立市 2件 北茨城市 4件

(3) 市町村事業の受託と新たな事業の開拓

・高萩市要保護児童対策地域協議会研修・啓発、専門的支援事業の継続受託

実務者会議構成機関対象研修会：2回

①講義：小木曾 宏 氏（東京経営短期大学こども教育学科 教授）

「子どもを守るネットワークケアの基本」

常磐大学人間科学部心理学科教授 秋山邦久氏

「助言の入りづらい相談者に対する切れ目のない包括的な支援について」

②視察研修：特定非営利活動法人ひたちNPOセンター・with you

※代表理事 安田 尚道 氏から講義による研修に変更。

③オレンジリボンキャンペーン：市内店舗・市産業祭での啓発グッズ配布

- ・要保護児童対策地域協議会の支援ケースにおいて、当センターが主たる支援機関として携わったケース数 13件（高萩市 7件 日立市 2件 北茨城市 4件）

(4) 物資提供に関する新たな協力機関の開拓

昨年度も高萩市内の「はっぴいべる」様や北茨城市の子ども食堂「れん」様と相互に協力をしながら実施したアウトリーチ事業ですが、物価の高騰により助成金での購入にも影響があります。今後も引き続き、協力機関の開拓が必須となっています。

2. 児童家庭支援センター あいびー

1) 令和7年度運営計画

児童家庭支援センターあいびー内では、児童家庭支援センター業務に併せ、児童養護施設退所者等アフターケアを行う社会的養護自立支援拠点事業と里親に関する支援を行うフォスタリング事業を行っています。

児童家庭支援センターでは、児童相談所からの指導委託の受託が進み、プログラム等の支援強化に努めています。今後も健全な親子関係構築支援のため、関係機関との連携と援助体制の構築を推進していきます。

社会的養護自立支援拠点事業では、居場所事業の内容拡充や市町村との連携体制の構築を図り、伴走型支援の強化に努めています。また、児童福祉施設との連携や各施設での自立支援やアフターケアの充実を目指し、職員向けの研修に力を入れていきます。

フォスタリング事業では、オンラインでの里親カフェ開催など、より参加しやすい形を提供し、里親制度の普及促進に努めています。また、里親支援においては、里親会や里親支援機関と密に連携を図りながら、里親のニーズに沿ったサポート体制を整えていけるよう努めていきます。

1 福祉サービスの向上

- (1) 市町村や各事業所、児童相談所等との連携強化と支援体制の構築
- (2) 来所、訪問等、個別相談援助の強化
- (3) 子育て支援プログラムや地域親子交流の場の提供
- (4) 地域に根ざすサポート体制とニーズに沿った支援の提供
- (5) 食支援等を活用したアウトリーチによる相談支援の推進

2 組織体制の強化

- (1) 本体施設との連携体制強化
- (2) 報告、連絡、相談の徹底
- (3) 専門研修の計画的実施
- (4) 三事業相互理解の促進と連携強化
- (5) 県内児童家庭支援センターとの連携体制の推進

3 人材育成

- (1) 人事考課の実施
- (2) 各種研修、法人研修への積極的な参加

4 施設・環境の整備

- (1) 職場環境の整備と管理の徹底

2) 事業の概況

《児童家庭支援センター》

令和6年度は、児童相談所からの指導委託が増え、養育相談のほかにペアレント・トレーニングやCAREプログラム実施の依頼が多くありました。要保護児童対策地域協議会参加の機会も増え、関係機関と連携し支援を行って参りました。アウトリーチのニーズも依然として高く、年々訪問支援件数が増加しておりますが、食支援を活用することで円滑な関係構築を図っております。また、児童家庭支援センターの広報ため地域支援事業としてクラシックコンサートを開催する試みを実施しております。地域の中で気軽に相談ができる場所となるよう、令和7年度以降も形態を模索しながら事業を継続して参ります。

《社会的養護自立支援拠点事業》

令和6年度の児童福祉法の改正に伴い、年齢制限の撤廃や支援対象の拡充がされたため、それに沿って事業実施して参りました。事業の実施状況としては、例年並みの件数で推移しておりますが、関係機関より、社会的養護を経験していない、若者への支援依頼も受けております。茨城県内の各児童福祉施設でも自立支援担当職員の配置が増えている中で、各施設との更なる連携強化に努めるとともに、多岐にわたる支援ニーズに対応していけるよう、専門性の向上と児童相談所や市町村との連携体制の構築を目指して参ります。

《里親養育包括支援事業》

リクルート事業では、市町村での里親制度説明会の他、WEB広告など様々な媒体で広報活動を進めて参りました。また、茨城県と共に広報動画の制作や里親ポータルサイトを開設し、ホームページを閲覧した方からの問い合わせも増えてきています。引き続き、里親委託推進に向け、質の高い里親のリクルートに努めていきます。

訪問等支援事業では、継続して家庭訪問や電話・SNSでの相談対応を進めてきました。また、里親同士の横の繋がり強化を目的に、里親子の交流の場として定期的にサロンを開催してきました。今後も、里親委託定着を目標に里親子のサポート体制の強化に努めて参ります。

3) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議・研修に積極的に参加し自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) あいびり会議 ……月1回
- (2) 各部署会議（児家セン、アフターケア、フォスタリング、） ……月1回
- (3) 同仁会児童家庭支援センターとの連絡会議 ……月1回
- (4) フォスタリング
 - 日立、中央、銚田児相管内会議 ……随時
- (5) 法人リスクマネージャー会議 ……隔月1回
- (6) 法人家庭支援会議 ……隔月1回
- (7) 連絡会議 ……毎朝

2. 安全管理及び保健衛生

- (1) 安全点検 ……月1回
- (2) 非常時避難訓練 ……月1回
- (3) 健康診断 ……年2回
- (4) 保菌検査 ……年2回

4) 令和6年度実績

《児童家庭支援センター》

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	34	59	39	51	46	56	34	41	50	55	47	45	557
来所相談	19	8	9	15	11	20	12	10	18	19	21	13	175
訪問相談	13	15	11	16	14	12	14	27	15	15	17	25	194
心理療法等	3	3	6	7	5	3	4	1	6	4	4	5	51
メール相談	0	2	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	12
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延べ件数	69	87	65	94	81	91	64	79	89	93	89	88	989

◎相談・指導内容の種別延件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
583	278	10	94	0	184	88	0	30	0	0	0	989

◎児童相談所からの委託による指導<指導内容の種別延件数>

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
70	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0	0	131
											実人数	4人

《社会的養護自立支援拠点事業》

◎実績表（延べ件数）

退所前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講演・生活技能	1	8	1	3	14	12	24	4	5	8	8	0	88
不安・悩み	16	31	22	3	10	6	6	12	8	7	8	5	134
退学者	1	1	1	0	0	11	35	6	1	0	0	1	57
自助	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
その他	30	43	62	36	37	36	38	63	73	60	52	77	607
退所後	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活	91	95	109	145	99	93	122	113	80	154	98	63	1262
就職	12	14	26	16	12	24	20	17	18	25	21	52	257
自助	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5
その他	34	16	36	23	23	12	7	9	18	12	13	9	212
合計	185	208	257	226	195	195	252	228	206	266	200	207	2625

《リクルート事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談／電話・メール等	6	3	4	18	24	5	3	7	4	8	12	27	121
外部向け制度説明	3	4	5	3	4	3	1	2	0	0	1	1	27
ガイダンス	4	4	3	0	3	13	4	2	0	2	1	9	45
合計	13	11	12	21	31	21	8	11	4	10	14	37	193

《訪問等支援事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談／電話・メール等	32	35	24	34	17	19	19	26	22	26	18	47	319
家庭訪問	19	22	15	20	34	15	15	11	18	16	8	16	209
実家庭交流	1	3	3	2	1	1	1	0	0	1	0	1	14
レスパイト調整	1	2	1	2	1	0	0	2	3	0	1	4	17
里親交流	0	0	1	1	1	3	3	1	0	2	0	3	15
合計	53	62	44	59	54	38	38	40	43	45	27	71	574

3. 発達障害者支援センター COLORSつくば

1) 令和7年度運営計画

昨年度は、茨城県障害福祉課および発達障害者支援センター「あい」との連携を強化し、三者会議を軸に支援体制の充実に努めました。また、管轄地域の支援体制構築を目的としたアウトリーチや他機関連携の推進にも力を入れてきました。

令和7年度も、これまでの方針を継続しつつ、地域支援体制のさらなる強化を図ります。特に、発達障害支援の専門機関としての役割を果たすため、支援者支援や広域支援の充実に重点を置きます。関係機関との連携を深めながら、より効果的な支援が提供できるようセンター職員一同、専門性を高め、チームとしての機能を強化していきます。

また、地域ごとの支援ニーズに応じたアウトリーチ活動の継続や、医療・福祉・教育・労働・司法など多分野との連携強化を進め、県民の皆さまにとって利用しやすい支援体制を構築していきます。

今後も、発達障害のある方やご家族、支援者の皆さまの期待に応えられるよう努めてまいります。

1 施設提供サービスの向上

- (1) 地域支援や機関コンサルテーション等、広域支援・間接支援機能の強化
- (2) 県障害福祉課、市町村、各種事業所、医療機関等との連携強化
- (3) 相談支援・発達支援・就労支援におけるアセスメントやソーシャルワークの強化
- (4) 一般の方や支援者を対象とした研修やセミナー、講演等の強化
- (5) 発達障害についての普及・啓発活動の強化

2 人材育成

- (1) 外部専門研修への参加による専門性の向上
- (2) 人事考課の実施
- (3) 他機関との連携によるスキルアップ
- (4) センター内OJTの実施

3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 人材定着のための職場環境づくり
- (3) センター内の中長期計画の策定
- (4) リスクマネジメント意識の徹底と具体的取り組み
- (5) 報告・連絡・相談の徹底

4 財政基盤強化

- (1) コスト意識・節約意識の徹底

2) 事業の概況

茨城県発達障害者支援センターCOLORSつくばは、発達障害のある方やその家族、関係機関を支援するため、相談支援、発達支援、就労支援、普及啓発活動を行っています。令和6年度は、「茨城県発達障害者支援指針（R6～R11）」に基づき、センターの役割を果たすべく、相談活動に加え、主催研修の開催など啓発活動にも注力してまいりました。さらに、アウトリーチを通して地域の支援者を支援するとともに、関係機関との連携強化を図り、より包括的な支援体制の構築を目指しました。令和7年度においても、引き続き指針に基づき、これまでの取り組みを深化させ、地域における発達障害支援の中核拠点としての機能を強化してまいります。

1 相談援助機能

- ・市町村や各支援機関が行う支援のバックアップ
- ・各種地域支援機関との連携による支援
- ・電話、来所等による第一義的な相談支援

2 普及・啓発活動

- ・地域住民向けの講演会の開催、Youtubeを利用した研修動画の配信
- ・関係機関向けの研修の開催
- ・外部機関が開催する研修への講師派遣

3) 運 営

職員は法人理念・綱領を实践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) COLORSつくば職員会議 … 月 2 回
- (2) COLORSつくばケース会議 … 月 2 回
- (3) リーダー会議 … 月 2 回
- (4) 県障害福祉課、「あい」との三者会議 … 月 1 回
- (5) 法人リスクマネージャー会議 … 隔月 1 回

2. 安全管理

- (1) 安全管理の点検 … 月 1 回
- (2) ヒヤリハットによるリスク管理 … 月 2 回

4) 令和6年度実績

事業内容			実績
1. 相談支援・発達支援	実支援件数		515
	延支援件数		1168
	心理学的判定		49
2. 就労支援	実支援件数		26
	延支援件数		63
3. 関係施設及び関係機関への普及啓発及び研修	(1) センター主催または共催の研修	実施回数	3
	(2) 外部機関への講師派遣	実施回数	43
4. 関係機関等との連携	(1) 連絡協議会の開催状況	実施回数	1
	(2) 他の協議会への参加状況	参加回数	54

相談内訳		実績
1. 年齢別内訳	0～6歳	7
	7～12歳（小学生）	19
	13～15歳（中学生）	86
	16～18歳	39
	19～39歳	48
	40歳以上	129
	不明	49
	合計	541
2. 障害名別内訳 (複数診断の場合、重複)	自閉スペクトラム症（ASD）	146
	注意欠如多動症（AD/HD）	94
	限局性学習症（LD）	10
	その他（発達性言語障害・協調性運動障害等）	46
	不明（未診断含む）	273
	合計	569

4. 同仁会地域子育て支援センター（子育て支援室「カムカム」）

1) 令和7年度運営計画

少子化や核家族化など様々な社会状況の変化に伴い、家庭や地域における子育て機能が低下している中、子育て支援センターに求められる役割は「親と子どもの最大の理解者」であることだと考えます。日常生活における身近な話し相手、遊び相手となり、地域の人と人との関係を紡ぎだすことができるよう、関係機関と連携を図りながら、次の事項を推進して参ります。

1 子育て支援事業の強化

- (1) 育児不安や親自身の悩みに対する支援などの相談機能の強化
- (2) 年齢発達に合う適切な生活習慣についての情報発信による親支援
- (3) 看護師や児童家庭支援センター職員による子育て講座の実施
- (4) 周産期にあたる家族への支援
- (5) 幅広い親支援の継続的实施
- (6) 集団療育の実施

2 食育の推進

- (1) 食に関する情報の発信
- (2) 栄養士による手作りおやつ教室、離乳食教室、子育て講座の実施
- (3) 食に関する紙芝居、絵本、パネルシアター等の実施

3 環境問題への取り組み

- (1) 節電、節水など省エネの実践
- (2) エコ指導と情報発信
- (3) 家庭だけでなく、公共の施設に対するエコ活動の推進

4 感染症・アレルギーの対策

- (1) 手洗い、うがい、手指の消毒、来所時検温の施行
- (2) 提供おやつのパッケージの表示
- (3) 感染症についての情報発信
- (4) 室温、換気、湿度の調整
- (5) 活動時のソーシャルディスタンスの確保

5 職員の資質向上

- (1) 研修会への積極的参加
- (2) ペアレントトレーニングの導入と実践

6 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

2) 事業の概況

地域の子育て支援事業が充実し、参加者が自ら選んで子育て支援事業に参加する時代になった今、親子でゆっくり過ごして頂く事がコンセプトのK i F T、就園を見据えて様々な活動を体験をして頂くちびっこ広場など、それぞれの事業の特性を伝え、ニーズに応えることで、選ばれる子育て支援を目指して参りました。令和4年度より取り入れた、保育園での給食体験や離乳食体験、園庭開放、令和7年度より新しく取り入れる個別相談日なども保護者からのニーズに応えたものです。

平成25年度より始めたくれよんK i F T(小集団療育)では、落ち着きがなく、じっとしているのが苦手、人見知り、場所見知りがある、偏食がある、こだわりが強い、言葉が遅いなどの心配があり、お子さんとどう関わっていったらよいかわからないという方々に対して、関係機関との連携を密にし、内容の充実を図ってきました。さらに、就園で終わりではなく、就園後も保護者の不安な気持ちに継続して寄り添っていただけるよう、くれよん開放日には就園児の保護者の参加も受け入れていました。

また、妊婦さん対象のM a F Tの他に、妊娠期から産後1年までを対象としたちびっこM a F Tを保育園で開催することで、産後から乳児期までを看護師や栄養士と一緒にフォローしていただけるようにいたしました。

子育て支援事業の延長に位置づけられていること、利用者への周知が広がってきたことで、不安や悩みを親が一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さるようになったのは大きな成果です。

これからも、母親向けの子育て講座や毎月発行の「カムカム」でも、ペアレントトレーニングを基とした、具体的で効果的な対応の仕方を伝えることで「ほめて、のびして、ラクラク子育て」を実感してもらえるようにし、子どもたちの健やかな成長と発達に繋げていきたいと思っております。

事業計画

1. 育児等、主に妊産婦、乳幼児のいる家庭への相談事業
2. 乳幼児の成長につながる遊びの実践と主体性を発揮できる場の提供
3. くれよんクラブ、児童家庭支援センターと連携した 集団療育事業の開催
4. 子育てサークルの育成・支援
5. 同仁東保育園と連携し、一時保育等の特別保育事業の実施
6. 子育て情報の収集・提供・発信
7. 子育て支援のための講座の開催

事業内容

- 1 「K i F T(キフト)」(Kids Forum Talky=「ちびっこ広場」の造語)の開催
 - *毎月第1・2・3木曜日に0歳から就学前までの年齢の未就園児対象に開催。
母親のリフレッシュ、仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間・育児相談の場の提供。
 - *毎月第3水曜日に「くれよんK i F T」(おおむね2歳～未就学児とその親)
歌やリトミック、体を動かす遊びなど、親子で遊びながら子どもの発達をはぐくむ関わりを支援。
 - *毎月第2水曜日にくれよんK i F T開放日 くれよんK i F T利用親子に共有空間を提供
また、就園後は親のみの参加も受け入れ、就園後も継続支援。
- 2 「ちびっこ広場」の開催
 - *毎月第1・2・3火曜日に「ちびっこ広場」を同仁東保育園で開催。
 - *保育園保育メニューを地域の未就園児とその親に提供し、保育園児との交流も図る。
年に2回程度、公園等への遠足を設定。地域の親子も巻き込み、交流を図る。
月1回給食体験、年2回離乳食体験を開催、また、希望者には随時園内見学など就園に対する不安解消を図る。
- 3 ゆうゆうK i F Tの開催
 - *毎月第3金曜日に、母親リフレッシュのための趣味の講座を開催。
年に2回、親子おやつ作りと食育相談を開催。
- 4 「M a F T(マフト)」(Maternity Forum Talky=「マタニティの広場」の造語)の開催
 - *周産期にある家族(特に初妊婦)への支援。母親のリフレッシュ・仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間と育児情報の提供。(予約制)
 - *「ちびっこM a F T」の開催
周産期から産後1年までの母親への支援。保育園とも連携し、看護師、栄養士への育児相談の場を提供する。
- 5 外部との連携
 - *高萩市健康づくり課との連携(「すこやかランド」に職員派遣)
 - *高萩市生涯学習課との連携
市内小学校・幼稚園・保育園向け「子育て講座」に職員派遣
- 6 子育て情報の発信
 - *KiFTなど支援事業の参加者に配布する機関紙(「Co.me Com.e(かむ かむ)」)の作成・発行。
 - *インターネット・メール(パソコン・携帯電話)による育児情報を地域の親子に発信。
 - *ブログ、インスタグラムによる最新情報の発信
- 7 特別保育事業の実施
 - *乳幼児の母親のリフレッシュを含む一時預かり保育を保育園と連携して行う。
- 8 子育てサークルの支援
 - *育児の情報交換の場として、「カムカムのおへや」(サークル支援室)を子育てサークルに開放し利用を促す。
- 9 子育て講座(お話し会)の開催
 - *子育てに関する講演会、講座等を開催する。
K i F T、ちびっこ広場で、子育て講座「ほめ方のコツ、上手な注目の外し方、指示の出し方」等を実施。
- 10 その他
 - *育児の情報の入手手段を持たない家庭への情報発信、育児ストレスの軽減、仲間づくりの促進を図る。

3) 令和6年度実績

- 1 職員の研修
市関係 4名 法人・施設 7名 その他 3名 計14名

2 子育て支援室相談状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
育児	1	8	4	6	2	5	8	3	5	5	2	4	53
しつけ	0	2	2	2	0	0	1	1	1	2	1	1	13
健康	1	3	0	1	1	0	4	2	1	2	0	0	15
食事	1	1	1	1	0	1	2	1	1	3	3	0	15
発達	2	2	2	1	0	2	5	2	2	2	1	1	22
電話問い合わせ	0	0	0	1	1	5	3	1	2	2	0	4	19
問い合わせ	3	1	4	2	0	3	3	2	3	1	6	3	31
その他	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	12
合計	9	18	15	15	5	17	27	13	15	18	14	14	180

3-1 赤ちゃんKiFT開催状況（1歳未満の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 18	7	14	10月 10	8	16
5月 16	9	22	11月 14	3	6
6月 13	5	10	12月 12	6	15
7月 11	12	24	1月 16	9	21
8月	実施せず		2月 13	12	28
9月 12	10	20	3月	実施せず	
計			81		176

3-2 KiFT開催状況（1歳の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 25	5	10	10月 17	6	16
5月 23	6	12	11月 21	8	19
6月 20	6	12	12月 19	9	18
7月 18	10	22	1月 23	3	6
8月	実施せず		2月 20	13	27
9月 19	10	22	3月	実施せず	
計			76		164

3-3 KiFT開催状況（2歳以上の未就園児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 11	4	8	10月 3	5	10
5月 9	6	12	11月 7	8	17
6月 6	2	4	12月 5	15	33
7月 4	3	6	1月 9	7	15
8月	実施せず		2月 6	12	25
9月 5	6	12	3月 6	4	9
計			72		151

3-4 くれよんKiFT開催状況（おおむね2歳以上の未就学児）

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
4月 24	5	10	10月 16	2	5
5月 22	5	11	11月 20	5	11
6月 19	3	8	12月 18	4	10
7月 10	3	8	1月 22	4	10
8月	実施せず		2月 19	2	6
9月 18	2	4	3月	実施せず	
計			35		83

4 ゆうゆうKiFT

開催日	参加者（組）	人数	開催日	参加者（組）	人数
5月 24	7	12	11月 22	4	9
6月 21	1	2	12月 20	6	12
7月 12	1	2	1月 24	3	7
9月 20	3	7	2月 21	4	8
10月 18	4	9	3月 14	5	10
計			38		78

5 ちびっこ広場開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	16	3	6	10月	1	4	8
	23	1	2		8	1	2
	30	2	4		15	3	8
5月	7	0	0		29	2	4
	14	2	4	11月	5	4	9
	21	3	6		12	5	11
6月	4	3	6	12月	3	2	5
	11	2	4		10	4	10
	18	5	10	17	5	13	
	25	6	13	1月	14	4	9
7月	2	4	8		21	5	11
	9	6	13	2月	4	3	7
8月	実施せず				18	10	23
9月	10	4	8	3月	4	2	5
	17	3	6		11	12	26
計						110	241

※ 6/25、10/29遠足

6 M a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	26	0	0	10月	25	0	0
6月	14	0	0	12月	13	1	1
				2月	14	0	0
計						1	1

7 ちびっこM a F T開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
5月	28	4	8	11月	26	4	8
7月	16	4	8	1月	28	0	0
9月	24	2	4				
計						14	28

8 園庭開放開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
6月	3	0	0	10月	7	0	0
7月	1	2	4	3月	3	雨天中止	
9月	2	0	0				
計						2	4

9 サークル支援室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放日	19	20	17	20	19	17	18	18	17	17	16	18	216
利用日	3	3	4	5	1	3	4	3	4	3	2	6	41
キャンセル	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	4
合計	3	3	4	5	3	3	4	3	5	3	3	6	20%

10 育児相談会

同仁会児童家庭支援センター相談員、臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム
認定こども園同仁東保育園栄養士・看護師・保育士を交えての相談会

令和6年6月21日 「手作りおやつと育児相談会」

講師 同仁会子どもホーム栄養士 坂本 和代

参加者 1組

令和6年7月16日 「赤ちゃんのスキンケアと夏に罹りやすい病気について」

講師 認定こども園同仁東保育園看護師 大串 千恵子

参加者 4組

令和6年11月26日 「離乳食(食事)の大切さについて」

講師 認定こども園同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子

参加者 4組

- 令和6年12月20日 「手作りおやつと育児相談会」
 講師 認定こども園同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
 参加者 6組
- 令和7年1月28日 「ベビーマッサージの実践」
 講師 同仁会乳児院保育士 小松なぎさ
 参加者 0組
- 令和7年2月13日 「離乳食教室と育児相談会」
 講師 同仁会乳児院栄養士 高梨 綾
 参加者 12組
- 令和7年3月6日 「子どもの感情の発達について」
 講師 同仁会児童家庭支援センター 心理療法士 佐藤 匠真
 参加者 4組
- 令和7年3月11日 「給食体験・今日の献立について」
 講師 認定こども園同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子
 参加者 5組

1.1 令和6年度 子育てサークル（母親クラブ）

1. 暴れん坊将軍 7家族
2. メイメイ 4家族
3. ゆかいな仲間達 10家族
4. トーマス 4家族
5. K I T A T O K U 10家族
6. ひよこクラブ 3家族
7. カムカムで遊ぼう会 4家族
8. 水泳部 3家族
9. 11月生まれ 3家族

5. 保育所型認定こども園 同仁東保育園

1) 令和7年度運営計画

少子化、待機児童の減少で、認可保育所の平均定員充足率がついに90%を切り「量の拡大」から「質の向上」へと政策が転換される中、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援の強化が求められています。その一環として制度化される「こども誰でも通園制度」は、令和8年度からの本格実施に向け、職員全体で事業内容や質の高い支援について理解を深めるよう進めてまいります。そして各担任に一台ずつ導入したタブレットでは、そのツールを最大限に活用し、さらに保育業務の軽減を図り、子どもたちと向き合う時間を大切にできるよう努めてまいります。

また、子どもの育ちで大切な親や保育士との愛着形成をベースに、幼児期にふさわしい生活を通して、教育の基盤を養うこと、子ども力による需要と対話を大切にすることで、知的な面（認知的能力）や社会情緒的な面（非的認知能力）の育ちを育むことに努め、小学校生活へバトンを渡せるようにし、切れ目のない支援に努めてまいります。

1 福祉サービスの質の向上

(1) 保護者支援

- ア 子育てに関する情報の提供（健康・安全・育児・食育等）
- イ 子育てに関する相談への対応
- ウ 子育ての仲間づくりの推進支援（親子遠足、保護者懇談会、給食試食会等）
- エ 親子参加型行事の開催（運動会、親子遠足、参加保育、給食試食会等）
- オ 食育（食に関する情報の提供、給食試食会の開催等）

(2) 教育・保育の質の向上

- ア 様々な活動を通して、豊かな感性を育む
- イ 異年齢での関わりを増やし、様々な集団を体験する
- ウ 運動習慣の確立による体力づくり
- エ 小学校以降の生活や学習の基盤の育成
- オ 自己評価の結果検討と改善

2 人材の育成

(1) 園内研修（学習会）の充実

- ア 人権擁護のためのチェックリストの継続

(2) 法人目標の実践による人間性の向上

(3) 各種研修への積極的参加

3 地域との連携

- (1) ゆうゆうクラブ・くれよんクラブ高萩との交流
- (2) たかはぎ認定こども園・東小学校・高萩中学校との交流
- (3) 高萩市主催によるイベントへの積極的な参加
- (4) 中学生による職場体験の積極的な受け入れ

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進
- (3) 教育・保育の充実による利用児童の安定した確保

2) 運営の概況

今年も早い時期からの猛暑が予想されたため、室内で行う保育発表会を9月に、秋の運動会を11月の開催に変更、夏祭りは室内のみの開催にし、熱中症の危険リスクを回避するよう努めました。練習期間が短いなどの心配もありましたが、子どもたち一人ひとりが意欲的に取り組み、練習の成果を十分に発揮してくれました。今後も子どもたちの安全を守ることを第一に、様々なことに挑戦する心や、そこで得られる達成感、自分を表現する喜びなど、行事を通して育つ力を大切にしていきたいと思います。

ICT化については、コドモンの導入後、保護者のご協力もあり、登降園管理やお知らせなどがスムーズになり、保育業務の軽減にもつながっています。今後さらにシステム活用の充実に努めてまいります。

- 1. 休園日 … 12月30日～1月3日
- 2. 開園時間 … 午前7時～午後8時まで
(日祝日 休日保育実施)
- 3. 対象児童 … 産休明け（第8週）より就学前まで

3) 教育・保育の内容

1. 基本方針

保育指針・子ども子育て支援法・法人目標に沿った計画を基に教育・保育を展開し、心豊かに生きる力や望ましい未来を創り出す力の基礎を培います。

自立 … 自分で考え行動する。

協調 … 思いやりの心、優しい心、仲間と力を合わせて物事を成し遂げ、喜びを共感する。

創造 … 感じたこと、思ったことなどをいろいろな形で表現する。

味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚などの五感を大切にし、豊かな感性と創造性を育む。

2. 基本目標

保育園の主人公は子どもたちです。

その子どもたちの命を守り、未来へつなげていくことが、私たちの仕事です。

- ・明るい挨拶を心がけ、一人ひとりを大切に、きちんと目を見て、丁寧な言葉で「ありがとう」を伝えます。
- ・お子さんの個性は良い方に、ポジティブに捉え、一人ひとりが安心して、夢中になって遊べる環境に配慮します。
- ・子どもを中心に、保護者の方と保育者が互いに理解し合い、一緒に子育てや教育・保育ができるように努めます。
- ・お子さんの様子・成長を把握しながら、自然とふれ合う機会を多く作り、五感を育める教育・保育を計画します。
- ・職員は教育・保育の専門職として研鑽を心掛け、常に向上心を持って、お子さんの命を守ります。

3. 保育目標

0歳児…家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの生理的欲求が満たされた情緒の安定のもと、人への基本的信頼感を形成できるように保育を行います。

1歳児…自分ですることの楽しさを知り、自発性や探索意欲を高められるように保育を行います。

2歳児…基本的な生活習慣がほぼ身につく、人や物への興味を広げ、社会性が育めるよう、保育を行います。

3歳児…友達との関わりの中で、自己肯定感や他者を受容する感情が育めるよう、支援します。

4歳児…集団で生活することを楽しむ中で、決まりを守る大切さを知り、更に自主性や自律性が育めるよう、支援します。

5歳児…様々な経験・体験を通して自立性を高め、目標に向かって努力したり、協力して達成する喜びを味わえるよう、支援します。

4. 活動内容

① 養護（生命の保持・情緒の安定）教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）食育の実践

② 健康への支援（異常が認められた時の適切な対応、保健指導計画の策定）

③ 環境・衛生の管理（清潔保持・清掃・消毒・点検）

④ 事故防止の徹底（避難訓練の実施、蘇生法研修、遊具等の点検、交通安全活動）

⑤ 保護者・地域への支援（休日保育、延長保育、育児講座の開催、説明責任）

⑥ 特色のある教育・保育

・異年齢児教育・保育（4・5歳は混合クラス） ・砂浜を利用した活動 ・ちびっこ広場（園庭の開放）

・音楽指導…専門講師（日本音楽総合研究所）の指導による鼓笛隊指導（4・5歳児）

・リトミック…専門講師（日本音楽総合研究所）によるリトミック（2・3歳児）

・体育指導…専門講師（ITRスポーツクラブ）による体育指導（4・5歳児）

・そろばん教室…専門講師（のぞみそろばん塾）による算数とそろばんの指導（5歳児）

・英語教育…専門外国人講師（超禅イングリッシュスクール・GELATO英語教室）による英語指導（4・5歳児）

・たかはぎ認定こども園・東小学校・高萩中学校との交流

4) 運営

イ) 会議

1. 保育職員会議（管理・園運営全般 ……月1回）

2. 運営会議（管理・運営・保育全般 ……月1回）

3. カンファレンス会議（保育内容の検討・ケース検討 ……月1回）

4. 保育連絡会議（主任・グループリーダー・企画研修員による保育会議 ……月1回）

5. グループ会議 (年長児・中間児・年少児グループ毎 ……月1回)
 6. 献立会議 (献立内容の検討等 ……月1回)

ロ) 日 課

時間	生活のプログラム	時間	生活のプログラム
7:00	早朝保育 (絵本、玩具遊び)	13:00	午睡 (4,5才児はクラス別保育)
8:00	登園・挨拶・健康視診・自由遊び	14:00	1号認定こども降園
9:00	1号認定こども登園	15:00	起床・おやつ (全児)
9:20	片付け・朝のお集まり (0,1,2才児)	15:30	お集り
9:40	おやつ (0,1,2才児)	16:00	降園開始
10:00	片付け・朝のお集まり (3,4,5才児)		自由遊び (絵本・戸外遊び・玩具等)
	クラス別保育		製作遊び (粘土・折り紙等)
	造形製作・音楽リズム・体育遊び	17:30	延長保育 (テレビ・ビデオ視聴・絵本・玩具遊び)
	自然観察・散歩等	18:30	補食
11:30	昼食	20:00	降園終了
12:30	食後の片付け・歯磨き・午睡準備 (0~3才児)		

5) 保健衛生及び安全管理

- 定期検診の実施
 - 園児健康診断 …… 年2回 (嘱託医 滝有希子先生)
 - 園児歯科検診 (3,4,5才児のみ) …… 年2回 (滝川歯科医院 滝靖宗先生)
 - 園児尿検査 …… 年2回 (江東微生物研究所)
- 身体計測の実施 (毎月…身長・体重 年2回…胸囲・頭位)
- 調理担当者の衛生管理の徹底 …… 保菌検査の実施・消毒・白衣の着用
- 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
- 環境衛生 (トイレ清掃消毒・寝具消毒・下水道消毒等)
- 園内外の危険個所の把握と安全管理点検 …… 毎月10日
- 園庭の遊具施設の安全管理と点検 …… 毎月10日 (変更有り)
- 玩具等の安全管理と点検消毒 …… 毎日
- 交通安全指導 …… 年1回(6月)
- 閉園後は柵総合警備保障に管理委託契約

6) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	25	入園・進級を祝う会	12	24	クリスマス会
5	2	こいのぼり集会	2	3	節分集会
	17	親子遠足 (4,5才児)		15	保育参観・懇談会・公開リトミック
6	8	保育参観・懇談会・公開体育指導		25	お別れ遠足 (みどり組)
7	5	七夕集会	27	お別れ遠足 (あか組)	
	12・13	お泊り保育 (5才児)	28	お別れ遠足 (あお組)	
8	3	夏祭り	3	3	ひなまつり集会
9	7	保育発表会 (2才~5才)		5	お別れ会
10	17	観劇 (4,5才児)		22	卒園を祝う会
	22	秋の遠足 (2才児)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の日 毎週木曜日 ・室内外消毒 毎日 ・地域の子育て支援サービス (ちびっこ広場・ちびっこMaft・園庭開放) 毎月実施 ・ゆうゆうクラブとの交流 (異年令児交流) 年2回実施 (4/22・1/7) ・くれよんクラブとの交流 (園庭交流) 1月~実施 (月2~3回) ・たかはぎ認定こども園・東小・高中との交流 (7/3・10/22・2/20・2/21) 		
	16	秋の遠足 (1才児1組)			
	24	秋の遠足 (3才児)			
	18	秋の遠足 (1才児2組)			
	19	親林のつどい (4,5才児)			
	25	秋の遠足 (4,5才児みどり組)			
29	秋の遠足 (4,5才児あお組)				
31	秋の遠足 (4,5才児あか組)				
11	17	産業祭 (4,5才児)			
	23	運動会 (0~5才児)			

7) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調理担当者検便	22	27	24	22	26	24	21	25	23	27	26	24
室内外の消毒	毎日											
非常時避難訓練	30	16 22	13 26	10 24	28	25	23	27 7	25	22	26	19
安全点検	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10	10
健康診断(児童)		15					8					
歯科検診(児童)		16						28				
健康診断(職員)				17								
児童尿検査			10・24					11・25				
火災報知器点検			13						17			
交通安全指導			14									

8) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	園長	保育士	調理員等	計
県又は社協等	5	43	9	57
法人及び施設独自	4	74	9	87
計	9	117	18	144

2. 各月初日在籍園児数 2・3号認定子ども(入園時年齢による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年令													
0才	4	4	4	5	7	10	12	13	14	14	14	14	115
1才	19	21	22	22	22	22	23	23	23	23	23	23	266
2才	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
3才	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
4才	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	308
5才	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
計	115	117	118	119	122	125	128	129	130	130	130	130	1,493
前年度	115	116	114	116	118	119	119	122	123	123	125	126	1,436

各月初日在籍園児数 1号認定子ども(入園時年齢による)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年令													
満3才	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
3才	6	6	6	6	7	7	8	8	8	8	8	8	72
4才	5	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	70
5才	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	32
計	15	16	16	17	17	17	18	18	18	18	18	18	205
前年度	15	15	16	15	16	16	16	16	17	17	17	17	118

3. 出身地区別表(R6.3.31現在)

地区	高浜町	有明町	東本町	肥前町	本町	高萩	安良川	上手綱	下手綱	高戸	島名	大和町	秋山	石滝	日立	北茨城	春日町	赤浜	合計
人数	13	8	2	12	11	10	20	6	13	12	18	1	1	1	8	5	3	4	148

4. 在園期間(R6.3.31現在)

期間	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
人数	29	24	38	21	18	18	148

5. 一時預かり保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	7	9	14	5	3	1	1	0	0	0	0	1	41

一時預かり(教育)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	3	14	17	55	22	37	58	73	61	73	47	44	504

6. 日曜・祭日保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	8	8	9	8	11	15	11	11	0	10	6	4	101

7. 体調不良児型保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	14	29	13	14	13	17	28	18	18	8	4	15	191

8. 栄養投与状況

3才未満児 熱量 447 Kcal(食事摂取基準 436 Kcal)
 たん白質 15.6 g(食事摂取基準 17.4 g)
 3～5歳児 熱量 618Kcal(食事摂取基準 606 Kcal)
 たん白質 22.0 g(食事摂取基準 24.2 g)

6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ

1) 令和7年度運営計画

放課後児童クラブにおける育成支援は、こどもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながらこどもが自ら危険を回避できるようにしていくとともに、こどもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確率等により、こどもの健全な育成を図ることが役割となっております。特に配慮を必要とするこどもへの対応に当たっては、インクルージョンの観点から、保護者、学校等関係機関と情報交換を行い、連携して育成支援に努めて参りたいと思います。

また、こどもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助し、クラブの生活に主体的に関わることができるように体制を整え、こどもの豊かな時間、安全、安心な居場所作りに取り組んで参ります。

- 1 児童が充実した生活が出来る環境づくり
 - (1) 自然を生かした親子体験活動の実施
 - (2) 日本の文化に親しむ行事への参加
 - (3) 学年別活動の実施
 - (4) アサーショントレーニングの導入
 - (5) 異年齢交流の拡充
 - (6) そろばん教室の開催
- 2 保護者サポートシステムの構築
 - (1) 保護者同士の交流強化による子育て支援
 - (2) ペアレントトレーニングを導入した保護者支援
 - (3) 食育・健康・安全・子育て情報の発信
- 3 子育てネットワークづくり
 - (1) 保護者、学校、関係機関との連携の強化
 - (2) 児童家庭支援センターとの連携による家庭支援の実施
 - (3) 地域諸団体、ボランティア、地域住民との交流連携の取り組み
- 4 食育の推進
 - (1) 栽培、収穫、調理の体験
 - (2) 手作りおやつの実施と試食会や掲示等による保護者への発信
- 5 職員の資質向上
 - (1) 法人内外の研修への積極的参加
 - (2) ペアレントトレーニングを基にした援助支援の標準化
- 6 財政基盤の強化
 - (1) 計画的な予算の執行と節約意識の徹底

2) 運営の概況

日々、学童期の子どもたちと接し活動する中で、様々な環境の変化の中で子どもの生活様式も変化しているように感じています。昨年度参加しました学童保育の研修会でも問題視されていましたが、ネット環境における子ども同士のトラブルなど、今後の課題とされておりました。今までも、通信などを通して注意喚起の発信を行ってまいりましたが、引き続き児童や保護者への支援を工夫していきたいと思っております。

また、保護者交流会は参加される家庭が少なく、内容や日程など幅広く保護者の意見を取り入れる必要があると感じています。保護者交流の目的や意義などを丁寧に伝えながら、たくさんの方に参加していただけるような行事を考えていきたいと思っております。今年度も子どもと保護者に寄り添った保育に努めて参ります。

3) 運 営

- 1 開園の状況
 1. 開園日 年間290日
 2. 休園日
日・祭日
お盆休暇 8月13日～8月15日
年末年始休暇 12月30日～1月3日
 3. 開園時間
学校登校日 下校より午後7時まで
学校休日 午前7時30分より午後7時まで
- 2 活動内容
 1. 児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
 2. 遊びと活動への意欲と態度の形成
 3. 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上
 4. 児童の遊びの活動状況の把握と家庭への連絡
 5. 学習支援と読み聞かせによる学習向上と充実

- 6. 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- 7. その他児童の健全育成上必要な活動

3 会 議

- 1. 職員会議（子育て支援と合同） 毎月
- 2. 連絡会議（申し送り・連絡事項） 毎日
- 3. 運営委員会（情報交換会） 年2回
- 4. 児童家庭支援センターとの会議 各月
- 5. 経営役員会 毎月

4) 保健衛生及び安全管理

- 1 給食（おやつ、土曜日や長期休業期間の昼食）
 - 1. 季節感、栄養バランスのある食事
 - 2. 担当者の衛生管理の徹底（検便、消毒、着衣）
 - 3. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
- 2 安全指導
 - 1. クラブ内外危険箇所の点検指導及び保安全管理点検の実施（毎月）
 - 2. 交通安全指導の徹底
 - 3. 閉館後は、（株）総合警備保障に管理委託契約
 - 4. 非常時避難訓練（毎月）

5) 異年齢時交流

- ・ 同仁東保育園、くれよんクラブ高萩との交流
- ・ 読み聞かせボランティア団体との交流

○ボランティア受け入れ人数（令和6年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	4

6) 令和6年度保菌検査実施日記録 月1回 3名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	22	20	24	22	19	24	21	18	23	20	17	24

7) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1	入会歓迎会	10	15	不審者対応避難訓練
	22	花まつり（保育園児との交流）	11	13	津波避難訓練
5	27	火災避難訓練	12	21	保護者交流会（サバイバル飯炊き）
6	18	冠水時の避難訓練（垂直避難）		25	クリスマス会
7	22	総合避難訓練		26	火災避難訓練
8	2	館外学習	1	6	初詣・避難訓練（地震津波）
	23	冠水時避難訓練（子どもセンター）		7	保育園交流（100円おやつごっこ）
	30	親子交流会（ペーパークイリング）	2	6	火災避難訓練
	30	ゆうゆうフレンドパーク	3	24	火災避難訓練（通報訓練）
9	30	竜巻時の避難訓練		28	お別れ遠足（願成寺）
				31	お別れ会

※ 毎月の行事 ・ 誕生会 ・ 手作りおやつ ・ 150円おやつ

8) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	回数	参加者数	計
法人研修	3	3	9
高萩市子育てサポーター研修会	4	2	8
茨城県放課後支援員資質向上研修会	2	1	2

2. 各月初日在籍児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年生	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	95
2年生	12	12	12	12	12	12	11	10	10	10	10	10	133
3年生	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
高学年	12	12	12	11	11	10	10	10	10	10	10	10	128
計	40	40	40	39	39	38	36	36	36	36	36	36	452

3. 特別入会・短期利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別入会													0
短期利用	2	3	2	4	7	0	0	0	0	0	0	0	18
計	2	3	2	4	7	0	0	0	0	0	0	0	18

* 特別入会は、夏休みなどの長期期間に入会する場合を言う。

* 短期利用は、保護者の都合により、1日単位で利用する場合を言う。

4. 出身地区別表 (R7. 3. 1現在)

地区	高浜町	有明町	肥前町	東本町	下手綱	高戸	安良川	本町	折笠町	合計
男	3	7	2	1	1	1	1	0	1	17
女	8	6	1	2	0	1	1	0	0	19
計	11	13	3	3	1	2	2	0	1	36

5. 日課表

時間	平日	土曜日及び長期休校日
7:30	学 校	受入れ
9:00		学習
10:00		自由時間
11:00		自由時間
12:00		昼食
13:00	受入準備	休 息 自由時間
14:00	児童受入	
15:00	宿題 自由時間	
16:00	おやつ	おやつ
17:00	清掃 自由時間	清掃 自由時間
18:00	(帰宅準備) 帰宅	(帰宅準備) 帰宅
19:00		

7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩

1) 令和7年度運営計画

当事業所は、令和元年4月に、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業を始めました。利用児童は幼稚園・保育園・学校等の集団生活を基本とする子がほとんどです。当事業所での支援を、事業所内の安定だけでなく集団生活や家庭での般化を目指し“安心・安全”に児童やその子を取り巻く環境の在り方を考えることが事業を行う上での役割だと感じております。その背景があり、令和4年4月に保育所等訪問支援事業を展開して参りました。現在は市内市外の認定こども園・幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校等ニーズが増えております。“お互いにより良い在り方”を考えていくことは、近年注目される“インクルーシブ保育・教育”に繋がると考えております。

また、令和7年4月より、新しく“居宅訪問型児童発達支援事業”を展開して参ります。重度の障害や医療的ケアが必要なお子さん、不登校等の理由から外出が困難なお子さんを対象に居宅で支援を行うサービスとなっております。現在も、居宅支援を希望されるご家庭もあることから事業展開の運びとなりました。今後も、職員一同スキルアップを目指し丁寧な支援が行えるよう努めて参りたいと思います。

1 専門職的サービスの強化と専門職性向上

- (1) 児童家庭支援センターとの連携による専門性強化
- (2) 内部・外部カンファレンス体制の整備
- (3) 人事交流による専門的人事配置の強化
- (4) 専門的支援、家族支援、訪問支援の充実と専門性強化

2 安定した事業運営を可能とする組織体制の確立

- (1) 組織体制の構造化
- (2) 関係機関連携強化

3 人材育成と人材確保

- (1) 経験に応じた計画的な外部研修への参加
- (2) 法人内研修への積極的参加
- (3) 関係機関連携による幅広い人材育成
- (4) 安定したサービス維持のため、応用行動分析学を用いた支援・ペアレントトレーニング支援の強化

4 安定した財政基盤の確立

- (1) 多様な人材配置
- (2) サービスの充実による利用児童の安定した確保
- (3) 新規事業収入による、新たな財源の模索

2) 運営の概況

平成31年4月に事業が始まり丸6年が経過しました。児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業の契約数は48件、保育所等訪問支援の契約数が17件となりました。今後契約を控えている方や見学等の問い合わせの状況を考えると、障害福祉におけるニーズの高さが伺えることを感じています。また、令和6年より指定児童発達支援事業者は障害の有無にかかわらず全ての児童が共に成長できるよう地域社会への参加、インクルージョンの推進に努めなければならないとされています。ゆうゆうクラブや同仁東保育園との交流機会や地域イベント等への参加機会を積極的に取り入れております。

また、令和4年4月より保育所等訪問支援を展開して参りました。保護者ニーズだけでなく、保育園、幼稚園、児童養護施設、小学校、特別支援学校等の機関からニーズが集まっております。誰にとっても安心・安全で共に学び生活できるよう介入していくことは私たち訪問支援専門員としての役割だと感じております。今後も“保育所等訪問支援”を身近に感じて頂けるよう努めて参ります。また、当該事業所や集団生活では大きな問題はないが家庭内で困り感が改善されないという相談がございます。家族支援や子育て支援の中で定期的な面談を重ね解決構築を考えていくケースが増えております。誰もが“今の状況から良い状況にしたい”という思いを丁寧に介入し“お互いにより良い在り方”を考えていきたいと思っております。

また、保護者の希望から展開された保護者交流「クーピー」の機会を、2か月に1回の頻度で行って参りました。その中で、保護者向けのペアレントトレーニング講座も行っております。参加保護者から「毎月開催してほしい」という声も聞かれていることから、今年度は、より多くの頻度で開催できるよう機会の提供を考えております。

3) 運 営

1 営業時間及びサービス提供時間

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| ・営業時間 | 9時00分から18時00分 |
| ・サービス提供時間 ※随時、延長支援対応
(月～金) | 9時00分から17時30分 |
| ・児童発達支援提供時間(月～土) | 8時30分から14時30分 |
| ・放課後等デイサービス提供時間(平日) | 14時30分から17時30分 |
| (土曜日・学校休業日) | 8時30分から17時00分 |

2 定休日

- ・日曜日、祝日、お盆休暇(8月13日～8月15日)、年末年始(12月30日～1月3日)

3 活動内容

(活動プログラム) PDCAサイクルと呼ばれる、「PLAN (計画)」「DO (実行)」「CHECK (測定・評価)」「ACTIN (改善)」の流れを定期的に行います。

「アセスメント (評価・査定)」

- ・CARS2 (小児自閉症尺度) という検査の項目を取り入れ、独自のアセスメントシートを作成。情緒面・身体・運動・生活・コミュニケーション・人間関係・社会性・認知行動など幅広く評価。また、生活動作・余暇活動、社会との関係性など必要な項目を加えて評価を行う。

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

- ・ABA応用行動分析・ペアレントトレーニングに基づく支援
- ・発達支援 (5領域に沿った本人支援)、家族支援、地域支援
 - 「健康・生活」：健康状態の維持、改善/生活リズムや生活習慣の形成/基本的生活スキルの獲得
 - 「運動・感覚」：姿勢と運動、動作の向上、補助的手段の活用/保有する感覚の総合的な活用
 - 「認知・行動」：認知の発達と行動の習得/空間、時間、数等の概念形成習得/対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
 - 「言語・コミュニケーション」：言語形成と活用/言語の受容及び表出/コミュニケーションの基礎的能力の向上/コミュニケーション手段の選択と活用空間、時間、数の概念形成
 - 「人間関係・社会性」：他者との関わり形成/自己理解と行動調整/集団参加への工夫
- ・専門的支援：心理担当職員が個々に合った支援を見立てプログラム作成。プログラム内容に沿った支援を1時間程度行う

(保育所等訪問支援)

- ・アセスメント：児童の様子を観察にいき、対象となる子どもと保育所等での環境 (他の子どもを含む集団環境) やそこで行われている教育や活動と本人の特性の両方を適切にアセスメントを行う
- ・支援・介入：(集団介入・直接支援) 支援員等の代わりに付いて、状況に合わせて支援
(集団介入・間接支援) 集団の中での様子等を観察し報告
(個別介入・直接支援) 別室で1対1のトレーニング支援
※子どもの状況、状態と希望に合わせて介入方法を検討
- ・カンファレンス：対象となる子どもが所属する機関の職員と話し合いを行います。保護者より希望がある場合には“ファミリーカンファレンス”も実施可能。必要に応じて、子どもに合わせた教材作成。専門職員が機関と共に集団で過ごせる“工夫”を考えていく。

4 会議

- ・支援・職員会議 月1回
- ・連絡会議 (振り返り・引き継ぎ・連絡) 毎日
- ・担当者会議 (保護者・相談支援事業所・他事業所) 必要に応じて
- ・幼稚園、保育園、特別支援学校、市内小学校カンファレンス 必要に応じて・学期に1回
- ・管理運営会議 (衛生管理委員会・虐待防止委員会・身体拘束委員会) 月1回

5 日課

時 間	児童発達支援	時 間	放デイ (平日)	時 間	放デイ (休日)
9:00	受け入れ・送迎 荷物支度準備・個別支援	14:30	受け入れ・送迎	8:30	延長支援
10:00	朝の会	15:30	おやつ	9:00	受け入れ・送迎
10:15	小 集 団 活 動	15:45	SST活動	10:00	朝の会
11:30	給 食	16:15	余暇活動	11:30	SST活動
12:30	リラックスタイム	17:15	パソコン		給 食
13:00	余 暇 時 間	17:30	帰りの準備	12:30	個別活動
13:50	自 由 遊 び			15:00	パソコン
14:00	帰りの会				おやつ
	迎え引き渡し・送迎		迎え引き渡し・送迎	15:15	余暇活動
				17:00	迎え引き渡し・送迎
				17:30	延長支援

6 保健衛生及び安全管理

- ・調理担当者の衛生管理の徹底 (保菌検査の実施 (年12回)・消毒・白衣の着用)
- ・キッチンの整理整頓と衛生管理の徹底
- ・食材搬入時の衛生管理の徹底
- ・食物アレルギーの徹底管理・除去食対応
- ・環境衛生 (室内清掃消毒の実施)
- ・園内外危険箇所の把握と安全管理と点検 (月1回)
- ・玩具等の安全管理と点検消毒
- ・営業終了後は (株) 総合警備保障に管理委託
- ・自動ドアの解錠カードキーによる防犯対策及び利用児の飛び出し防止
- ・AEDの設置
- ・送迎車に置き去り安全装置取付

令和6年度保菌検査実施日記録 月1回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	5	10	7	5	2	6	4	1	6	10	7	7

7 令和6年度利用実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
児童発達支援		83	82	88	88	92	76	84
放課後等デイサービス		103	98	109	109	91	102	104
保育所等訪問支援		6	13	7	10	5	13	9
計		192	193	204	207	188	191	197
区分	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
児童発達支援		80	83	85	76	90	1,007	
放課後等デイサービス		95	96	103	99	105	1,214	
保育所等訪問支援		10	5	13	12	13	116	
計		185	184	201	187	208	2,337	

8 出身地区別

	高萩市	日立市	北茨城市	その他	合計
児童発達支援	7	8	1	1	17
放課後等デイサービス	14	8	1	1	24
保育所等訪問支援	8	8	0	0	16

9 職員研修等

- ・法人内職員研修/施設内研修
- ・児童発達支援管理責任者（基礎）研修
- ・社会福祉施設等新任研修
- ・キャリアパス対応中堅職員研修
- ・ミュージックケア研修
- ・ABA応用行動分析
- ・強度行動障害基礎研修
- ・ブリーフセラピスト養成講座
- ・春季保健相談士更新セミナー
- ・チームリーダー研修
- ・ABAセラピスト養成講座
- ・障害福祉経営セミナー

8. 児童養護施設 臨海学園

1) 令和7年度運営計画

この春、かねてより準備を進めて参りました分園型小規模ユニットケアが開設しました。令和4年に本体施設の形態をオールユニット化してから、より家庭的で一人ひとりに向き合えるケアを目指して参りましたが、分園の運営は試行錯誤の連続になるかと思われれます。双方の職員がしっかりと連携を取りながら、子どもたちの安心安全な生活のため、尽力して参りたいと思います。

今年度は入所率90%からのスタートです。子どもも職員も新しい生活に希望と不安を抱きながらも、落ち着いた生活を送ることができています。

また世の中の情勢に漏れず、新たな人材の確保については苦慮している現実もあります。実習生の積極的な受け入れや、定期的な施設見学・説明会の開催などを通して、将来の児童福祉従事者育成の一翼を担いつつ、職場環境の充実にも努めて参りたいと思います。

1 提供するサービス向上と生活環境の改善

- (1) 分園型小規模グループケアにおける支援の実践と評価
- (2) 県のアドボケイト受け入れと活用の検討
- (3) 職員の専門性を活かせる勤務環境の整理
- (4) 計画的な自立支援（インケア・リービングケア）とアフターケアの強化
- (5) 食育の推進、買い物から調理までを通した食・調理体験の創出
- (6) 第三者評価の受審と改善への取り組み

2 組織体制の強化

- (1) 中期計画に基づく各種マニュアルの見直し、業務負担の効率的な軽減
- (2) 職員間の相互理解と雰囲気作り、チームワーク強化
- (3) 地域や関係機関（学校・児童相談所等）との連携と情報共有
- (4) タブレット端末やグループウェアを活用したICT化の推進

3 人材育成

- (1) 小グループケアにおける職員の資質・意識の向上とOJT強化
- (2) 職員個別の研修目標の設定と評価
- (3) 個別面談など相談体制の強化、意欲・メンタルヘルスの向上
- (4) ブログやSNSを活用した情報発信
- (5) 実習生やボランティアの積極的な受け入れ
- (6) 人事考課の実施

4 財政基盤の強化

- (1) 社会情勢に応じた予算の柔軟な見直しと計画的な執行
- (2) コスト意識の強化と節約の実践・人的コスト意識の強化
- (3) SDGsを意識した消費活動と、ゴミの削減

2) 運営の概況

令和6年度は、7年4月に開設する分園型小グループケア施設の準備に奔走した一年となりました。子ども・職員ともに、大きく環境が変化することについて、期待と不安を抱きながら過ごす時間でもありました。入所児童数については年間を通してほぼ定員いっぱいであり、一時保護委託やショートステイについては入れる部屋がないためにお断りしなければならないことが多くありました。園全体としては概ね落ち着いた生活を送れたと言ってよいですが、集団活動に課題のある子たちの学校連携や家庭調整、就労支援など今後考えていかなければならない点も多く見られています。

職員については、それぞれ資質を持ち合わせていながらも、チームワークとしてはより改善を目指したい部分があり、工夫しながら協働を進めていきたいと考えています。また、業務負担の軽減と心的余裕の確保も向き合っていかなければならない課題です。

まずは新たな取り組みとなる分園型小グループケア施設のスムーズな運営と、本体施設との良い連携を当面の目標としていきます。

3) 児童支援の状況

イ) 基本方針

支援の基本は子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指している。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員を五つのグループに分け、少人数のグループによる支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけ、一方、学習面では多くの学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行う。その他、地域行事への参加など、地域の中で運営・支援していくことを基本方針とする。

ロ) 基本的目標

○法人理念・綱領を实践し、子どもが将来社会的に自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を持ちながら、対人援助サービスの基本である S・G・N・T を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。 (和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。 (あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。 (あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」が言える場面を作る。 (あなたを必要としています)

ハ) 支援目標

1. 生活支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習相談の強化 (基礎学力の向上と進路相談)
- (5) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (保護者会・家庭通信・帰省・面会・行事への参加)
- (7) 自治会活動の推進 (子ども会議の開催、各種実行委員会)
- (8) 食育の推進 (買い物体験と食事づくり)

ニ) 学習支援

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。進路相談。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を实践する。(面談、学習支援、進路相談)
- ・情操教育 (図工、手芸、料理、音楽) の実施。
- ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
- ・学習ボランティアの活用。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる習慣を作る。

(2) 内 容

- ・手洗い・消毒の習慣化、清潔感を養う。(服装、身体)
- ・新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染対策の徹底。
- ・衛生検査の実施。(身体、頭髪、爪、耳垢等)
- ・入浴支援。
- ・健康診断 (年2回)
- ・定期保菌検査の実施。(年2回 6月 1月)
- ・年齢による段階的な洗濯の習慣化。
- ・環境整備 (施錠、補修、整備、整理整頓)
- ・愛園デー (子ども自身が安全面に配慮する・環境美化) 毎月第1土曜日
- ・安全点検日 (職員が安全面の定期点検を実施) 各グループ会議の日
- ・非常時 (火災、地震、津波、風水害) 対策、訓練の実施。
- ・交通安全の徹底 (自転車点検、補修、通学路の確認、交通安全教室)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 全体会議 … 月 1 回 (給食関係会議等含)
- (2) グループ会議 … 月 1 回 (3階・4階・分園)
- (3) 園内研修 … 月 1 回
- (4) 運営会議 … 月 1 回
- (5) 生活向上部会 … 年 1 1 回
- (6) マニュアル検討部会 … 年 1 1 回
- (7) 連絡会 … 毎日 (9:20 / 13:00)

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 (オスバン) ……………… 週 1 回
- イ. 便所消毒 ……………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒 (日光消毒) ……………… 毎 日
- エ. 浴場消毒 (オスバン) ……………… 週 1 回
- オ. 食器消毒 (熱 風) ……………… 毎 日
- カ. 残留塩素調査 ……………… 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 (学校保健法に準じ当該学校にて) … 4月・5月・6月 (診療科目別)
(本園嘱託医により) … 10月14日
- イ. 身体測定 ……………… 月 1 回
- ウ. 散髪 ……………… 月 1 回
- エ. つめ切り ……………… 週 1 回
- オ. 下着交換 ……………… 毎 日
- カ. 入浴 ……………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 ……………… 年 2 回
- ク. 調理職員保菌検査 ……………… 月 1 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 非常時、備総合警備保障に通報契約
- イ. 電気設備検査 (関東電気保安協会) ……………… 月 1 回
- ウ. 自動火災報知器の検査 (作業検査) ……………… 年 2 回
- エ. 非常通報装置の点検 (業務委託) ……………… 年 2 回
- オ. エレベーターの点検 (") ……………… 月 1 回 (目視点検: 随時)
- カ. ガス湯沸器清掃点検 (") ……………… 年 2 回

(4) 安全管理の点検 (毎月第 1 水-木曜日)

(5) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
- イ. 登下校の通学路指定
- ウ. 交通規則の徹底
- エ. 河川、海岸等の事故防止
- オ. 愛園デー (毎月第 1 土曜日)

5) 週間予定及び日課

1. 週間支援目標

日	・衛生検査 (頭髪、爪、耳) こども会議 (第 1 日曜日)
月	・登校確認 (ハンカチ、ティッシュ、胸章)
火	・入浴支援
水	・室内消毒
木	・安全確認 (施設、交通安全、危険物)
金	・レクリエーション (東小体育館19~21時) 上履、靴洗い
土	・基礎学力養成 ・環境整備 (寝具日光消毒、室内外清掃) 屋外活動

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床 洗面 清掃		15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		15:30	小学生帰園 学習	
7:30		起床 洗面 清掃			
7:45	登校 (小中)		17:30	片付け	片付け
8:00	こども園登園	朝食			
9:00		学習 (土曜)	18:00	夕食	夕食
				お知らせ会	学習 (中・高)
10:00		環境整備	19:00	学習 (中・高)	入浴
				入浴	テレビ視聴
12:00	昼 食	昼 食	20:00	幼児就寝	幼児就寝
13:00	未満児午睡	自由遊び			
13:30	こども園降園		21:00	小学生就寝	小学生就寝
	帰園		22:00	中高生就寝	中高生就寝

6) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内外の消毒	18	10	20	18	15	19	17	21	19	16	20	20
身体測定	30	31	30	30	31	30	31	30	28	31	28	31
保菌検査(児童・職員)			10							14		
保菌検査(調理員)	8	13	10	8	5	9	7	11	9	14	10	10
安全管理点検	11, 12	1, 2	5, 6	3, 4	7, 8	4, 5	2, 3	6, 7	4, 5	8, 9	5, 6	5, 6
非常時避難訓練	7	5	2	7	6	8	6	3	25	12	9	27

7) 令和6年度行事内容

月	日	行 事
4	8	始業式
	9	入学式
	29	花まつり・進学進級祝い
5	3	いぶき会総会・懇親会
	12	母の日祝い
6	15	ユニットレク
	16	父の日祝い
7	6	ユニットレク
	20	ユニットレク
	28, 29	高萩まつり
8	13, 14	夜の動物園
	16	夕涼み会
	19, 20	プール遊び
	26	川遊び
	27	ユニットレク
28, 29	幼児キャンプ	

月	日	行 事
9	17	十五夜
	28	情熱クラブ様イベント
10	15	十五夜
	26-28	中高生キャンプ
11	10	七五三
	15, 16	ユニット旅行 (横浜)
	25, 26	ユニット旅行 (那須)
12	1-3	小学生キャンプ
	13, 14	ユニット旅行 (横浜)
	22	情熱クラブ様クリスマス会
	25	クリスマス会
	27	餅つき
2	1, 2	ユニット旅行 (横浜)
3	2	豆まき
	1	おてらおやつクラブ様人形劇観劇 門出を祝う会

その他 誕生日に誕生会
趣味の教室 月1回

8) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	園長	指導員 保育士	F S W 里専	心理士	事務員	栄養士 調理員	計
県・社 協	0	17	1	0	0	0	18
団 体	3	29	4	14	1	2	53
法人・施設	2	261	36	12	12	36	359
計	5	307	41	26	13	38	430

2. 児童構成 (R7.3.31現在)

区分	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生						高 校 生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男				3	1	2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1			20		
女			2				1	1			1	1		1	1	1	1				10		
計	0	0	2	3	1	2	3	2	1	1	3	2	1	3	2	2	2	2	0	0	30		

3. 各月初日在籍及び入退園児童 []内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	28	28	28	28	28	28	28	29	30	30	30	30	345
入 所 うち()は初日入所							1	1				1	3
退 所 うち()は初日退所												1	1
月末在籍	28	28	28	28	28	28	29	30	30	30	30	30 [1]	

4. 入園理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和	1		1
5. " 拘禁	2		2
6. " 入院	1		1
7. " 就労	4	1	5
8. " 精神疾患等	2		2
9. " 放任・怠惰	5	1	6
10. " 虐待・酷使	2	4	6
11. 棄児			
12. 養育拒否	1	3	4
13. 破産等の経済的理由	2		2
14. 児童の問題による監護困難	1	1	2
15. その他			
16. 不詳			
合 計	21	10	31

5. 退所理由別表

退 所 理 由	男	女	計
1. 自立			0
2. 進学 (大学・専門学校)			0
3. 措置変更			0
4. 家庭引取り		1	1
合 計	0	1	1

6. 在 園 期 間 (R7.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
3	12	4	9	2	30

7. ショートステイ受入状況

実人員 4人
延べ日数 10日

8. 一時保護の受入状況

実人員 4人
延べ日数 155日

9. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… アンケート調査実施 (年1回)

1. 食 費 1日当り 880 円 (原材料費)
2. エネルギー 幼児 (3~5歳) 1,499 Kcal (基 準 1,233 Kcal)
学童 (6~18歳) 2,428 Kcal (基 準 2,220 Kcal)
3. たん白質 幼児 (3~5歳) 45.7 g (基 準 40.1~61.7 g)
学童 (6~18歳) 73.9 g (基 準 74.2~111.0 g)

入園理由別総計表（臨海学園）

入園理由	昭和41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
父または母の死亡・行方不明		15	15	9	10	17	14	14	15	16	18	18	20	19	22	19	17	17	17	14	14	323
離婚・放任・冷遇		7	14	13	20	18	17	14	18	19	16	16	15	12	10	9	14	15	13	14	19	293
病氣・貧困		8	13	9	9	8	7	7	8	9	11	7	7	8	9	5	6	9	12	13	15	180
父母死亡		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	2	2	33
父母家出等行方不明		5	6	11	6	2	1	4	6	8	8	9	7	11	7	8	3	4	9	4	5	124
その他環境不遇	41																					41
教護児		6	5	4	5	4	2	3	4	3	1	1										43
長欠不就学		2	3	1	1					3	3	3	2	1								19
触法児		1	3	5	2	1	3	3	1	1												21
その他															1	1	2	2	2	1	4	13
計	50	46	60	51	52	51	45	46	53	60	58	55	54	54	52	45	44	49	55	51	59	1,090

入園理由	昭和62	63	平成1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡	8	5	4	3	4	3	2	4	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	3	2	2	2	2	2	1	1	72
行方不明	8	6	6	6	7	9	7	3	7	5	5	2	1	6	12	12	13	14	13	14	12	12	11	8	8	8	215
離婚・就労	16	14	10	8	10	9	10	8	12	13	13	14	21	21	19	21	20	21	22	22	23	21	20	19	12	11	410
傷病・入院	11	10	15	13	14	16	21	20	15	13	12	10	11	12	18	9	7	6	5	5	4	4	4	3	2	2	262
精神疾患	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6	4	4	79
受刑	2	4	2	3	4	9	9	10	8	8	7	12	16	15	15	10	7	6	6	6	6	5	5	6	2	1	178
虐待・被冷遇	9	6	4	6	5	4	4	4	4	4	9	12	14	18	20	18	19	20	18	14	13	14	18	17	16	9	302
その他	1												2	5	6	7	4			3	3	4	4	4	2	1	50
計	54	46	45	42	45	47	55	50	51	51	53	51	70	85	94	89	81	72	69	69	70	71	69	64	40	35	1,568

※昭和62年より集計項目変更

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	合計
父又は母の死亡	1	1	3	2	2	1	1	1																								12
行方不明	8	3	3	3	2	2	2	2																								25
離婚																																0
不和				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																			10
拘禁				2	2	3	3	3	1	1	2	2																				22
入院	1	1		2	2	2	2	1	1	1	1	1																				13
就労	10	11	13	12	12	11	11	10	9	9	7	5																				120
精神疾患等	4	4	6	5	5	6	8	8	4	5	5	2																				62
放任・怠惰	3	2	1	3	2	2	3	5	3	7	5	6																				42
虐待・酷使	2	1	2	2	2	2	3	3	1	3	4	6																				31
棄児																																0
養育拒否	1								1	2	5	4																				13
破産等の経済的理由									2	2	2	2																				8
児童の問題による監護困難									1	2	2	2																				5
その他																																0
不詳																																0
計	30	23	31	30	31	30	34	34	23	32	34	31																				363

※平成25年度より集計項目変更

9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム

1) 令和7年度運営計画

令和6年度の状況は、入所の打診や一時保護が大変多く、特に一時保護は、代わるがわりといっても良いほど頻繁に打診があり、計6人の児童を受け入れて常時ほぼ満床という状態が続きました。その分、市町村からのショートステイを受けることが難しい状態が続きましたが、これらの受け入れ中に作成する児童の観察記録は、児童相談所や地域の担当者からその後の支援においてニーズが高く好評を得ていました。

入所児童の状況としては、一人の児童が優秀な成績で高校進学を決め、春からの新生活に夢を膨らませています。その一方で、小学生の落ち着きのなさが目立ち、学校との連携でなんとか登校を続けてきたケースもあり、複雑な背景からも特別な支援の必要性を感じてきました。

令和7年度は、自立を控える児童も4人、受験生2人などがおります。子どもたちの生活を支えながら、地域ニーズへの対応も念頭に以下の運営を目指してまいります。

1 福祉サービスの向上

- (1) 一時保護やショートステイにおける専門的貢献
- (2) 発達課題を抱える児童支援の強化継続
- (3) 自立支援の充実
- (4) ファミリーホーム支援の充実と里親支援事業への協力

2 組織体制の強化

- (1) アセスメント等の組織的対応強化
- (2) 児童家庭支援センター、くれよんクラブとの積極的連携
- (3) 自立支援に関する協力体制の整備
- (4) 地域小規模化の具体的検討

3 人材育成

- (1) 職員研修の計画的実践とリーダーおよびリーダー候補職員の育成
- (2) 児童家庭支援センターとの連携による人材育成
- (3) 施設内におけるカンファレンスの充実
- (4) 視察研修等の実施

4 財政基盤の強化

- (1) 入所児童の確保と市町村ショートステイの受け入れ推進
- (2) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (3) エコロジー活動実践とタブレットの活用によるペーパーレス化の推進

2) 運営概況

令和6年度は、高校などを卒業しての自立退所はありませんでしたが、高校受験を迎える中学3年生が1名おり、既述の通り希望校への進学を決めました。幅広い年齢の子どもが暮らすにぎやかな環境でも、常に努力を欠かさずに学習に取り組んできたことが報われた結果となりました。学校生活においても学年の中心的な存在となり、充実した3年間を過ごすことができました。支えていただいた地域の皆様にも深く感謝申し上げます。

一方で、22名でスタートした入所状況ですが、年間を通してほぼ満床状態が続き、入所および一時保護の受け入れが大変多い1年でした。年度途中の家庭復帰2名を含み3名の退所がありましたが、5月に3名の入所があった後、残りの1名の定員枠に対して1年を通して10名の児童が、一時保護やショートステイで滞在しました。最短で1泊、最長で約50日と、大変出入りの激しい状況が続きましたが、この他にも多くの問い合わせをいただく状況が続き、一時保護のニーズの高さを実感した1年となりました。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども一人ひとりが安心して生活できる人間関係と安全な環境作りを目指し、子ども自らが主体的に生活に参加できるように支援していきます。

情緒の安定を図り、発達段階に応じた個別支援、自立に向けた生活力と学習の向上を図ります。また、子どもと保護者に寄り添いながら家庭支援を充実していきます。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。

- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 将来社会的自立ができる。
- 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付ける。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
- 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活を送れる。

ハ) 処 遇 目 標

- 1. 児童処遇の向上
 - (1) 安定した日常生活の援助 (規則正しい生活と安心・安全の維持)
 - (2) 個性と意見の尊重 (個人の特性と個々の意見・意思を尊重する)
 - (3) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
 - (4) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
 - (5) 支持的援助 (強みや良さに着目し伸ばす)
 - (6) 治療的援助 (特に配慮を要する児童へのケア)
 - (7) 家庭との連携 (定期的な連絡・面会・帰省)
- 2. 業務に関わる事務処理
- 3. 安全・健康管理の徹底
- 4. 関係機関・団体・地域との連携強化
- 5. 職員の援助技術の向上

ニ) 学 習 指 導

- (1) 目 的
 - ・基礎学力を養成する。学習意欲を高め、自主的な学習習慣を身につける。
- (2) 内 容
 - ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
 - ・児童と一緒に学習計画を作成し、自主的な学習につながるようにする。
 - ・計画的な進路相談の実施

ホ) 環 境

- (1) 目 的
 - ・子どもが安全に生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
 - ・手洗い・うがいの習慣化
 - ・入浴指導の実施。
 - ・除菌消毒の徹底
 - ・定期保菌検査の実施
 - ・住環境を中心とした整理整頓、環境整備
 - ・災害時対策及び訓練の実施
 - ・交通安全指導

ヘ) 情 操

- (1) 野菜の栽培
- (2) 花木類の育成
- (3) 趣味の教室 (工作・フラワーアレンジメント・菓子作り、調理等)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

- 1. 職 員 会 議
 - (1) 全体会議 … 月 1 回
 - (3) 給食会議 … 月 1 回
 - (4) 施設内研修会 … 月 1 回
 - (5) グループ会議 … 月 3 回
 - (6) 連絡会議 … 毎 日
 - (7) まるなか会議 (性教育) … 月 1 回

- (8) リービングケア会議 … 月 1 回
 (9) 運営会議 … 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

- ア. 室内外の消毒 …………… 月 1 回
 イ. 便所消毒 …………… 週 1 回
 ウ. 寝具消毒 …………… 随 時
 エ. 食器消毒 …………… 毎 日
 オ. 残留塩素調査 …………… 毎 日

(2) 身体衛生

- ア. 健康診断
 イ. 身体測定
 ウ. 職員保菌検査 …………… 月 1 回 (0157含む)
 エ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回

(3) 安全管理

- ア. 自動火災報知器の検査 …… 令和6年9月4日、令和7年3月18日
 イ. 火災通報装置の検査 …… 令和6年9月4日、令和7年3月18日
 ウ. 特定小規模施設用自動火災報知設備検査 …… 令和6年9月4日、令和7年3月18日
 エ. 貯水槽検査 …………… 令和7年2月20日

(4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
 イ. 登下校時見送り (小学生、学校指定箇所まで)
 ウ. 交通安全指導

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 学習時間

小学生 (平日) 基本的に帰園後。児童との話し合いで随時変更あり。
 (休日) 午前中

中高生 基本的に1時間以上行う。学習時間については児童の自主性に任せ、その日の担当職員と決める。

2. 通塾

児童の希望に沿って学習塾などへ通塾

3. 場所

食堂、学習室、居室、集会室、地域の学習塾

◎生活支援について

生活を共に作るという基本方針に沿って、職員の側から押しつけるのではなく、子どもと話し合いを持ちながら生活プログラムを作成し、一人ひとりがかけがえのない存在であるということを自覚できるように支援する。

1. 職務分掌

- (1) 教育費関係 (2) 給食 (3) 学用品 (4) 日用品 (5) 被服・寝具
 (6) 教養娯楽 (7) 保健衛生 (8) 保育材料 (9) 防災関係 (10) 家庭関係
 (11) 法人委員会 (12) 関係団体等委員 (13) 公用車管理 (14) 安全・保守点検
 (15) 実習生、ボランティア受入

2. 生活指導訓練費について

- ・毎月1日にお小遣いとして支給する。児童の自主性を損なわないように留意しながら、金銭の管理について年齢相応に経験させる。
- ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。(中・高生は各自、小学生は職員と一緒に)

3. 誕生日について

- ・誕生プレゼント
- ・誕生会
児童の誕生日の夕食時に行う。メニューは誕生者の希望をとり、ケーキを囲んでお祝いをする。

4. お年玉について

- ・全児童を対象に支給

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床	起 床	14:00	帰 園	
7:00	洗 面・朝 食	洗 面	15:00	おやつ	おやつ
8:00	登 園・登 校	朝 食 学 習	16:00	学 習	
9:00			17:00		
10:00			18:00	夕 食	夕 食
11:00			19:00		
12:00	昼 食	昼 食	20:00	入 浴	入 浴
13:00			21:00	就 寝(小) 自主学習	就 寝(小) 自主学習
			22:00	就 寝(中・高)	就 寝(中・高)

6) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	2	進級進学を祝う会	10	14	寄せ植え教室
	6	茨児協ドッジボール大会		11	3
5	3	BBQ	9		テーブルマナー&卒園生お話し
	21	蛸鑑賞会 (NP0里山文化ネットワーク様)	10		日赤アマチュア無線奉仕団炊き出し
6	22	体育館レクリエーション	17		七五三撮影
	7	13	ミュージカル観劇 (高校生女兒)	23	クラシックコンサート
		20	映画鑑賞 (小学生)	12	7, 24
30		映画鑑賞 (高校生男子)	8		アントラーズ観戦
8	8	レク (幼児・低学年: 於ハレニコ!)	25	クリスマス会	
	9	レク (中学生: カラオケ)	1	13	マックアドベンチャー
	11	夜の動物園 (小3~小6: 於神峰動物園)	2	1	茨城ロボッツ観戦
	21	お守り作り		11	七五三写真撮影
	29	プールレク (幼児)	3	1, 2	茨城ロボッツ観戦
	31	プールレク (於ハワイアンズ)		19~20	キッズニア (日本生命保険相互会社様招待)
9	22~24	キャンプ	31	お花見	

7) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	心 理 士	計
県・社 協	0	0	5	12	0	1	18
団 体	8	0	34	24	1	7	74
法人・施設	9	5	111	141	14	15	295
計	17	5	150	177	15	23	387

2. 児童構成 (R7.3.31現在)

区分 年令・学年	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生			高 校 生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男					2	1	2	1	2				1	1	1	2				13
女				1	1		2			2	1	1	1			2				11
計			0	0	1	3	1	4	1	2	2	1	1	2	1	1	4	0		24

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	22	21	24	24	24	24	24	25 [1]	25	24 [1]	24	24	285 [2]
入 所 うち()は初日入所		3					1			1			5
退 所 うち()は初日退所	1 (1)								1	1			3 (1)
月末在籍	21	24	24	24	24	24	25	25	24	24	24	24	287

4. 入所理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1	2	3
6. " 入院		1	1
7. " 就労		1	1
8. " 精神疾患等	3	2	5
9. " 放任・怠惰	2	2	4
10. " 虐待・酷使	4	4	8
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難		1	1
15. その他	4		4
16. 不詳			
合 計	14	13	27

5. 退園理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）			
2. 進学			
3. 措置変更	1		1
4. 家庭引取り		2	2
合 計	1	2	3

6. 在 籍 期 間 (R7.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
5	10	3	2	4	24

7. 一時保護・里親レスパイト及びショートステイの受け入れ

- ・一時保護
延べ日数 107日 実人数 6名
- ・里親レスパイト
述べ日数 19日 実人数 1名
- ・ショートステイ
高萩市 述べ日数2日 実人数1人
ひたちなか市 述べ日数13日 実人数3人

8. 栄養摂取状況

◎嗜好調査……………行事、イベント（誕生日は希望カード記入）また、普段より子どもの希望を取り入れたメニューを実施している。

- ・食育アンケート（全児童、全職員対象記述式アンケート実施）年1回。

1. 食 費 1日当たり 509円（原材料費）
2. 熱 量 幼児（3～5歳）1,523kcal（基準1,275kcal）
学童（6～18歳）2,203kcal（基準2,121kcal）
3. たん白質 幼児（3～5歳）48.3g（基準47.8～63.8g）
学童（6～18歳）70.8g（基準54.4～77.5g）

※学校給食の平均値を含む

入園理由別総計表（同仁会子どもホーム）

入所理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡								1	1	1	1	1	5
" 行方不明	5	5											10
" 離婚・就労	3	3	2	3	1	2	5	3	1	1	1	1	26
" 傷病・入院	1	1				1	1	1					5
" 精神疾患	2	2	1	3	9	7	7	6	6	7	6	7	63
" 受刑	6	8	7	6	8	7	10	8	8	9	7	7	91
" 被虐待・被冷遇	2	11	11	12	12	9	9	11	10	11	10	9	117
その他	8	8	6	7	1								30
小計	27	38	27	31	31	26	32	30	26	29	25	25	347

入所理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	合計		
父または母の死亡	1	1																						2	
" 行方不明																									-
" 離婚																									-
" 不和																									-
" 拘禁	8	8	8	3	2	2	4	4	4	3	3	3	3											52	
" 入院							2	2	2	2	2	2												10	
就労	1	1	1	1						1	1	1	1											7	
精神障害	7	7	7	7	6	4	4	4	2	6	6	5												65	
放任怠惰					1	1	1	2	2			1												8	
虐待	6	6	7	14	14	12	10	7	6	10	10	11												113	
棄児																								-	
養育拒否	2	2	1	1	2	2	3	2	2	1	1	1												20	
破産等経済的理由																								-	
児童の監護困難							1	1	1															2	
その他の				1	1	3		2	2		3	5												17	
不詳																								-	
小計	25	25	24	27	26	24	25	23	21	23	26	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	296	

※平成25年度より集計項目変更

10. 児童養護施設 内原和敬寮

1) 令和7年度運営計画

昨年度は3名の入所と(13名)の退所がありました。理由として、家庭復帰、里親委託、自立が挙げられます。昨年度末にかけて退所が多かったことや里親委託の推進が図られていくことを考慮し、今年度は入所定員を40名から30名に変更しました。それに伴いユニットを1つ閉鎖し一時保護専用施設を開設することになりました。決定から開設まで準備期間が短かったため不安な点もありますが、滞りなく運営できるよう継続して情報収集と確認作業を重ねていきたいと思っています。

施設内での支援においては、今後も直接的な支援だけでなく生活する環境を整理整頓し心地よさを感じられる空間作りを通して、「大切にされている実感」を持ってもらえるよう取り組みます。

また、学校生活において課題がある児童については学校と個別の話し合いを重ねながら対応してきましたが、今後もアセスメントを学校と共有しながら支援にあたりたいと思います。

市町村からのショートステイの依頼や里親からのレスパイトについては施設機能を積極的に提供し、親子分離することなく地域で生活ができるよう可能な限り受け入れていきたいと思っています。

併せて、児童家庭支援センターあいびーと連携する中で、施設の持つ専門性をどう地域に還元できるか更なる検討を重ねていきたいと思っています。

1 福祉サービスの質の向上

- (1) 自立支援計画における本人との振り返りと目標設定
- (2) 年齢に応じた個別・複数人(にこまる)での生・性教育の実施
- (3) 家庭復帰と家族再統合に向けての家庭調整及びアフターケアの充実
- (4) 里親支援の充実(レスパイト受け入れ、施設内研修への参加を含む)
- (5) 子育て支援短期利用事業、レスパイトの受け入れ
- (6) 一時保護専用施設の安定的な運営

2 組織体制の強化

- (1) 自己評価の実施
- (2) 業務のICT化によるグループウェアの活用(グループ相互の連携強化と報告、連絡、相談の徹底)
- (3) 児童家庭支援センターあいびーとの連携による人材育成
- (4) 地域との積極的な繋がりを通して相互理解と施設機能の還元

3 人材育成と人材の確保

- (1) 法人内外の研修への積極的参加
- (2) 人事考課の実施、資質向上のための定期面談(0JT、資質向上計画の継続)
- (3) 採用2年次未満職員に対してペアレントトレーニングの実施
- (4) 実習生、ニーズに合ったボランティアの積極的受け入れ

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算執行
- (2) コスト削減、節約意識の徹底
- (3) ICTの積極的な活用と推進

5 食育の推進及び環境問題対策

- (1) 調理体験の充実
- (2) ゴミの分別と資源の有効利用の徹底

2) 運営の概況

今年度、入所定員を40名から30名に変更したと同時に一時保護専用施設を開設しました。開設して2週間後に1名の入所があった以降、順次入所があり現在は入所定員4名一杯となっています。できる限りの準備をしてきましたが、受け入れ体制や児童相談所との連携については検討を継続し、一時保護所としての機能を十分に果たせるよう尽力していきます。

施設においては、刺激の多い集団生活の中で落ち着いて授業に参加できず職員がそばについて見守りを続けています。できるだけ学校に適應できる環境を整え学習機会の確保をしていきたいと思っています。

今年度も職員を増員しました。定期面談を実施していく中で意思の疎通を図ると同時に、個々が持つ不安や疑問を解消し資質の向上を図っていききたいと思っています。

また、ICT化を進め業務の効率化を図っています。書類作成や情報共有が容易に出来る環境が整ったので、有効活用していきたいと思っています。

児童家庭支援センターあいびーとの連携については、自立を控えた子や退所児への支援の協働、里親支援におけるフォスタリング機関との協力体制の構築を図っていきます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指しています。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループ

を3つに分け、更に6つのユニットに分けてきょうだい関係を重視した少人数の縦割りグループによる支援を行います。また、生活上の約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけて、子どもたちの安定した生活につなげています。

一方、学習面では学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行います。希望する中学生は地域の塾へも通っています。その他、地域子ども会やスポーツ少年団への参加をするなど、地域の中での運営・支援を心がけています。

ロ) 基本的目標

○ 法人理念・綱領「合掌深敬の心」を实践し、子どもが将来社会的自立ができるよう援助・支援する。

1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS(笑顔)・G(挨拶)・N(名前)・T(感謝)を实践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」と言える場面を作る。(あなたを必要としています)

ハ) 処遇目標

○ 児童処遇の向上

- (1) 安心して落ち着いた生活が送れるよう支援する。
- (2) 規則正しい生活リズムを作れるよう支援する。
- (3) 個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする。
- (4) 基礎学力の向上、高校進学等への進路の支援をする。
- (5) 自立支援計画に基づいた支援を行う。
- (6) 早期の家庭復帰を目指し、家庭との関係を密にするため、児童相談所と連携し定期的な連絡、面会、帰省等を行う。

ニ) 学習

(1) 目的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。就職・進学への支援。

(2) 内容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・子ども一人ひとりの学力や適性に応じた、就職・進学への計画的な支援の実践。
(個別面談、学習相談、進路相談)
- ・学習塾の活用(中高生の希望者を対象とする)
- ・学習ボランティアの活用

ホ) 環境(安全・保健・環境)

(1) 目的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

(2) 内容

- ・清潔感を養う(手洗い・歯磨きの習慣化。居室の整理整頓、清潔な服装、入浴の徹底等)
- ・定期保菌検査の実施
- ・毎日の清掃の徹底
- ・非常時(火災、地震)対策、訓練の実施
- ・交通安全の大切さを知る(自転車の乗り方の指導、通学路の確認等)
- ・草花の栽培

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) センター会議 …… 月 1 回
- (2) 食育会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース会議 …………… 月 1 回
- (4) 職員会議 …………… 月 1 回
- (5) 運営会議 …………… 月 2 回
- (6) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内の消毒 …………… 毎 日
- イ. 便所消毒 …………… 毎 日
- ウ. 寝具消毒 …………… 随 時

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施
(本園嘱託医により) … 6月26日(未就園児)、2月19日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 随 時
- エ. つめ切り …………… 随 時
- オ. 下着交換 …………… 毎 日
- カ. 入浴 …………… 毎 日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施(月1回)
- イ. 火災報知器の検査(アース防災櫛) …………… 令和6年9月5日、令和7年1月10日

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施(月1回)・不審者対応(年2回)
- イ. 登下校時の送迎(小学生)
- ウ. 交通安全指導
- エ. 環境整備(毎月末の土曜日)

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 平日(日曜日はなし)

- 小学生: 帰園後
- 中高生: 自主学習(個人のレベルに合わせて)
中高生の希望者においては塾を利用する。

2. 場 所 …… 居室・ダイニング

3. 学校の準備、後片付けの徹底。

◎生活支援について

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、生活の中に家庭的な雰囲気が感じられ、安心できる場所を与えられるよう、個別に月間生活目標を作成し、支援を行う。また、地域社会の一員として自立し、自信を持って生活ができるよう、長期計画的な視点で自立支援計画を作成する。

1. 児童の小遣いについて(毎月1日支給)

- ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。
- ・貯金の励行(通帳の作成)
- ・用途は自主性を尊重し、計画的に自由に使えるよう配慮する。

2. 誕生日について

- ・事前に準備したプレゼントとグループ職員が作成した誕生日カードを当日に渡す。
- ・グループ職員が誕生日カードを作成する。
- ・誕生会
誕生者のいる各ユニットでその都度行い、誕生者の希望するメニューを準備し祝う。

3. お年玉について

- ・お年玉
元日の朝、施設長から在籍児童へ渡す。

4. 子ども会議の育成

- ・児童の自主性や主体性を養うことを目的に、グループ毎に行う。
- ・児童と職員が一緒に年間行事等の協議・検討を行う。
- ・意見箱を設置する。

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:00	起床・洗面 朝食		16:00	帰園(小学生) 学習	
7:00	登校(小学校7:10) 登園(幼稚園8:35)	起床	18:00	夕食	夕食
8:00	登校(中学校7:40)	朝食	19:00	テレビ視聴 入浴	テレビ視聴 入浴
12:00	昼食 帰園(幼稚園)	昼食	20:00	就寝(幼児)	就寝(幼児)
14:00			21:00	就寝(小学生) 自主学習	就寝(小学生) 自主学習
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝(中学生)	就寝(中学生)

6) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	3	10	4	1	5	4	3	1	1	4	3	2
保 菌 検 査 (児 童)						5				9		
保 菌 検 査 (職 員)	4	2	6	4	1	5	3	7	5	9	6	6
安 全 管 理 点 検	24	22	26	17	28	25	23	27	16	22	26	19
非 常 時 避 難 訓 練	27	25	22	27	24	28	26	23	21	25	22	8

7) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	5	入園入学を祝う会	10	3. 28. 29	誕生会(大地, 青空)
	6	茨児協ドッジボール大会		11	料理作り
	4. 9. 22. 26	誕生会(大地, 青空)		12	幼児レク(岡野果樹園)
5	4	バーベQ	11	13	Gレク(青空) 海浜公園
	25	誕生会(太陽)		14	Gレク(太陽) ハワイアンズ
	24. 25	外食(大地)		18. 21	外食(青空)
6	27	料理作り	12	4	料理作り
	1	幼児レク(神峰公園)		10. 19	外食(太陽)
	20. 25. 26	誕生会(大地, 太陽, 青空)		10	七五三祝い
7	18. 23. 26	外食(青空)	1	16. 30	Gレク(大地) カラオケ, 果物狩り
	29	Gレク(太陽) ハワイアンズ		6. 23. 25. 28	誕生会(大地, 青空, 太陽)
	1. 4. 9. 16. 17. 18. 20.	誕生会(大地, 太陽, 青空)		23	ディズニーレク
8	15	お菓子作り	2	5	外食(幼児)
	29, 30	太陽外食		7	料理作り
	25~27	幼児・小学生キャンプ(潤沼)		21	Gレク(青空) ハワイアンズ
9	28	外食(幼児)	3	25	クリスマス会
	1	茨児協ソフトボール大会		21. 22	誕生会(大地)
	8~10	中高生キャンプ(潤沼)		28	もちつき
1	6	誕生会(青空)	1	2. 3. 4. 8	初詣(笠間)
	6	料理作り		9. 26	誕生会(大地, 太陽)
	13. 16. 20	プール		13	料理作り
2	18	夏祭り	2	18. 25	外食(大地)
	4. 5. 9. 12. 20. 28	誕生会(大地, 青空, 太陽)		28	誕生会(青空)
	16	料理作り		2	節分
3	28. 29	Gレク(青空) ボーリング	3	11	おやつ作り
				13	誕生会(青空)
				22	Gレク(青空) 神峰公園
4			4	4. 6. 27. 28	外食(青空)
				27. 28	外食(大地)
				3	ひな祭り
5			5	8~9	スキー
				15	卒業を祝う会
				20	料理作り
6			6	14. 23. 26	誕生会(大地, 太陽, 青空)
				29. 30	外食(太陽)

8) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	園長	事務	指導員	保育士	セラピスト	調理員等	計
県・社協			4	3	1		8
団体	3	1	11	16	4	3	38
法人・施設	14	14	178	190	15	30	441
計	17	15	193	209	20	33	487

2. 児童構成 (R7.3.31現在)

区分	未就学児						小学生						中学生						高校生			他	計	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3						
男			1	1		2		2	1				1	1	3		1							13
女			1		2				1		2	2	2	1			1	2	1	1	1			16
計			2	1	2	2		2	2		2	2	3	2	3	1	3	1	1	1				29

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	39 [1]	38	39	39	39	38	36	37	36	34 [2]	33	33	441
入所 うち()は初日入所		1					1			1			3
退所 うち()は初日退所	1				1	1	1 [1]	1	2	2		4	13
月末在籍	38	39	39	39	38	37	37	36	34	33	33	29	432

4. 入所理由別表

入所理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. // 行方不明	1		1
3. // 離婚			
4. // 不和			
5. // 拘禁			
6. // 入院			
7. // 就労	1		1
8. // 精神疾患等	3	2	5
9. // 放任・怠惰	4	4	8
10. // 虐待・酷使	6	10	16
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由		3	3
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他	5	3	8
16. 不詳			
合計	20	22	42

5. 退所理由別表

退所理由	男	女	計
1. 自立(就職)	2	2	4
2. 進学(大学・専門学校)		1	1
3. 措置変更	2	1	3
4. 家庭引取り	3	2	5
合計	7	6	13

6. 在籍期間 (R7.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
3	12	4	7	3	29

7. 一時保護入所状況

実人数 13名
延べ日数 137日

8. ショートステイ受入状況	トワイライトステイ受入状況
実人数 25名	実人数 0名
延べ日数 169日	

9. レスパイト受入状況
実人数 5名
延べ日数 39日

10. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施
年1回記述アンケートにより実施

1. 食費 1日当り 689円
2. 熱量 2,187 Kcal (基準 2,057 Kcal)
3. たん白質 77.2 g (基準 66.8g~102.8g)
(学校給食の平均値含む)

入園理由別総計表（内原和敬寮）

入園理由	平成15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡			1	1	1					1	4
" 行方不明	4	9	7	8	2	2	2	2	2	2	40
" 離婚・就労					2	1	1				4
" 傷病・入院	2	10	8	6	7	6	7	4	3	2	55
" 精神疾患	4	2	3	4	2	4	8	12	9	8	56
" 受刑	5	15	9	8	7	7	5	1	1	1	59
" 被虐待・被冷遇	12	17	17	19	19	18	21	20	21	19	183
その他の	14	5	2	3	5	6	6	5	4	1	51
小計	41	58	47	49	45	44	50	44	40	34	452

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	合計
父または母の死亡	1	1	1	2	2	1	1						9
" 行方不明	2	2	2	1	1						1	1	10
" 離婚													-
" 不和													-
" 拘禁	3	2		1	1	1	1						9
" 入院	2	2	2										6
" 就労	1	2	1	3	4	4	2	1	1	1	1	1	22
" 精神障害	8	7	7	7	6	5	3	3	3	5	6	5	65
" 放任怠惰	9	11	9	11	13	14	11	10	9	8	7	8	120
" 虐待	12	13	11	13	12	12	22	25	24	27	18	16	205
棄児													-
養育拒否	2	2	2	2						1			9
破産等経済的理由								2	2	3	3	3	13
児童の監護困難	1												1
その他の	1	4	10	7	6	3	2	2	3	4	7	8	57
不詳													-
小計	41	47	45	47	45	40	42	43	42	49	43	42	526

※平成25年度より集計項目変更

1 1. 児童養護施設 つくば香風寮

1) 令和7年度運営計画

昨年度は、分園型小規模施設の開設に向けたワーキングチームや、性教育委員会の活動を積極的にを行い、施設全体としては落ち着いた1年となりました。入所は常にほぼ満床の状態が続き、ショートステイをお断りせざるを得ない状況がありました。こうした現状を踏まえ、令和7年度はより具体的な課題解決に向けた取り組みを進めてまいります。

まず、分園型小規模施設ワーキングチームの活動をさらに具体化し、運営方針や体制整備を進めます。また、児童養護施設の地域支援の形をより推進し、地域と連携した支援のあり方を模索していきます。

入所児に対しては、引き続き安心感を持てる温かい暮らしを提供し、個々の背景を理解した丁寧な養育を心掛けます。また、アフターケアの一環として、つくば香風寮としては開設後初となる、同窓会を11月に開催を予定しております。施設の役割と責任を果たしながら、地域と共に子どもたちの健やかな成長を支えていきます。

1 施設提供サービスの向上

- (1) 家庭的養育と心理支援的養育を柱とした、安心感のある生活の提供
- (2) アセスメントの強化による子どもと家族の理解
- (3) ペアレントトレーニングを取り入れた養育技術の標準化
- (4) 施設の強みを活かした専門的地域支援
- (5) アフターケアの一環として同窓会の開催
- (6) 分園型小規模グループケア開設に向けた具体的な準備
- (7) 性教育委員会、SNSワーキングチームの活動強化

2 人材育成

- (1) 施設内外の研修の計画的参加（施設・職員の課題に即した研修計画）
- (2) 人事考課制度の継続実践
- (3) 実習生の積極的受け入れと実習プログラムの体系化
- (4) 県内他施設との職員交換研修

3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 施設内虐待に関する理解と予防への取り組み
- (3) 職員の意見・考えを積極的に運営に生かす取り組み
- (4) 人材定着のための業務改善と職場環境整備
- (5) 自己評価の実施

4 財政基盤強化

- (1) 物価上昇等の社会情勢を踏まえた予算見直しと執行
- (2) コスト意識、節約意識の徹底
- (3) グループウェアを生かした業務効率化

2) 運営の概況

令和6年度は、1年を通して大きな変動もなく、比較的落ち着いた運営が続きました。児童の急な退所はなく、安定した環境のもとで日々の生活を支えることができました。また、入所率は年間を通じて非常に高く、市町村からのショートステイの打診をお受けすることが難しい状況が続きました。このことから、地域における社会的養護のニーズの高さが伺えます。

進学や自立支援においても順調に進み、子どもたちはそれぞれの新しい生活へと踏み出しました。また、令和8年度の開設を予定している分園型小規模グループケアについては、ワーキングチームを中心に準備を進めています。今後も、よりきめ細やかなケアの提供を目指し、施設の充実に努めてまいります。

職員の退職もなく、安定した体制で子どもたちの生活を支えられたことは、大きな成果のひとつです。職員の定着は業界全体の課題であり、子どもたちの「安心感」にとって、重要な要素となります。

今年度も引き続き、職員同士が支え合いながら、やりがいのある職場づくりを進めていくとともに、子どもたちに「安心感のケア」を届けていくことを目指してまいります。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活支援において「受容・共感」「支持」「教示」を援助の基本とする。安心と安全の維持に最大限努力し、その子ども一人ひとりの健全な自己実現の助けとなる自立援助を目指す。また、子ども達の意味や選択が反映されたより家庭的な生活支援の実現を目指す。さらに、

子ども達の生活支援を地域の暮らしの中で実践し、それらを通して権利擁護意識の啓発、地域児童福祉への専門性の還元を視野に入れながら、地域と一体となった施設運営を目指す。

具体的には、子どもの生活基盤を4つのユニットに分けた少人数の縦割りで支援し、生活を支援する職員のグループを2つとした支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員と一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がける。さらに地域子ども会やスポーツ少年団への参加など地域の中で運営・支援していく。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、子どもが将来、社会的自立ができるよう援助指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
 - (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
 - (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
 - (3) 将来、社会的自立ができる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

ハ) 処遇目標

1. 児童支援の向上

- (1) 日常生活支援の徹底 (社会的、知的及び情緒的自立ができる子どもの育成)
- (2) 個性尊重 (その子の個性を尊重し、固有の良い面を伸ばす。)
- (3) 基本的生活習慣の獲得 (基本的生活習慣を獲得しその維持と自立を目指す。)
- (4) 落ち着いた生活維持 (寮内生活の基本ルールの遵守、自分を大切にし他人の権利を侵害しない。)
- (5) 清潔な環境づくり (整理整頓や清掃、物を大切に扱う習慣を身に付けることができるよう支援する。)
- (6) 努力する心育成 (スポーツ指導や情操教育を通して努力する心、集中力、忍耐力、持続力を養う。)
- (7) 子ども自身の参画 (子ども自身が寮内生活を創っていく心を育てる。)
- (8) 潤いのある生活 (安全と衛生面に留意した、安心で潤いのある生活環境を整える。)

ニ) 学 習

(1) 目 的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。その子の特性や固有の力に応じた進学適正、就業適正を網羅した知的自立支援を行う。

(2) 内 容

- ・落ち着いた学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う
- ・基礎学力を養成し学習効果を高める。高校受験の特別支援
- ・計画的な進路相談を実践する (面談、学習支援、進路相談)
- ・心理士の助言による進学適性、就業適性を踏まえて、学習支援と児童の発達状況に応じた支援を展開する

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

(1) 目 的

- ・子どもが安全に安心して明るく生活できる環境を作る

(2) 内 容

- ・手洗い、消毒の習慣化、清潔感を養う (服装、身体)
- ・季節性感染症対策の徹底
- ・健康診断、定期保菌検査の実施
- ・環境整備 (施設、補修、整備、整理整頓、毎日の清掃)
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底 (自転車点検、補修、通学路の確認)
- ・環境美化活動 (子ども自身が安全面に配慮する、寮内外の環境美化、地域への奉仕活動)

へ) 情 操

(1) 目 的

・園芸や作物づくりなど土に触れる体験を通して、豊かな情緒を育む。

(2) 内 容

・敷地内への樹木、草花の植栽

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 職員会議 月 1 回
- (2) グループケース会議 月 1 回
- (3) 運営会議 月 1 回
- (4) 連絡会議 毎日 8:40及び13:15
- (5) 里親支援会議 月 1 回
- (6) 調理員会議 月 1 回
- (6) 心理支援会議 月 1 回
- (6) つくば地区心理職会議 月 1 回
- (7) 施設内研修 月 1 回
- (8) 家庭支援会議 隔月 1 回：内原地区担当者との合同会議
- (9) リスクマネージャー会議 隔月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 月 1 回
- イ. 寝具日光消毒 好天日随時
- ウ. 浴場消毒 毎 日
- エ. トイレ消毒 週 1 回
- オ. 食器消毒 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 学校保健法に準じて実施
(嘱託医による・・・6月・12月の嘱託医来訪健診の他、随時医院にて実施。全児年間2回)
- イ. 身体測定 月 1 回
- ウ. 散髪 随 時
- エ. つめ切り 週 1 回
- オ. 下着交換 毎 日
- カ. 入浴 毎 日
- キ. 児童保菌検査 月 1 回
- ク. 職員保菌検査 月 1 回

(3) 安 全 管 理

建物設備等点検…業者委託（総合建物サービス株式会社、（株）NEW NEXT CLEAN）

- ア. 空調機保守点検（年2回） 5月 11月
- イ. 換気設備保守点検（年2回） 5月 11月
- ウ. 受水槽清掃・水質検査（年1回） 6月
- エ. グリストラップ清掃（年2回） 6月 12月
- オ. 消防設備点検（機器点検・総合点検） 5月 11月
- カ. 巡回設備点検（年2回） 5月 11月
- キ. ダムウェーター点検（年6回） 奇数月

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 避難訓練・・・月1回
- イ. 登下校時の送迎
- ウ. 環境整備・・・毎日（朝の連絡会議終了後）、月1回の環境美化活動
- エ. ヒヤリハットレポートによる未然事故の予防検討：毎月職員会議内にて
- オ. アルソックによる警備システム配備

5) 児童の支援計画

◎学習支援について

1. 学習時間

平日：帰寮後 土曜日：個々の適正、課題、達成目標に応じて

2. 内 容
 - ・基礎学力養成のためドリル学習（小1～中3）
 - ・学生ボランティアによる個別指導の活用
 - ・中学生以上は原則として学習塾を利用し、学力向上を目指す
 - ・進路相談：面接 中学3年生 随時（グループ長）
 中学1・2年生 随時（フロアー担当者）
 - ・進学適正、就業適正に関する助言（心理士）
3. 場所について
 - ・各ユニットにて実施（居室・食堂）
4. 学校の準備、片付けの徹底

◎生活支援について

1. 生活指導訓練費（小遣い）
 - ・小遣い帳を記入し金銭管理を教える
 - ・貯金の励行
 - ・有効な小遣いの使い方指導
2. 誕生日
 - ・誕生会は各ユニットで実施。希望の夕食を提供し、それぞれに家庭的な雰囲気の中で実施するよう心掛ける
3. お年玉
 - ・全児童に対して支給する

6) 週間予定及び日課

1. 週間指導目標

日	衛生面確認（頭髪、爪、耳垢等） ※随時
月	登校児の確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章、防犯ブザー等） ※毎日
火	入浴マナーの確認 ※随時
水	環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃、消毒等） ※随時
木	安全確認 ※随時
金	上履き、靴洗い
土	基礎学力養成 ※毎日

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床・洗 面		15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝 食	起 床・洗 面	18:00	夕 食	夕 食
7:30			19:00	入 浴	入 浴
7:45	登 校(小中学生)	朝 食	20:00	幼児就寝	幼児就寝
8:00			22:00	消 灯・就 寝	消 灯・就 寝
8:15	登 園(幼稚園)				
12:00	昼 食	昼 食			

7) 職務分掌

1. 生活支援
 - 子どもの意見反映 家庭との連携 関係機関との連携 地域交流
2. 適正支援
 - 基礎学力養成 知的自立支援（リーダー、心理士）
3. 環境（安全、保健、環境）整備
 - 避難訓練 連絡通報担当 初期消火担当 避難誘導担当 応急救護担当 保健担当
 - 書類搬出担当 安全点検 自転車点検 公用車管理 環境美化活動
4. 会 議
 - 職員会議 ケース会議 運営会議 施設内研修 会議録管理
5. 物品及び予算管理
 - 小口現金 教育費 教養娯楽 被服寝具 日用品 教育教材 保健衛生 事務用品
6. 係
 - 個人情報管理者 処遇システム管理 研修委員 情報公開委員 親睦会
 - 学校関係 子ども会 学習塾 スポーツ少年団 県南西8施設研修 人材育成

〈茨児協関係〉研修部
 〈行事関係〉 個別レク 夏休み係 冬休み係

8) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
保菌検査(児童・職員)	3	8	5	3	7	4	11	6	4	10	5	5
安全管理点検	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	30
非常時避難訓練	25	11	27	13	28	14	21	9	14	11	8	8

9) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	13、30	誕生会	10	29	誕生会
5	21、22、23	誕生会		5、27	グループレク、デイキャンプ
	5、12	こどもの日、母の日	12、19	幼児レク	
6	25	個別外出	11	16	グループレク
	9、10、14	誕生会		23	七五三
7	16	父の日	12	7	誕生会
	8、15	幼児レク		26、30	個別外出
8	5、9、26	誕生会	1	24、25	クリスマス会
	6～7	グループレク(温泉)		28	餅つき
9	22	個別外出	2	2、27	誕生会
	13、18、27	誕生会		6、7	初詣
10	5～6、19～20	女児キャンプ、男児キャンプ	3	6、10、18	誕生会
	15、24、25、29	グループレク、個別外出		2、8	個別外出
11	9、13、16	誕生会	12	3	ひな祭り
	8、23	個別外出		21	グループレク
				30、31	誕生会

10) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	指導員	保育士	心理士	調理員等	計
県・社協	1	2	10	11	1		25
団体	5	2	34	16	8		65
法人・施設	12	10	140	111	18	1	292
計	18	14	184	138	27	1	382

2. 児童構成(R7.3.31現在)

区分	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男	0	0	1	0	2	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	13
女	0	0	1	2	1	3	0	1	1	0	1	1	0	0	3	1	0	1	0	16
計	0	0	2	2	3	4	0	2	3	2	1	1	0	0	3	4	1	1	0	29

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	27	28	29	29	29	29	30	30	30	30	29	29	349
入 所 うち()は初日入所		2 (1)					1 (1)					1	4
退 所 うち()は初日退所										1		1	2
月末在籍	27	29	29	29	29	29	30	30	30	29	29	29	349

4. 入寮理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明	2		2
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁		1	1
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	3	4	7
9. " 放任・怠惰	4	5	9
10. " 虐待・酷使	5	5	10
11. 棄児	1		1
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他		1	1
合 計	15	16	31

5. 退寮理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）	1		1
2. 進学（大学・専門学校）			
3. 措置変更			
4. 里親委託		1	
5. 家庭引き取り			
6. その他			
合 計	1	1	2

6. 在籍期間（R6.3.31現在）

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
3	12	4	6	4	29

7. 一時保護受入状況

実人数 12名 延べ日数 199日

8. ショートステイ受入状況

実人数 5名 延べ日数 14日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施（お誕生日メニュー）
令和6年10月在籍児童に嗜好調査アンケート実施
（アンケートについて年少児童は職員の介助による。）

- 1. 食 費 1日当り 772 円（原材料費）
- 2. 熱 量 1,928 Kcal（基 準 1,892 Kcal）
- 3. たん白質 61.7 g（基 準 43.1～82.0 g）

入園理由別総計表（つくば香風寮）

入園理由	平成23	24	合計
父または母の死亡	1	1	2
〃 行方不明			-
〃 離婚・就労	7	7	14
〃 傷病・入院		1	1
〃 精神疾患	2	2	4
〃 受刑	5	3	8
〃 被虐待・被冷遇	12	17	29
その他・未成年等			-
計	27	31	58

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	合計
父又は母の死亡					1	3	2	2	2	2	2	2	0
〃 行方不明													16
〃 離婚	4	3	3	3	1	1							15
〃 不和	1			1	2	1							5
〃 拘禁	3	5	4	3	3		3	3	3	4	2	1	34
〃 入院			1	1	1	1	2	2					8
〃 就労													0
〃 精神疾患等	7	6	4	2	3	4	5	5	6	5	6	7	60
〃 放任・怠惰	3	6	4	6	7	9	9	11	8	9	9	9	90
〃 虐待・酷使	5	11	12	13	14	6	7	7	10	11	15	10	121
棄養			1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	11
養育拒否		1		1	1	3	2						8
破産等の経済的理由	1			1									2
児童の問題による監護困難	1						1						2
その他の計	1	2	1		2		2	1	1	1	1	1	13
計	26	34	30	32	36	30	34	32	31	33	36	31	385

※平成25年度より集計項目変更

12. 乳児院 同仁会乳児院

1) 令和7年度運営計画

今年度から「茨城県社会的養育推進計画」の後期計画期間に入ります。茨城県は将来の推計人口をもとに子どもの数を算出し、令和11年の代替養育を必要とする子どもの見込み数を187人（3歳未満18名、3歳以上就学前35名、学齢期以降134名）としています。昨年高萩市で生まれた子どもの数は84名ということで少子化は待ったなしの社会問題です。県は少子化の中で乳児院がこれまで培ってきた専門性を地域の社会的養育を支える拠点として期待しています。施設内養育のみならず様々な子育て支援の受け皿として市町村と協働し子育て支援、地域支援をしていかなければなりません。

また、医療的ケアや障がいのある乳幼児の受け入れや特定妊婦の相談等も視野に入れ、多機能化、高機能化を進めていく必要があると思います。さらに子ども達が家庭に近い環境の中で様々な体験をすること、一人ひとりの発育、発達にあった支援を行うことなど小グループケアの良さを生かした支援を行い、職員の専門性、資質向上に努めてまいります。

1 福祉サービスの向上

- (1) アタッチメントを基盤に子ども達の安心、安全基地となる支援の強化
- (2) 社会性を育める日常生活体験の充実（買い物、外食、調理体験等）
- (3) 地域子育て支援、在宅支援への協力（栄養士、心理士、保育士、看護師の派遣）
- (4) 保護者の養育向上のための宿泊訓練の実施
- (5) 里親支援の充実

2 組織体制の強化

- (1) 支援における職員相互の共有と理解（報告、相談、連絡の強化）
- (2) 同仁会乳児院独自の権利憲章の作成をめざし、職員一人ひとりの意識を高める
- (3) 第三者評価における自己評価の実施
- (4) 各種記録のICT化で業務の効率化を図る

3 人材育成

- (1) 園内研修の充実と外部研修への積極的参加
- (2) 人事考課の継続実施
- (3) 次世代リーダーの育成
- (4) さくらの森乳児院、同仁東保育園、くれよんクラブ高萩との研修交流

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 時間のコスト意識や節約意識の徹底

2) 運営の概況

昨年度は入所児8名、退所児9名、一時保護児24名でした。一時保護から入所になったケースは5名であり、家に戻っているケースが約半数でした。このことから在宅支援、地域支援の必要性の実態が見えてきます。

また、退所児童9名のうち家庭復帰が4名、里親委託が3名、児童養護施設への措置変更が2名でした。

子ども達の移行にあたっては、分離体験を最小限にするための交流、外泊など計画的に実施し無事に送り出すことが出来ました。

今年度は職員の増員もあり、ケアニーズの高い子どもへの支援、市町村との連携・協働、職員研修など充実が図れると考えています。この一年も子ども達の安心安全のために保護者や関係機関の皆様と一体となり支援をしてまいります。

最後にAmazon「乳児院支援プログラム」について特筆しておきたいと思います。このプログラムをきっかけに多くの方々から支援をいただいております。関心の広がりを感じています。感謝をすると共にさらに乳児院について理解を深めて頂けるよう一層の努力してまいります。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

子ども達の生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力していきます。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別対応の養育を行います。
2. 子ども達がよりよい生活を送ることができるよう、環境の整備を行います。
3. 家庭支援専門相談員を中心に、子ども・家庭・地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行います。
4. 心理療法担当職員による専門的な関わりや、家族の心理的不安の軽減に努めます。
5. 里親支援専門相談員を中心として、地域の里親支援を行います。
6. 職員の研修機会を多くし、子ども達の処遇向上に努めます。
7. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行います。

ロ) 基本的目標

法人理念 「合掌深敬」 感謝と共生の心

法人理念・綱領を実践し、乳幼児が養育者と共に、時と所を共有し、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に豊かな人間関係を培い、社会の一員として参画できる基礎作りを目指します。

ハ) 養育目標

1. 基本的生活習慣の確立 …… 個々の発達段階をふまえて一貫した養育を行う。
 - 0 才 児 …… ミルクの自律栄養、離乳食（食べる意欲の基礎づくり）、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
 - 1 才 児 …… 食事の練習（スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる）、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への意識づけ。
 - 2 才 児 …… 食事の自立（食の体験を広げる）、言語の獲得（単語より二語文へ、また会話が出来る）、排泄の自立に向けての練習、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。
 - 3 才 児 …… 食事は自立するが個人差や偏食がでやすいので楽しい雰囲気を心がける。
 自我も確立する時期（個々の興味や自発性を大切にする）
 自分の気持ちを伝えられるようになり、相手の気持ちも分かるように職は仲立ちとなる。
2. 基礎体力の増進 …………… 身体の鍛練をする。
 ベビーマッサージや乳児体操の実施と外遊び、薄着の習慣付けをする。
3. 情緒の安定
 落ちついた環境でおだやかな働きかけを行い、基本的欲求を満たす。
 社会生活への適応性の涵養に心がける。
4. 生活支援
 基本的生活習慣を身につけると共に、子どもの持っている素質を充分にのばす。

4) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|--------------|----------------|--------------------|--------------------|
| 1. 被服(寝具等含む) | 2. 日用品 | 3. 保健衛生 | 4. 教養娯楽 |
| 5. 消耗品 | 6. 環境製作(手作り玩具) | 7. 器具・什器 | |
| 8. 環境美化 | 9. 環境整備 | 10. 院車管理 | 11. 防火管理 |
| 12. ボランティア | 13. 事務用品管理 | 14. 実習生指導 | 15. パソコン担当 |
| 16. 諸記録用紙管理 | 17. 親睦会 | 18. 給食(ミルク、おやつ等管理) | |
| 19. 県内乳児院連絡会 | 20. ブログ担当 | 21. 保護者会担当 | 22. 茨城県児童福祉施設協議会担当 |

2. 職員会議

1. 職員会議（管理・運営全般・・・月1回）
2. 運営会議（管理・運営全般・・・月1回）
3. 養育会議（ケース検討、保育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回）
4. 給食会議（献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回）
5. ユニットリーダー・サブ会議（各ユニットのケース検討、保育内容等・・・月1回）
6. 全ユニットリーダー・サブ会議（全ユニットの情報交換等・・・年4回）
6. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
7. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・年6回）
8. 五者会議（家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員、看護師、心理士・・・月1回）

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
 - 月例健診・・・月1回（嘱託医 滝 有希子先生）
 - 検 便・・・年2回（株式会社 江東微生物研究所）
 - 乳幼児健診・・・随 時
 - 入所時健診・・・ 〃
2. 身体計測の実施 … 月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）
3. 身体衛生の実施 （入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨、整髪）
4. 環境衛生の管理 （便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消 毒、室温湿度調節、換気、防虫）
5. 感染予防 （感染源との隔離、消毒） 24時間換気機能とオゾン発生装置を利用
6. 鍛 練 （薄着の励行、乳児体操、ベビーマッサージ、外気浴、体育遊び等）
7. 安全な環境の確保と十分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき、ヒヤリ・ハットの記録と検証）
10. 院内外危険箇所等の確認及び保全点検 …………… 月1 回
11. 非常時（火災・地震）対策・訓練の実施…………… 月1 回
12. 不審者対応訓練の実施 …………… 年1 回

13. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約

14. 建物設備等点検 … 業者委託

- ② 自動火災報知器の検査（作業検査）…………… 年1回
- ③ 非常通報装置の点検 ……………… 年1回
- ④ ガス湯沸器清掃点検 ……………… 年2回
- ⑤ スプリンクラーの点検 ……………… 年1回
- ⑥ エレベーターの点検 ……………… 月1回
- ⑦ ウォーターサーバーの点検 ……………… 年2回

5) 養育の展開

①担当制

担当は入所から退所まで原則として変えない。

担当者は担当児との愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。

②指導計画・自立支援計画

子どもの成長、発達を支援するため、アセスメントシートを活用し、担当者が毎月、月目標と留意点を作成し、ユニット会議で関わり方など話し合い、養育会議でカンファレンスを行う。

③健康管理

嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

④生活

ユニットごとの活動を中心にして、個別的な対応を多く持つなど工夫する。

より家庭的な暮らしを心がけ、子ども達と一緒に洗濯や食事作りなどの経験を増やしていく。

養育手順マニュアルに沿った養育をする。

⑤日中の保育の充実

年間保育目標（別表）月案、週案に基づきつつ、ユニットごとにその日の保育内容を決めて行う。

⑥年間保育行事計画に基づく行事（別表）

⑦定期的行事

- ・肥前山へのお参り…入所後の健やかな成長を祈願する。1か月未満児はお宮参りを兼ねる。
- ・お食い初め……生後3～4ヶ月の間
伝承行事。一生丈夫で、また、食べ物に困らないようにという願いを込めて行う。
- ・誕生会……誕生日を迎えたその日にみんなでお祝いをする。また、満1歳の誕生児には一升餅を背負わせお祝いをする。
- ・スキンシップデー…… 該当月（担当職員と1日、1対1で過ごす）
 - 《1歳》
担当者と1対1でスキンシップを図る。
 - 《1歳6か月》
社会体験の一つとして担当者と外出し、公園で遊んだり散歩をしたりしてスキンシップを図る。
 - 《2歳・2歳6か月》 ※3歳超過児は半年ごと
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、担当者と外出しバスや電車の体験・レストランでの食事・図書館やお店の見学・おもちゃの買い物などを体験させる。
- ・食育
家庭的な雰囲気の中で簡単なおやつや、食事を作り、手作りの楽しさやおいしさを味わう。
また、野菜や果物の原物を見たり、触れたりすることで食べる意欲を高める。栄養士による企画は、季節ごとに年4回実施。
- ・買い物体験……行けるときいつでも
家庭復帰に向けた社会経験の一つとして、各ユニットの子ども達を対象に自分でお金を払って物を買う体験をさせる。併せて、その体験を通し満足感を味わうとともに、物を大切にする気持ちを養う。
- ・ハッピーデー……2～3か月に1度実施
時間に制約されず十分に遊び、軽い食事をする。
- ・外食体験……年6回
レストランでの外食体験を楽しむ。
- ・臨海学園、同仁会子どもホームとの交流
学園の幼児とは日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては積極的に交流の場を設ける。
- ・地域子育て支援への参加
同仁会地域子育て支援事業に参加し、地域の親子と交流する。
キフトにて保育士によるベビーマッサージ講座、栄養士による離乳食、栄養指導、3歳児健診、すこやか健診への心理士派遣
- ・子ども食堂への協力
- ・保護者会
子どもの日、縁日の行事に参加してもらい、職員との交流を図る。

- ・励ます会
乳児院から巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。
- ・いとの会
乳児院を退所した子ども達や保護者等との交流と支援の繋ぎを図る。

⑧日 課

時間	ほし、つき	そら、にじ	時間	ほし、つき	そら、にじ
6:00	起床 検温・着替え	起床 検温・着替え	14:00	起床 検温	起床
7:30	授乳 自由遊び	朝食 自由遊び	14:30	授乳・離乳食	間食
9:15	職員朝礼	職員朝礼	15:00	入浴	あそび
9:30	授乳 離乳食	間食	16:00	あそび	あそび
10:00	あそび	あそび	17:00	職員終礼	職員終礼
11:30	授乳	昼食	17:30	あそび	夕食
12:00	午睡		18:30	授乳	入浴
12:30		午睡	19:00	就寝	
			20:00		就寝
			23:00	授乳	

*授乳は自律栄養を心がける

6) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
月例健診	19	17	14	12	9	13	18	15	20	17	14	14
児童・職員の保菌検査	8	13	10	8	5	17	7	11	9	14	10	10
安全管理点検	16	1	19	24	22	10	8	15	4	12	17	13
非常時避難訓練	16, 24	30	19	6	6	12	23	19	25	30	15	27

7) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	10、26	院外保育（かみね公園）	10	7、10	院外保育（福祉センター）
	19、30	スキンシップデー		23	誕生会
	18	誕生会		23	院外保育（かみね公園）
5	5	こどもの日の集い、初節句	11	17、24	スキンシップデー
	7	スキンシップデー		31	ハローウィン
	21、24	院外保育（福祉センター）		31	励ます会
6	4、6	外食体験	12	7、22、28	誕生会
	13、26、29	誕生会		12、16、25	スキンシップデー
	7、10、26	励ます会		12、15	七五三
	18、20	院外保育（アクアワールド）		25	励ます会
7	25	スキンシップデー	1	14	誕生会
	7	七夕の集い		23	クリスマス会
	15	誕生会		2、17、27	スキンシップデー
	19	励ます会		27	餅つき
8	27	高萩まつり	2	9、8	初詣、外食体験
	3、4、24、29	スキンシップデー		14	お食い初め、お宮参り
	8、10	外食体験		20	誕生会
9	28	花火大会	3	21、28	スキンシップデー
	4	院外保育（ハレニコ）		2	節分
	9	院外保育（シーマークスクエア）		3	スキンシップデー
9	18	誕生日	3	11	誕生会
	20、24	スキンシップデー		19、26	いちご狩り
	28	縁日		3	ひな祭り、初節句
				3、16	誕生会
				13	スキンシップデー
				24	お楽しみ会
				27、31	励ます会

8) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	院長	事務	看護師	保育士	指導員	FSW	里親支	栄養士	心理士	調理員	計
団体	2		2	16	1	1		1	2		25
県社協・県北・茨児協	1	2	1	23		2	1	2	4	2	38
法人・施設	10	4	19	155	11	10	11	11	11	4	246
計	13	6	22	194	12	13	12	14	17	6	309

2. 児童構成 (R7.3.31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	1	4	2				7
女	1	5	2	1			9
計	2	9	4	1			16

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	16	16	16	14	14	15	16	15	14	16	17	18	187
入 所 うち()は初日入所				2 (1)	1		1 (1)		2	1	1		8
退 所 うち()は初日退所			3	1			1	1				3 [1]	9
月末在籍	16	16	13	14	15	15	15	14	16	17	18	16 [1]	186 [1]

4. 入院理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡	1		1
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁			
6. " 入院			
7. " 就労			
8. " 精神疾患等	2	2	4
9. " 放任・怠惰			
10. " 虐待・酷使	8	5	13
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由		4	4
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他(育児能力 若年出産等)	2		2
16. 不詳			
合 計	13	11	24

5. 退院理由別表

退 院 理 由	男	女	計
1. 親元解除	4		4
2. 里親委託	2	1	3
3. 措置変更	1	1	2
4. その他			
合 計	7	2	9

6. 在院期間 (R7.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
6	9	1		16

7. 一時保護入所状況

延べ人数 24名
延べ日数 812日

8. ショートステイ受入状況

延べ人数 21名 (東海村、ひたちなか市、高萩市)
延べ日数 46日

9. レスパイトケア

延べ人数 0名
延べ日数 0日

10. 栄養摂取状況

1. 食費 1日当たり 650円
2. エネルギー 1,151Kcal (基準 900~1,300Kcal)
3. たん白質 37.5g (基準 29.3~65g)
4. 嗜好調査 毎月誕生月の幼児に対して実施

入院理由別総計表（同仁会乳児院）

入院理由	昭和												平成												合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479	1480	1481	1482	1483	1484	1485	1486	1487	1488	1489	1490	1491	1492	1493	1494	1495	1496	1497	1498	1499	1500	1501	1502	1503	1504	1505	1506	1507	1508	1509	1510	1511	1512

13. さくらの森乳児院

1) 令和7年度運営計画

令和6年度は入所8名・退所8名と例年と変わりのない入退所数でしたが、一時保護が19名と例年以上に多い年となりました。出入りが多いことで子どもたちが落ち着かなくなることもあります。丁寧な関わりをして安定的な生活が送れるよう努め、入所や一時保護を積極的に受け入れていきます。

令和6年度から乳児グループもユニットとなり全室ユニット化の生活が始まりましたが、生活が整うまで時間がかかり、なかなか子どもたちに落ち着いた生活をさせることができず、子どものけがが増えました。研修の機会を増やし職員一人一人が子どもたちの安全を守る意識を持ち、安定した関りが持てるよう取り組んでいきます。また、ケアニーズの高い児童を受け入れたことで、受け入れ態勢や保護者への関りなど考えさせられることが多くあり、これらの課題の解決にも努めていきます。

里親支援については、フォスタリング事業を中心に里親支援専門相談員や関係機関との連携をより深めていき、里親支援センターの設置も見据えながら地域の里親支援の中心を担えるよう努めていきます。

1 福祉サービスの質の向上

- (1) 子どもたちの安心安全の保障とその子に合った成長発達の促進
- (2) 養育マニュアルの定期的な見直しと改定
- (3) 家庭支援の充実に向けた関係機関との連携
- (4) フォスタリング機関を中心とした里親支援の充実と体制強化
- (5) 食育の推進（仕上げ調理や手作りおやつの実践、誕生日のお好み献立、野菜などの栽培）

2 人材の育成

- (1) 子どもの権利擁護についての研修の実施
- (2) 法人・外部研修への積極的な参加と学習会の充実
- (3) 組織性を意識した人材の育成
- (4) 人事考課制度の継続実施
- (5) 同人社団やつくば香風寮との交流研修の実施

3 組織体制の確立

- (1) 自己評価の実施
- (2) スーパーバイズ体制の活性化による養育支援の質の向上
- (3) 職員間の協力体制の強化（情報の共有・報告・連絡・相談）
- (4) 働きやすい職場を目指した業務の省力化と環境の整備
- (5) ボランティアの計画的な受け入れ

4 関係機関等との連携

- (1) 児童相談所との連携強化（保護者支援、里親支援など）
- (2) 子育て短期支援事業などでの市町村との連携・協力関係の強化
- (3) 養成校の学生の積極的な受け入れ

5 財政基盤の強化

- (1) 物価上昇などを踏まえた計画的な予算の執行と執行状況の把握
- (2) コスト意識や節約の徹底（SDGsへの取り組み）

2) 運営の概況

昨年度は8名の入所があり、保護者の精神疾患が4名・虐待が3名・父母の養育拒否が1名でした。特に心疾患等がある児童の保護者との関わりにおいて障害受容の難しさを感じるとともに、医療的ケア児の受け入れについて課題が多く見られ、看護師を中心として多くの検討を重ねました。一時保護は19名で、例年と比べると非常に多く、平均5.4日と一時保護期間の長期化している傾向がみられました。退所は8名で家庭引き取り1名・里親委託2名・児童養護施設等への措置変更4名・その他1名となっています。

フォスタリング事業については、心理担当職員を配置して里親子の課題や悩みに寄り添い、丁寧な対応に努めてきましたが、里親子の課題も多様化するなかマンパワー不足が課題となっています。今年度から里親等研修・トレーニング事業を受託し、より包括的な里親支援に取り組み、里親養育推進に努めていきます。

今年度はこれまで行ってきた家庭的養育や個別的な関りを大切にしながら、関係機関との連携を密にし、高機能・多機能化に向けた取り組みを模索していき、地域に必要とされる乳児院になれるよう取り組んでいきます。

イ) 基本方針

乳児院における養育の基本は、乳幼児が養育者と時と場所を共有して、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に要求が満たされることである。さらに、在院期間だけの養育過程ではなく「生涯」にわたる人間形成の基礎を築き、子どもが生きる力を培い、生きがいのある人生を切り開いていく土台としての役割を担うものである。

具体的には、子どもたちの生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力する。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別的対応や、小規模グループでの養育を行う。
2. 子どもたちがよりよい生活を送ることができるよう、人的な環境の整備を行う。
3. 子ども、家庭、地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行う。
4. 心理療法担当職員が発達検査をしてその子に応じた発達支援を行うと共に、保護者対応のための助言を行う。
5. フォスターリング専門員や里親支援専門相談員を中心として地域の里親支援を行う。
6. 積極的に研修に参加して、職員の養育技術向上に努める。
7. 家庭や、地域社会との連携を密にして、豊かな人間関係の基礎を培う。
8. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行う。

ロ) 基本目標

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

- 1 S (Smile) 笑顔
常に笑顔で接する。(和顔愛語)
- 2 G (Greeting) 挨拶
常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)
- 3 N (Name) 名前
必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)
- 4 T (Thanks) 感謝
「ありがとう」の気持ちをたくさん伝える。(あなたを必要としています)

ハ) 養育目標

1. 「愛着関係」を形成する。
担当養育者を中心に、一貫性を持った養育を行う。
0歳・・・気持ちに寄り添ってさまざまな要求を読み取り、あるがままを受けとめ、基本的な信頼関係を育てる。
1歳・・・「やりたい」という気持ちの芽生えを大事にして、できた満足感を味あわせるとともに、新しい体験(初めて会う人や場所など)への不安を受けとめて、安心して行動できるように支える。
2歳・・・「自分で」という気持ちを大事にして、今まで培ってきた愛着関係を基盤に、まわりの物や、未知の物に自分から働きかけていけるようにゆるやかに自立を促す。
2. 基本的な生活習慣のゆるやかな確立
個々の発達段階を踏まえた養育を行う。
0歳・・・ミルクの自律栄養、離乳食(食べる意欲の基礎づくり)、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
1歳・・・食事の練習(スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる)つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への興味。
2歳・・・食事の自立(食の体験を広げる)、言語の獲得(単語から二語文へ、また会話ができる)、排泄の意識づけ、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。

3) 運 営

1. 職務分掌

- | | | | |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 1. 消耗品 | 2. 器具・什器 | 3. 修繕 | 4. 給食 |
| 5. 保健衛生 | 6. 被服 | 7. 教養娯楽 | 8. 日用品 |
| 9. 保育材料 | 10. 公用車管理 | 11. 防火管理 | 12. 環境美化 |
| 13. 実習生指導 | 14. ボランティア担当 | | |

2. 職員会議

1. 職員会議(管理・運営全般・・・月1回)
2. 運営会議(管理・運営全般・・・月1回)
3. 養育会議(ケース検討、養育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回)
4. 献立会議(献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回)
5. グループ会議(各グループのケース検討、養育内容等・・・月1回ずつ)
6. 連絡会議(朝・夕の業務引継・・・毎日)
7. 専門職会議(専門職から見た養育支援の検討・・・月1回)
8. 看護会議(看護師間の連絡調整・・・月1回 その他必要な時)

9. 職場内研修（学習会・・・月1回）

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施

月例健診・・・月1回（嘱託医 伊藤陽子先生）

保菌検査・・・年2回（江東微生物研究所）

※調理・給食・直接処遇職員は月1回

乳幼児検診・・・随時

入所時検診・・・随時

2. 身体計測の実施・・・月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）

3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨き、整髪）

4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）

5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）

6. 鍛錬（薄着の励行、ベビーマッサージ、日光浴、外気浴、体育あそび等）

7. 安全な環境の確保と十分な目配り

8. 玩具等の保安全管理点検

9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき）

10. 施設内外の危険箇所等の確認及び保全点検・・・月2回

11. 非常時（火災・地震・不審者）対策、訓練の実施・・・月1回

12. 建物設備等点検・・・業者委託（総合建物サービス株式会社・NEW NEXT CLEAN）

① 空調機保守点検（年2回）

② 換気設備保守点検（年2回）

③ 受水槽清掃・水質検査（年1回）

④ グリストラップ清掃（年2回）

⑤ 消防設備点検（機器点検・総合点検）（年2回）

⑥ 巡回設備点検（年2回）

4) 養育の展開

1. 担当養育制

- ・養育者が受けもつ子どもを決めて、入所から退所まで原則として変えない。
- ・養育者は受けもつ子どもとの愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。
- ・保護者に共感的に寄り添い子どもとの関係構築を支え、養育支援を行う。

2. 自立支援計画

- ・子どもの成長、発達を支援するため、担当養育者は2ヶ月毎に自立支援計画を作成し、評価・反省を行う。

3. 健康管理

- ・嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

4. 生活

- ・小規模グループケアを行い、個別的な対応を多く持つ。
- ・養育マニュアルを基本とし、個々の発達に応じた養育をする。

5. 日中の養育の充実

- ・年間養育目標に基づいて、豊かにあそびを展開する。
（あそびを通じて運動能力、知的発達、手指の操作性、他者との関係能力などを高めていく）

6. 行事

① 季節、伝承の行事

- ・お宮参り …… 生後1ヶ月頃
氏神様に無事に生まれた報告をし、健やかな成長を願う。
- ・氏神様へのお参り …… 生後2ヵ月以上で入所した児
氏神様に乳児院へ入所したことを報告し、健やかな成長を願う。
- ・お食い初め …… 生後3～4ヶ月
一生食べることに困らないようにという願いを込めて行う。
- ・一升餅 …… 1歳の誕生日に
1歳まで無事成長したことを祝い、これからも健やかに成長することを願って、餅（一升の米）を背負わせる。
- ・こどもの日（5月5日） ・七夕（7月7日） ・花火（7月）
- ・ハロウィンパーティー（10月31日頃）
- ・七五三（11月15日） ・クリスマス（12月22日） ・節分（2月2日）
- ・ひなまつり（3月3日） ・おたのしみ会（3月最終木曜日）

② その他の行事

- ・誕生会 …… 誕生日を迎えたその日にグループでお祝いする。
保護者の希望など状況によっては家族だけでお祝いする。
- ・動物園遠足（春） 水族館遠足（秋）
- ・スキンシップデー
社会体験の一つとして、担当養育者と外出し、公園で遊んだり、外でお弁当を食べたり、公共交通機関の利用や外食、お店見学、買い物などを体験する。また、担当養育者とお泊まり体験をして家庭的な雰囲気を味わう。
- ・つくば香風寮との交流
児童養護施設の幼児と日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては、積極的に交流の場を設ける。
- ・お別れ会
乳児院を巣立っていく子どもの新しい生活をみんなでお祝いします。

7. 日課

時間	乳 児	幼 児	時間	乳 児	幼 児
5:00			13:00	めざめ	
6:00	めざめ	めざめ	14:00	あそび 離乳食	めざめ おやつ あそび
7:00	検温、授乳 あそび	朝食	15:00	あそび	
8:00		あそび	16:00	あそび 入浴	
9:00			17:00		夕食 入浴
10:00	離乳食		18:00	就寝準備	
11:00			19:00	就寝	就寝準備
12:00	午睡	昼食 午睡	20:00		就寝

5) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	29	27	24	29	26	30	28	25	30	27	24	31
月 例 健 診	6	9	6	6	1	12	3	7	5	9	6	6
保菌検査(職員)	5	10	7	5	2	6	4	1	6	10	7	7
保菌検査(児童)						6					7	
安 全 管 理 点 検	4	7	10	17	9	3	3	5	5	14	10	14
	26	28	28	26	20	19	29	21	27	24	27	28
非 常 時 避 難 訓 練	26	17	28	13	28	13	25	9	14	11	8	8

6) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	11, 21 20, 21 18, 19, 25	スキンシップデー 誕生会 かみね動物園遠足	10	2, 8, 9, 10, 23, 28 31 12 16	スキンシップ ハロウィン 合同レク 誕生会
5	5 26 10, 14, 22, 24	こどもの日の集い 誕生会 スキンシップデー	11	3, 16 15 8, 11, 20, 27, 28 14	誕生会 七五三 スキンシップデー みかん狩り
6	6, 28 8, 15 22	スキンシップデー 合同レク 誕生会	12	4, 10, 11, 12, 17, 22 23 28	スキンシップデー クリスマス会 誕生会 もちつき
7	7 18, 23 27, 28 26 8, 26	七夕 スキンシップデー 夏祭り 花火大会 誕生会	1	7, 9, 11 8, 15,	初詣 スキンシップデー
			2	24 5, 14, 17, 2	お宮参り・お食い初め スキンシップデー 節分
8	6 12 28	誕生会 スキンシップデー 夕涼み会	3	3 11, 13, 17, 18, 21, 25 4, 9, 18 28	ひな祭り スキンシップデー 誕生会 お楽しみ会
9	11, 13, 16, 18, 19, 30 7, 16	水族館遠足 スキンシップデー 誕生会			

7) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	看護師	保育士	指導員	栄養士	心 理	調理員	計
団 体	3	1	7	38	16	2	4	2	73
県・社協		3	3	15	7	2	1		31
法人・施設	12	12	38	157	37	21	22	22	321
計	15	16	48	210	60	25	27	24	425

2. 児童構成 (R7. 3. 31現在)

性 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計
男	1	3	3	0	0	7
女	2	1	4	0	0	7
計	3	4	7	0	0	14

[]は停止

3. 各月初日在籍及び入退所児童

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	14	14	14	15	14	14	14	15	15	16	15	16	176
入 所 うち()は初日入所		1	1	1 (1)			2		2		1		8
退 所 うち()は初日退所		1	1	1				1 (1)	1	1		2	8
月末在籍	14	14	14	14	14	14	16	15	16	15	16	14	176

4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			0
2. // 行方不明			0
3. // 離婚			0
4. // 不和			0
5. // 拘禁	1		1
6. // 入院			0
7. // 就労			0
8. // 精神疾患等	4	3	7
9. // 放任・怠惰	1	2	3
10. // 虐待・酷使	6	2	8
11. 棄児			0
12. 養育拒否	1		1
13. 破産等の経済的理由			0
14. 児童の問題による監護困難			0
15. その他		2	2
16. 不詳			0
合計	13	9	22

5. 退院理由別表

退院理由	男	女	計
1. 親元解除	2		2
2. 里親委託	1	1	2
3. 措置変更	3	1	4
合計	6	2	8

6. 在院期間 (R6.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
8	3	3	0	14

7. 一時保護入所状況

人数 19名
延べ日数 1024日

8. ショートステイ受入状況

つくば市 2名 取手市 2名 ひたちなか市 2名 守谷市 2名
かすみがうら市 1名
計 9名 (延べ日数 74日)

9. 栄養投与状況

1. 食費 1日当たり 670円
2. 熱量 972Kcal (基準 937Kcal)
3. たん白質 34.5g (基準 24.6g~46.9g)

入院理由別総計表（さくらの森乳児院）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死亡			-
” 行方不明	1	2	3
” 離婚・就労			-
” 傷病・入院	2	4	6
” 精神疾患	3	6	9
” 受刑	3	3	6
” 被虐待・被冷遇	4	6	10
” 棄児・迷子		1	1
その他・未成年等	4	8	12
計	17	30	47

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	合計
父又は母の死亡	1												1
” 行方不明	1			1	1								3
” 離婚													0
” 不和	1	1	1	1									4
” 拘禁	1	2	2	3	3	2	2		1	1	1	1	18
” 入院	3	3	2	1		2							11
” 就労													0
” 精神疾患等	5	6	6	8	5	6	9	8	8	10	6	7	84
” 放任・怠惰	2	1	1	1			3	1	3	3	4	3	22
” 虐待・酷使	2	2	1	2	6	6	7	12	12	11	6	8	75
棄児	1	1	1			1							4
養育拒否	5	6	3	1		1				1	1	1	19
破産等の経済的理由				7	1	1	1	1	1		1		13
児童の問題による監護困難	2												2
その他の		7	7	2	11	7	1	1		1	2	2	41
不詳													0
計	24	29	24	27	27	26	23	23	24	27	21	22	297

※平成25年度より集計項目変更

1 4 . 児童心理治療施設 内原深敬寮

1) 令和7年度運営計画

令和7年度は、内原深敬寮の新たな中・長期運営計画(後期行動計画)の3年目となりますが、計画が達成できるよう努めます。特に令和7年度は、後期の中期運営計画の中間年度で、計画が達成できなかった項目の継続推進と新たな運営計画の推進を図っていきます。

また、事業継続計画の策定は終わりましたが、今後も心理治療、生活支援、アフターケアの充実を図り、福祉サービスの向上に努めると共に第三者評価の受審やIT化の推進で組織体制の強化を図ります。

昨年度も職員募集に対して応募者が無い職種もあり、人材の確保は大きな課題となっているので、令和7年度は計画的な人材確保に努め、施設の体制強化と人材育成を進めて、施設の治療的支援の充実に取り組んでいきます。

1 福祉サービスの向上

- (1) 施設運営改善委員会における業務改善の実施
- (2) 権利擁護意識の醸成、拡大を図る研修の実施
- (3) 児童の治療計画推進のため、アフターケアの計画的実施
- (4) 児童に対する個別支援プログラムの実施
- (5) 児童自立支援計画と連動した心理療法の計画と見直しによる、適切な心理療法の実践
- (6) 地域貢献の推進に向けた取組の実施

2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価受審の実施
- (2) 施設間、職員間の円滑な情報共有化の推進

3 人材の育成と人材確保

- (1) 業務改善をふまえた園内研修の実施
- (2) 法人研修への積極的参加
- (3) 職員の外部研修の計画的受講によるスキルアップ
- (4) 人材確保のため、積極的な施設PRの実施

4 財政基盤の強化

- (1) 法人計画に基づく計画的な施設積立実施等、健全な予算執行の推進
- (2) 印刷製本・水道光熱費の前年度1%の節約
- (3) 職員及び子どもたちへの節約意識の啓蒙

2) 運営の概況

令和4年度より入所定員を40名から35名に変更しましたが、令和6年度が暫定定員32名、令和6年度が暫定定員30名と年々入所児童が減少している状況もあるので、令和7年度の入所状況を見て、適切な入所定員を県と調整したいと考えています。

また、平成24年度の施設改築から12年が過ぎて、施設のガス給湯設備やエアコンが連続して故障し多額の繕費がかかっており、年間の予算執行に苦慮しました。

令和7年度においても、運営改善委員会で業務改善を進め、児童の権利擁護意識の醸成や児童の治療計画の推進を図り、様々な課題に対して検討を進めていきます。

3) 児童処遇の状況

イ) 基本方針

当施設は、児童心理療育施設として、福祉・医療・教育が協力・連携した総合環境療法のなかで、情緒的不適応をおこした子ども達に対して、総合・多面的に援助を行い、心の成長と自立を促して21世紀の担い手として一人ひとりが、心身ともに健やかに成長していく支援を行って行きます。

① 法人綱領、基本理念を尊重し、具体化しての実践。

子どもの権利擁護を中心に位置付け、施設の色をできるだけ活かした支援を実践する。

そして、それは「人権を守る」ことであり、一人ひとりの個々の問題に焦点を合わせ、的確な見立てと、最善の治療方針を模索して、治療者との人間関係を通じて情緒の改善を図っていくプロセスとなります。私たちは、子ども達に対して、常に一人の人間として尊重して対応して、心身ともに健やかな成長を育める環境を造ってまいります。

② 安心して生活できる場、再育的に関わり。

施設が安心できる場所となり、子ども達が本来体験し発達の文脈にそくして成長する機会を保障できる生活環境を整備してまいります。

③ 福祉・医療・教育・の3部門の連携・協力

子ども達の持つ課題に対して、3部門が協力(チームアプローチ)して多角的な視点と総合的な関わりによって、最善の支援を行ってまいります。

ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
 - (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
 - (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
 - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
 - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
 - (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
 - (3) 将来社会的自立ができる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
 - (1) 目標に向かって努力する。
 - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
 - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

- 内原深敬寮での実践において、権利擁護を中心に位置づけ、子どもとの人間関係を大切に
して、「生きる力」を大きく培える支援を実践します。

【あなたのことを知っています】

かならず名前を呼ぶことで、子どもであっても個人として尊重します。

【あなたに関心があります】

挨拶は人間関係を築く最初の基本であり、常に明るく挨拶を心掛けます。

【あなたを必要とします】

ありがとうの言葉は、一人の人間お互いに尊重できる言葉であり、常にその環境を造
っていきます。

ハ) 支援目標

1. 児童支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
- (5) 自立支援 (児童自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (家庭通信・帰省・面会・行事への参加)

二) 学習指導

- (1) 目 的
・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
・自ら学習計画を作成し、自主的な学習につなげる。

ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

- (1) 目 的
・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。(毎月安全委員会開催)
- (2) 内 容
・手洗い・消毒の習慣化
・清潔感を養う(服装、身体) 衛生検査の実施(身体、頭髮、爪、耳垢等)
・入浴指導の徹底
・定期検便の実施
・年齢による段階的な洗濯の習慣化
・環境整備(施錠、補修、整備、整理整頓)
・安全点検日(職員が安全面の定期点検をする)
・非常時(火災、地震)対策、訓練の実施
・交通安全の徹底(自転車、点検、補修)

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- | | | | | |
|-------------|-------|----|-------|---|
| (1) 職員会議 | | 月 | 1 | 回 |
| (2) 給食会議 | | 月 | 1 | 回 |
| (3) ケース会議 | | 月 | 1 | 回 |
| (4) インテーク会議 | | 月 | 2 | 回 |
| (5) 担当者会議 | | 月 | 1 | 回 |
| (6) 連絡会議 | | 毎日 | 午前・午後 | |
| (7) 分教室連絡会議 | | 月 | 1 | 回 |

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環境衛生

ア. 室内外の消毒（オスバン）	月 1 回
イ. 便所消毒	週 1 回
ウ. 寝具消毒（日光消毒）	毎 日
エ. 浴場消毒（オスバン）	週 1 回
オ. 食器消毒（熱 風）	毎 日
カ. 残留塩素調査	毎 日

(2) 身体衛生

ア. 健康診断	学校保健法に準じて実施 (本園嘱託医により) … 2月20日
イ. 身体測定	月 1 回
ウ. 散髪	3ヶ月に2回
エ. つめ切り	週 1 回
オ. 下着交換	毎 日
カ. 入浴	毎 日
キ. 児童保菌検査	年 2 回
ク. 職員保菌検査	月 1 回

(3) 安全管理

ア. 電気設備の検査（関東電気保安協会）	月 1 回
イ. 火災報知器の検査（アース防災㈱）	9月5日 1月10日

(4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 交通安全指導（自転車通学・通塾時）
- ウ. 環境整備（毎月第2水曜、第4水曜）

5) 児童の支援計画

◎学習指導について

1. 基礎学力養成のためのドリル学習
2. 平日の学習について … 帰園後に実施するのが通常であるが、児童の状況によって変更もある。
3. 場 所 …… 食堂・居室・学習室
4. 意欲、目標を持ち自分から学習する習慣
5. 学校の準備、後片付けの徹底

◎心理療法について

1. 個人心理療法実施 … 週 1 回（45分）
2. グループワーク … 年間計画により実施（小学生7回、中学生7回）
3. 家族療法事業による個別心理療法の実施

◎生活支援について

毎日の基本的な生活習慣を身につけるほか、集団生活の中での適応力を育てることで温かい人間関係が持てるよう援助する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
 - ・管理を児童の年齢や状況に応じて経験させ、その指導を行う。
2. 誕生日について
 - ・誕生日プレゼントを用意し、ケーキを囲んで皆で祝う。
 - ・誕生会は児童の誕生日の夕食時に行う。
 - ・夕食のメニューは誕生者の希望するもの。
3. お年玉について
 - ・未帰省児童に支給
4. 子ども会議の育成
 - ・職員・児童と一緒に年間の行事等の協議・検討。
 - ・意見箱の設置

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
7:00	起床・清掃・洗面	起床・清掃・洗面	16:00	宿題 グループ活動 自由時間	グループ活動
7:20	朝食		18:00	夕食	夕食
8:20	登校 (セラピー)	朝食	19:00	入浴	入浴
9:00	昼食	清掃 自由遊び	20:00	テレビ視聴	テレビ視聴
11:00	帰園	昼食	21:00	就寝 (小学校低学年)	就寝 (小学校低学年)
12:00	昼食		21:30	就寝 (小学校高学年)	就寝 (小学校高学年)
13:30	登校 (セラピー)	自由遊び	22:00	就寝 (中学生)	就寝 (中学生)
14:00	帰園				
15:00	おやつ	おやつ			

6) 令和6年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	30	31	28	31	31	30	31	30	27	31	28	28
保 菌 検 査 (児 童)						2					3	
保 菌 検 査 (職 員)	1	7	3	1	1	2	1	1	2	6	3	3
安 全 管 理 点 検	10	15	12	10	28	11	9	13	11	15	19	5
非 常 時 避 難 訓 練	27	25	22	27	24	28	26	23	21	25	22	8

7) 令和6年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	9	高校入学式	10	19～20	女子未帰省児レク(土浦・大洗)
	10	分教室中学校入学式		21	男子誕生会
	15	男子誕生会		26～27	女子未帰省児レク(霞ヶ浦)
	29	女子グループおやつ作り		2～3	男子グループキャンプ(城里)
5	3	女子グループレク(水戸市)	11	4	男子誕生会
	4	男子グループレク(水戸市)		23	女子遠足(よみうりランド)
	4	女子誕生会		24	女子誕生会
	26	女子誕生会		12	14～15
6	11	男子誕生会	25		クリスマス会
	22	男子おやつ作り	27		男子誕生会
7	18	男子誕生会	1	2	男子初詣(水戸市見川稲荷)
	29	女子誕生会		5	女子初詣(水戸東照宮)
	31	女子昼食作り		26	女子誕生会
8	5	男子誕生会	2	2	節分豆まき
	5～6	女子グループキャンプ(城里)		23	女子グループおやつ作り
	8	男子プール(鉾田市)		24	女子未帰省児レク(ひたちなか市)
	9	女子映画鑑賞会	3	11	中学校卒業式
	18	男子・女子夏祭り(内原地区)		18	小学校卒業式
	25	女子映画鑑賞会		26	女子卒業を祝う会
	25	女子誕生会		27	男子誕生会
9	30	男子誕生会	28	男子卒業を祝う会	
			30	女子誕生会	
10	12	男子未帰省児レク(つくば市)			

8) 令和6年度資料

1. 職員の研修

	園 長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	調 理 員 等	看 護 師	セラピスト	計
県・社 協			3					1	4
団 体	3		17		1			8	29
法人・施設	6	4	166	19	3	10	13	41	262
計	9	4	186	19	4	10	13	50	295

2. 児 童 構 成 (R7.3.31現在)

区 分 年令・学年	未 就 学 児						小 学 生						中 学 生			高 校 生			計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
男							1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1		14
女										1	1	2	3	3	1	2	2		15
計							1	1	1	2	2	5	4	4	3	3	3		29

3. 各月初日在籍及び入退園児童（入所）

[]内は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	22	23	23	23	24	24	23	24	25	26	27	28	292
入 所 うち()は初日入所	1			1			1	1	1	1	1	2	9
退 所 うち()は初日退所						1						1	2
月末在籍	23	23	23	24	24	23	24	25	26	27	28	29	299

4. 各月初日在籍及び入退園児童（通所）

[]内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	8	8	8	8	8	7	7	7	6	6	6	6	85
入 所 うち()は初日入所													
退 所 うち()は初日退所					1			1				3	5
月末在籍	8	8	8	8	7	7	7	6	6	6	6	3	80

5. 男女別問題行動別在籍児童数
別紙1参照

6. 退園理由別表（入所）

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）			
2. 進学（専門学校）		1	1
3. 措置変更			
4. 家庭引取り	1		1
合 計	1	1	2

7. 在 園 期 間 (R7.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
9	13	5	2		29

8. 一時保護の受入状況

人 数 1名
延べ日数 75日

9. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施、年1回記述アンケートにより実施

1. 食 費 1日当り 650円（原材料費）
2. 熱 量 小学生 2,166 Kcal（基準 2,026 Kcal）
中学生 2,530 Kcal（基準 2,417 Kcal）
3. たん白質 小学生 70.6g（基準 45.9g～101.3g）
中・高学生 81.8g（基準 57.5g～120.8g）

入園児童の出身地別の推移（内原深敬寮：通所含む）

児相年	度																合			
	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		31		
中	北茨城市				1	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	15			
央	高萩市								1	1	1	1	1	1	1		6			
央	日立市	1	1	1	2	1	1	2	3	3	4	4	3	2	2	1	2	35		
央	ひたちなか市	2	1	1	2	2	4	3	3	1	1						22			
央	常陸太田市	1	1	1	2	2	1	2	2	1	3	2	1	2	1	1	22			
央	常陸大宮市	3	1	1													5			
央	笠間市	3	4	3	2	2	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	26			
央	久慈郡	1	1	1								1	2	2	1	1	12			
央	東茨城郡	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	17			
央	西茨城郡	1	1	2	3	1	2	2	3	1	2	3	3	3	3	2	37			
央	那珂市	4	6	4	5	3	7	5	8	7	4	3	3	5	8	8	82			
央	鹿嶋市	1	2	1	2	1	1	2	1	1	2	2	2	2	3	2	20			
央	行方市	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14			
央	水戸市	2	2														7			
央	鹿嶋市											1	1	1	1	1	5			
央	那珂市	1	1							1	3	2					6			
央	茨城町	1	2	2	1												8			
央	城里町	1	1	3	2	1						1	2	2	1	2	18			
央	大子町																1			
央	東海村	1	2							1	1						5			
所	小計	20	21	24	25	21	24	23	23	24	28	28	23	19	18	21	20	362		
士	土浦市	3	2	4	3	1	2	1	2	4	7	7	5	8	7	8	7	71		
士	石岡市																	-		
士	龍ヶ崎市					1	1					1	2	2	2	1	10			
士	取手市	2			1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	2	4	2	24		
士	牛久市	1	1	1	1	1	1	1	3	1	4	2	1	4	2	1	19			
士	つくば市	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	3	3	20			
士	つくばみらい市	1	1														4			
士	かすみがうら市	1	1														2			
士	稲敷市									1	1	1	1	2	4	3	13			
士	守谷市											1	1	1	1	2	2	8		
士	阿見町	4	4	4	3	2	2	2	2	3	1	1	1	2	2	1	34			
士	美浦村																-			
士	利根町	2	2	2	2	1											9			
士	小計	10	8	13	13	8	8	7	8	12	15	13	16	19	22	21	21	214		
士	水海道市	1	1	1								1	2					6		
士	常総市	3	4	3	3	3				2	1							25		
士	古河市	1										1	2	2	1	2	11			
士	結城市	2	2	1	1	1											7			
士	下妻市																-			
士	坂井市					2	2	2	1								7			
士	真壁郡	1	1	2	1	1				1	1	1	1				10			
士	八千代町										1						2			
士	境町																-			
士	五霞町																-			
士	小計	7	8	6	9	7	3	1	1	3	3	4	3	3	3	3	4	68		
所	小計	37	37	43	47	36	35	31	32	39	46	45	42	41	43	45	45	644		
所	度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合	
中	北茨城市																		15	
中	高萩市																		6	
中	日立市				2	2	1	1	3	3	4	4	3	2	2	1	1	2	35	
中	ひたちなか市				2	1	1	2	2	4	3	3	1	1				22		
中	常陸太田市				1	1	1	2	2	1	2	1	3	2	1	2	1	22		
中	常陸大宮市				3	1	1											5		
中	笠間市				3	4	3	2	2	1	3	2	1	1	1	1	1	26		
中	久慈郡				1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	12		
中	東茨城郡				1	1	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	17		
中	西茨城郡				4	3	3	1	2	3	1	2	3	3	3	3	2	37		
中	那珂市				4	6	4	5	3	7	5	8	7	4	3	3	5	8	82	
中	鹿嶋市				1	2	1	2	1	1	2	1	2	2	2	2	3	20		
中	行方市				2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14		
中	水戸市				2	2												7		
中	鹿嶋市																	5		
中	那珂市				1	1					1	3	2					6		
中	茨城町				1	2	2	1										8		
中	城里町				1	1	3	2	1									18		
中	大子町				1	1	3	2	1									1		
中	東海村				1	2												5		
中	小計				20	21	24	25	21	24	28	28	23	19	18	21	20	362		
士	土浦市				3	2	4	3	1	2	4	7	7	5	8	7	8	71		
士	石岡市																	-		
士	龍ヶ崎市									1			1	2	2	2	1	10		
士	取手市				2			1	1	2	2	1	1	1	2	4	2	24		
士	牛久市				1	1	1	1	1	1	3	1	4	2	1	1	1	19		
士	つくば市				1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	3	20		
士	つくばみらい市				1	1												4		
士	かすみがうら市				1	1												2		
士	稲敷市																	13		
士	守谷市																	8		
士	阿見町				4	4	4	3	2	2	2	3	1	1	2	2	1	34		
士	美浦村																	-		
士	利根町				2	2	2	2	1									9		
士	小計				10	8	13	13	8	7	8	12	15	13	16	19	22	21	214	
士	水海道市				1	1	1						1	2				6		
士	常総市				3	4	3	3	3			2	1					25		
士	古河市				1								1	2	2	1	2	11		
士	結城市				2	2	1	1	1									7		
士	下妻市																	-		
士	坂井市																	7		
士	真壁郡				1	1	2	1	1			1	1	1				10		
士	八千代町																	2		
士	境町																	-		
士	五霞町																	-		
士	小計				7	8	6	9	7	3	1	1	3	3	4	3	3	4	68	
所	小計				37	37	43	47	36	35	31	32	39	46	45	42	41	43	45	644

※平成17年度より市町村合併等整理のため別表

男女別問題行動別在籍児童数（1名3カウントまで）

領域	愁訴や問題の内容	男			女			計		
		入	所通所	小計	入	所通所	小計	入	所通所	小計
総 数		45	12	57	48	12	60	93	24	117
I 対人関係の問題	1. 内気、小心、孤立、いじめられなど									
	2. 癩癩、衝突、いじめなど	3	1	4	1	1	2	4	2	6
	3. 場面緘黙や寡黙、極端な羞恥など				1		1	1		1
	4. 対人恐怖、醜形恐怖、自己臭恐怖など									
	5. 過剰反応、気の遣いすぎなど									
	0. その他		2	2	1		1	1	2	3
II 社会生活の問題	1. 盗み、暴力行為、放火など	1	1	2		1	1	1	2	3
	2. 喫煙、シンナー、薬物乱用等の嗜好									
	3. 性をめぐる問題および行動化				3		3	3		3
	4. 自傷行為、希死念慮～自殺企図	1		1	2		2	3		3
	5. 事故、災害、犯罪被害									
	0. その他									
III 学校生活の問題	1. 学校恐怖ないし登校拒否	2		2	3		3	5		5
	2. 学校受けおよびその傾向									
	3. 級友や教師とのもめ事	1		1				1		1
	4. 情緒不安定や落ち着きの無さ、協調の無さ	1	1	2	4		4	5	1	6
	5. 校内での暴力、破壊行為	1		1				1		1
	6. 学業不振				2		2	2		2
	0. その他									
	IV 家庭生活の問題	1. 家族関係の欠乏や過剰、不和	5	2	7	6		6	11	2
2. 家庭崩壊やその傾向										
3. 被虐待やそのヒストリー	6	1	7	11	4	15	17	5	22	
4. 家族の事故や喪失										
5. 居場所のなさ、徘徊、放浪、家出など	1		1	3	1	4	4	1	5	
6. 激しい反抗や暴力	7		7	2	1	3	9	1	10	
7. 家庭内での嘘や盗みなど				1		1	1		1	
0. その他	2		2	1	1	2	3	1	4	
V 習癖上の問題	1. 頻尿・遺尿・遺糞など排泄上の問題	1	2	3	1		1	2	2	4
	2. チックや汚言症									
	3. 吃音、早口症、書癢									
	4. 抜毛症、爪噛み、身体いじり				1		1	1		1
	5. 洗手強迫、強迫行為、儀式行動など									
	0. その他		1	1					1	1
VI 心身・身体症状	1. 拒食、過食、肥満、異食などの食行動異常									
	2. 腹痛、下痢、嘔吐など消化器症状									
	3. 不眠、夢中遊行などの睡眠障害									
	4. 頭痛、他諸種の疼痛									
	5. 失神、過呼吸、視力低下、失立失歩など		1	1					1	1
	6. 喘息・湿疹などのアレルギー症状									
	7. 低身長や第二性徴などの身体的発達の遅れ									
	8. てんかん発作									
	0. その他									
VII 精神症状	1. 抑鬱気分、不全感など									
	2. 怒りっぽさ、興奮、パニック	2		2				2		2
	3. 感情易変性	1		1				1		1
	4. 不安、緊張、過敏、怯え									
	5. 恐怖症、強迫観念									
	6. 妄想様念慮、異常体験									
	7. アバシー、無為、引きこもり									
	8. 解離性症状									
	0. その他									
VIII 発達上の問題	1. 注意転動性、過反応性、多動性	5		5	2		2	7		7
	2. 特定学習能力の障害									
	3. 微細協調運動の不器用									
	4. 自閉症近縁の自己中心性や関われなさ	5		5		3	3	5	3	8
	5. 構音障害、言語発達の遅れ									
	6. 知能のムラや遅れ				3		3	3		3
	0. その他									

令和7年度当初予算書

単位：千円

合 計	本 部	臨海学園	同仁会乳 院	同仁東保学園			同仁会児 童家庭支 援セン ター	同仁会子 どもホー ム	くれよん クラブ高 萩	内原和敬寮		内原深敬寮	児童家庭 支援セン ター あ いびー	つくば香 風寮	さくらの 森 乳児院	COLORS つくば
				同仁東保 学園	ゆうゆう クラブ	地域子育て 支援センター				内原和敬寮	和の家					
事業活動収入	593	268,781	268,709	213,409	11,718	9,040	59,131	188,477	34,067	294,450	20,149	274,479	80,687	265,849	332,453	36,700
施設設備等収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,839	0	0
その他活動収入	20,320	0	827	1,685	5,000	4,000	0	66	10,000	0	3,172	530	0	30,000	0	2,148
収 入 合 計	20,913	268,781	269,536	215,094	16,718	13,040	59,131	188,543	44,067	294,450	23,321	275,009	80,687	362,688	332,453	38,848
事業活動支出	20,171	238,771	239,533	202,648	16,441	13,622	64,867	185,824	45,436	263,977	23,110	276,776	78,130	264,839	292,619	38,643
施設設備等支出	0	2,685	2,545	160	0	0	710	0	0	21,400	110	17,924	1,070	105,979	3,302	0
その他活動支出	344	1,294	11,293	10,135	80	74	422	988	208	4,517	101	1,407	395	3,512	21,593	205
支 出 合 計	20,515	242,750	253,371	212,943	16,521	13,696	65,999	186,812	45,644	289,894	23,321	296,107	79,595	374,330	317,514	38,848
予 備 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差 引 残 高	398	26,031	16,165	2,151	197	△ 656	△ 6,868	1,731	△ 1,577	4,556	0	△ 21,098	1,092	△ 11,642	14,939	0
前期末支払資金残高	9,592	37,889	74,954	50,214	227	7,163	7,616	30,725	6,552	47,843	0	37,534	8,697	31,713	83,025	3,000
当期末支払資金残高	9,990	63,920	91,119	52,365	424	6,507	748	32,456	4,975	52,399	0	16,436	9,789	20,071	97,964	3,000

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

社会福祉法人 同 仁 会

I 資産の部	3,809,525,682円
1 流動資産	656,815,177円
ア 現金	1,614,076円
イ 預金	234,443,319円
ウ 有価証券	0円
エ 事業未収金	333,277,791円
オ 未収金	363,400円
カ 未収補助金	76,280,926円
キ 貯蔵品	1,040,711円
ク 立替金	418,100円
ケ 前払金	5,755,828円
コ 前払費用	3,621,026円
2 固定資産	3,152,710,505円
(1) 基本財産	2,387,021,719円
ア 土地	169,808,918円
イ 建物	2,217,212,801円
(2) その他の固定資産	765,688,786円
ア 土地	102,101,012円
イ 建物	248,630,112円
ウ 構築物	59,137,143円
エ 機械及び装置	535,248円
オ 車輛運搬具	593,970円
カ 器具及び備品	48,540,383円
キ 建設仮勘定	0円
ク 権利	38,608円
ケ 長期貸付金	190,000円
コ 退職給付引当資産	105,482,310円
サ 措置施設繰越特定積立資産	113,900,000円
シ 建設積立資産	20,000,000円
ス 保育所施設・設備整備積立資産	15,000,000円
セ 損害賠償積立預金	50,000,000円
ソ 進学支援積立資産	1,540,000円
II 負債の部	848,296,260円
1 流動負債	346,977,950円
ア 事業未払金	195,122,912円
イ その他の未払金	356,972円
ウ 1年以内返済予定設備資金借入金	50,129,000円
エ 預り金	130,000円
オ 職員預り金	3,284,566円
カ 前受金	37,500円
キ 賞与引当金	97,917,000円
2 固定負債	501,318,310円
ア 設備資金借入金	395,836,000円
イ 退職給与引当金	105,482,310円
III 差引正味財産	2,961,229,422円

資金収支計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

単位：千円

	合計	法人本部	臨海学園	同乳児院	同保育園	同仁児童養育施設	同児童支援センター	同仁子どもホーム	内原和敬寮	あいびー	内原深敬寮	つくば寮	さくらの森児童院	COLORS
事業活動収入 (1)	2,301,206	10,456	231,619	260,674	247,659	32,580	55,994	188,910	290,011	66,844	296,295	261,433	323,531	35,200
事業活動支出 (2)	2,035,606	29,696	213,650	211,578	212,556	39,438	51,017	173,779	253,253	62,324	262,617	237,556	250,124	38,018
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	265,600	△ 19,240	17,969	49,096	35,103	△ 6,858	4,977	15,131	36,758	4,520	33,678	23,877	73,407	△ 2,818
施設整備等による収入 (4)	54,451	0	54,006	0	375	0	0	0	0	0	0	0	70	0
施設整備等による支出 (5)	150,773	0	80,151	1,157	7,381	0	811	416	20,374	1,139	18,280	17,445	3,619	0
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 96,322	0	△ 26,145	△ 1,157	△ 7,006	0	△ 811	△ 416	△ 20,374	△ 1,139	△ 18,280	△ 17,445	△ 3,549	0
その他活動による収入 (7)	90,843	40,160	20,951	89	8,213	7,147	0	231	0	416	454	10,086	88	3,008
その他活動による支出 (8)	225,091	21,040	11,116	31,247	31,473	207	337	10,909	11,320	306	11,303	34,246	61,397	190
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 134,248	19,120	9,835	△ 31,158	△ 23,260	6,940	△ 337	△ 10,678	△ 11,320	110	△ 10,849	△ 24,160	△ 61,309	2,818
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	35,030	△ 120	1,659	16,781	4,837	82	3,829	4,037	5,064	3,491	4,549	△ 17,728	8,549	0
前期末支払資金残高 (11)	422,853	10,590	36,184	59,705	57,173	7,041	4,837	30,659	41,056	5,605	36,424	61,710	68,869	3,000
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	457,883	10,470	37,843	76,486	62,010	7,123	8,666	34,696	46,120	9,096	40,973	43,982	77,418	3,000

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

事業活動収支計算書

自令和6年4月1日
至令和7年3月31日

単位：千円

勘定科目	法人本部	臨海学園	同乳児院	同仁会 保育園	同仁青 園拠点	く れ よ ん ラ ブ ク ラ	見 董 家 庭 同 仁 会 支 援 セ ン ト ー ム	内 原 和 敬 寮	あ い び ー	内 原 深 敬 寮	つ 香 風	く ば さ く ら の 森 乳 児 院	CO LO RS つ く ば	合 計
サービス活動収益(1)	1,470	230,713	260,340	246,535	32,579	55,952	188,202	287,667	66,070	294,632	260,075	323,212	35,200	2,282,647
サービス活動費用(2)	29,775	218,738	216,167	222,934	42,403	52,400	178,154	257,781	67,063	275,911	246,070	262,095	41,010	2,110,501
事業活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△28,305	11,975	44,173	23,601	△9,824	3,552	10,048	29,886	△993	18,721	14,005	61,117	△5,810	172,146
サービス活動外収益(4)	8,986	1,028	388	1,154	72	42	861	2,343	944	1,883	1,409	402	0	19,512
サービス活動外費用(5)	0	660	145	919	0	0	553	2,101	0	1,844	1,222	202	0	7,646
事業活動外増減差額(6)=(4)-(5)	8,986	368	243	235	72	42	308	242	944	39	187	200	0	11,866
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△19,319	12,343	44,416	23,836	△9,752	3,594	10,356	30,128	△49	18,760	14,192	61,317	△5,810	184,012
特別収益(8)	40,000	60,554	0	375	7,000	0	0	0	0	0	10,000	70	3,008	121,007
特別費用(9)	6,548	54,006	10,000	7,375	0	0	0	0	0	0	3,008	40,070	0	121,007
特別増減差額(10)=(8)-(9)	33,452	6,548	△10,000	△7,000	7,000	0	0	0	0	0	6,992	△40,000	3,008	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	14,133	18,891	34,416	16,836	△2,752	3,594	10,356	30,128	△49	18,760	21,184	21,317	△2,802	184,012
前期繰越活動収支差額(12)	51,200	140,407	119,089	243,104	57,040	2,780	56,711	12,229	123,641	279,893	124,784	167,379	53,015	1,431,272
当期末繰越活動収支差額(13) =(11)+(12)	65,333	159,298	153,505	259,940	54,288	6,374	67,067	42,357	123,592	298,653	145,968	188,696	50,213	1,615,284
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	50	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,050
その他の積立金積立額(16)	20,700	10,000	20,000	15,000	0	0	10,000	10,000	0	10,000	30,000	20,000	0	145,700
次期繰越活動収支差額(17) =(13)+(14)+(15)-(16)	44,683	169,298	133,505	244,940	54,288	6,374	57,067	32,357	123,592	288,653	115,968	168,696	50,213	1,489,634

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	656,815	645,810	11,005	流動負債	346,978	357,819	-10,841
現金	1,614	1,721	-107	事業未払金	195,123	145,706	49,417
預 金	234,443	302,953	-68,510	その他の未払金	357	62,974	-62,617
事業未収金	333,278	264,276	69,002	1年以内返済予定設備資金借入金	50,129	50,129	0
未収金	363	368	-5	預り金	130	226	-96
未収補助金	76,281	52,972	23,309	職員預り金	3,285	14,017	-10,732
貯 蔵 品	1,041	34	1,007	前受金	37	33	4
立 替 金	418	167	251	賞与引当金	97,917	84,734	13,183
前 払 金	5,756	16,078	-10,322				
前払費用	3,621	7,241	-3,620				
				固定負債	501,318	542,521	-41,203
固定資産	3,152,710	3,022,510	130,200	設備資金借入金	395,836	445,965	-50,129
基本財産	2,387,022	2,375,525	-43,452	退職給付引当金	105,482	96,556	8,926
土地	169,809	163,261	0				
建 物	2,217,213	2,212,264	4,949	負債の部合計	848,296	900,340	-52,044
その他の固定資産	765,688	646,985	118,703				
土地	102,101	102,687	-586	純 資 産 の 部			
建 物	248,630	257,562	-8,932	基本金	49,038	49,038	0
構築物	59,137	63,152	-4,015	基本金	49,038	49,038	0
機械及び装置	535	712	-177	国庫補助金等特別積立金	1,222,116	1,212,880	9,236
車両運搬具	594	240	354	その他の積立金	200,440	74,790	125,650
器具及び備品	48,540	51,214	-2,674	措置施設繰越特定積立資産	113,900	23,900	90,000
権利	39	72	-33	建設積立金	20,000		
長期貸付金	190	0	190	保育所施設・設備整備積立金	15,000		
退職給付引当資産	105,482	96,556	8,926	損害賠償積立金	50,000	50,000	0
措置施設繰越特定積立資産	113,900	23,900	90,000	進学支援積立金	1,540	890	650
建設積立資産	20,000	0	20,000	次期繰越活動増減差額	1,489,635	1,431,272	58,363
保育所施設・設備整備積立資産	15,000	0	15,000	次期繰越活動増減差額	1,489,635	1,431,272	58,363
損害賠償積立資産	50,000	50,000	0	(うち当期活動増減差額)	184,012	119,941	64,071
進学支援積立資産	1,540	890		純資産の部合計	2,961,229	2,767,980	193,249
資産の部合計	3,809,525	3,668,320	141,205	負債及び純資産の部合計	3,809,525	3,668,320	141,205

注 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

令和7年度事業概要

令和7年6月19日発行(850部)

発行者 社会福祉法人 同仁会
理事長 塩澤 幸一
〒318-0011 茨城県高萩市肥前町1-80
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260
ホームページ <http://www.doujinkai.or.jp/>
